

浦添市立中央公民館

令和 8 年度 館報



浦添市教育委員会 社会教育推進課

令和7年度 浦添市立中央公民館講座チラシ



発刊のあいさつ

浦添市立中央公民館
館長 石坂ひとみ

令和8年度館報の発刊にあたりご挨拶申し上げます。

当公民館は施設の老朽化に伴い、令和8年3月を以て長年親しまれた建物を閉じ、今年度4月より、あかひらステーションビル1階へと移転いたしました。住み慣れた場を離れるという大きな節目ではありましたが、登録サークルの皆様が市内市外の各拠点へ活動の場をスムーズに移行し、新しい場所で学びを継続しておられること、まずは安堵の思いであります。

この館報は、令和8年度の浦添市立中央公民館の重点目標と事業計画、昨年度の事業実績をまとめたものです。令和7年度中央公民館運営事業を振り返りますと、中央公民館講座が29講座(全76学習会)、自治公民館講座の開設支援が18自治公民館で32講座(99学習会)、自主企画まなび助成制度による学習支援が8グループ(全20学習会)であり、公民館事業を通して学びに参加した人数は実に7,912名を数えました。また公民館施設では定期利用団体69団体、社会教育関係団体・補助金団体12団体の学習活動、一般利用の方々を含めると年間のべ52,575人の利用があり、公民館は地域住民にとって最も身近な学習の役割を果たしていることがわかります。

生涯学習社会をさらに実現させるためには、学習機会や学習場所の整備に加えて、学習の成果を活かすしくみがとても重要になります。11月に開催した、市制施行55周年記念事業市民協働とまなびのフェスタ浦添2025において「放課後こどもフェスタ・公民館フェスタ」を実施し、中央公民館事業、中央公民館登録サークル、放課後こども教室や社会教育関係団体の舞台発表、作品展示、体験ブースを通して、社会教育の広がりを実感する祭典となりました。発表する人、見る人、それを支える人がいて、参加者同士の交流、世代間の交流が見えるフェスタとなったことは大変喜ばしいかぎりです。

こうした「学びの循環」を支えているのが、当館の社会教育指導員及び社会教育士、職員スタッフです。現場を熟知した実務経験と専門的な知見。そのバックアップがあるからこそ、移転という変化、時代の変化に対応できる公民館運営につながるのです。

本年度の重点目標では、特に次の強化内容を掲げました(1)課題解決のための部署間、関係機関とのコラボチャレンジ(2)公民館つながるパレットに登録した団体の学習支援(3)中央公民館の機能と役割を継続した新しい社会教育活動の展開です。講座を計画的に進めながら、浦添らしさが光る「小・中おでかけ講座平和キャラバン」(JICA 沖縄との協働、浦添市ピースメッセンジャーの活用を含む14のプログラム)、「未来のための子育て・親育ち」をテーマにした家庭教育支援4講座、本市所在の高校生との連携講座など、今年度も本市の特長を生かした取り組みを進めてまいります。

これからの公民館活動は一つの建物の中にとどまりません。地域全体を学びのフィールドと捉え、市内各地の拠点と手を取りながら「人づくり・つながりづくり・地域づくり」を推進してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

目 次

1 | 中央公民館施設概要

1 施設情報	1
2 貸出施設	1
3 施設使用料	2
4 利用案内	3

2 | 令和8年度 中央公民館運営事業

1 中央公民館運営事業(全体)	5
2 運営の基本方針と重点目標	6
3 中央公民館講座	8
4 自治公民館講座	10
5 自主企画まなび助成制度	12

3 | 令和7年度 中央公民館運営事業【報告】

1 中央公民館運営事業(全体)	14
2 中央公民館講座	17
3 自治公民館講座	88
4 自主企画まなび助成制度	89

4 | 中央公民館だより『いきいき』

1 328号(令和7年7月発行)	90
2 329号(令和7年9月発行)	93
3 330号(令和7年12月発行)	97
4 331号(令和8年3月発行)	100
5 332号(令和8年3月発行)	116

5 | 中央公民館「登録」団体

1 浦添市立中央公民館団体登録制度『公民館つながるパレット』実施要綱	120
2 令和8年度 浦添市立中央公民館登録団体一覧表	122

6 | 中央公民館審議会・協議会関係

1 浦添市立中央公民館運営審議会	124
2 浦添市自治公民館長連絡協議会	126
3 那覇地区公民館連絡協議会	133
4 沖縄県公民館連絡協議会	134
5 那覇地区社会教育指導員連絡協議会	136
6 沖縄県社会教育指導員連絡協議会	137

7 | 中央公民館沿革

1 浦添市立中央公民館のあゆみ	138
2 浦添市立中央公民館 歴代館長一覧	149
3 公民館関係表彰一覧	150
4 学習の成果発表 過去実績一覧	154

8 | 資 料

1 各種統計(利用者数・稼働率)	157
2 決算の推移	161
3 令和8年度 社会教育推進課組織図・公民館係事務分掌	163
4 社会教育法「第五章 公民館」	166
5 浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例	169
6 浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則	172

1

中央公民館の概要

中央公民館施設概要

(1) 施設情報

所在地 | 浦添市仲間一丁目1番2号

あかひらステーション1階

098-879-5503(公民館直通)

FAX 098-879-5530

開館 | 昭和54年4月(令和8年4月移転)

収容人数 | 50人

施設 | 第1研修室・第2研修室

入居団体 | 浦添市てだこ学園(社会教育推進課事業 受託業者)



(2) 貸出施設

※備品の数は令和8年4月現在

第1研修室		第2研修室	
			
定員	30名	定員	20名
部屋の広さ	約65㎡ (半面利用時32.5㎡)	部屋の広さ	約38㎡
使用料	室料 300円 (半面150円)	使用料	室料 200円
備考	椅子30脚・テーブル15台 ホワイトボード1台 テレビモニター1台 HDMI ケーブル1本 ラジカセ1台 WiFi あり	備考	椅子20脚・テーブル10台 ホワイトボード1台 テレビモニター1台 HDMI ケーブル1本 ラジカセ1台 WiFi あり

※駐車場はございません。お車でのご越しの場合は、カルチャーパーク駐車場をご利用ください。

※トイレの数には限りがありますので、あらかじめご了承ください。

※第1研修室を半面で利用する場合、音漏れする場合があります。

(3) 施設使用料

室 名	定 員	㎡	使 用 料	
			市 内	市 外
第1研修室	30名	約65.0㎡	300円	390円
(半面)	15名	約32.5㎡	150円	190円
第2研修室	20名	約38.0㎡	200円	260円

備考

- 1 使用料は、1時間当たりとします。
- 2 1時間未満の利用の場合は、1時間とします。
- 3 市内料金は、市内に在住し、在勤し、若しくは在学する者又は市内に事務所を有する法人その他の団体に適用されます。
- 4 市外料金は、上記3以外の利用者で、料金が3割増しとなります。
- 5 使用料の計算において、10円未満の端数があるときは、その端数は切り捨てます。



(4)利用案内

1 開館時間

施設利用 午前9時～午後9時

窓口対応 午前8時30分～午後5時 ※土日・祝祭日を除く平日

休館日 年末年始(12月28日～1月3日)

2 申請期間

利用する月の1か月前の初日(平日)から当日まで

3 利用者の区分

利用者を市民と市外に区分します。

市民利用者の区分は以下のとおり

- ①市内に住所または所在地を有する団体及び事業者が利用する場合
- ②個人及び事務所を有しない団体による申請は、代表者が浦添市に在住である場合

4 利用手順

- (1)来館または電話により、空き状況を確認する。
- (2)利用料を券売機にて支払う。 ※1万円・5千円札非対応
- (3)「公民館利用許可書」及び「領収書」を予約システムのマイページで確認する。
- (4)予約確定
- (5)利用開始時に「利用団体名」を職員(夜間・土日祝は警備員)に伝達する。
- (6)準備及び片付けを含み利用許可時間内で利用する。利用後は、職員又は警備員に利用人数の報告を行う。

※原状回復として、使用した机や椅子等の備品は所定の場所に戻してください。

※公民館には専用駐車場がありませんので、近隣のカルチャーパーク駐車場または公共交通機関をご利用ください。

※予約した時間よりも前に部屋を利用する等、不正な利用が判明した場合は、利用を取消、もしくは変更し、又はその利用を制限し、もしくは停止します。

※令和8年度ご利用分より、浦添市公共施設予約システムを一部導入して予約を受け付けしているため、利用手順に変更が生じる場合があります。

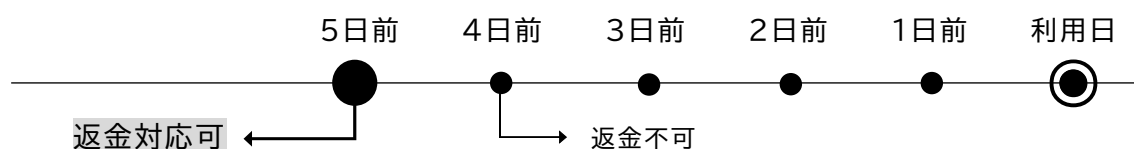
5 キャンセル規定(使用料の還付)

利用日時や部屋等に変更あるいは利用を取消す場合、利用者は「利用許可変更(取消)申請書」を公民館に提出しなければなりません。取消による使用料返還条件は以下のとおりです。

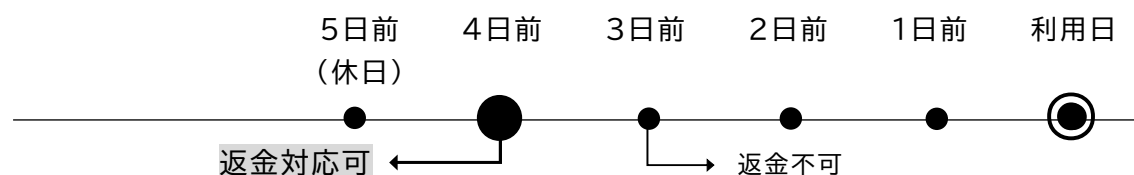
使用料返還条件

- (1) 台風接近に伴い安全を配慮し利用を取消するとき 【天災】
- (2) 暴風警報発令等により公民館が臨時休館となったとき 【管理上の理由】
- (3) 「利用許可変更(取消)申請書」を利用日の5日前までに提出したとき 【5日前】

返金対応(5日前まで)



※5日前が休日(窓口休業)にあたり、変更または取消手続きができないときに限り、休日明けの対応とする。



※オンライン予約を開始以後からは、休日を含んだ5日前に変更する予定です。

6 施設利用の不許可・制限事項

- (1) 定員を超えての利用が明らかに予想される催事
- (2) 18歳以下のみで、保護者の同意がない利用
- (3) 布教・勧誘活動を主目的とする利用
- (4) 販売・勧誘活動を伴うセミナーなど営利を主目的とする利用
- (5) アルコールを含む会食を主目的とする利用
※弁当やオードブル等の飲食は可能
- (6) 動物(盲導犬・介助犬及び聴導犬を除く。)の同伴
- (7) 大音量や振動を伴う利用(太鼓・エイサー・管楽器・バンド等の練習)
※施設に防音設備がないため他利用者との兼ね合いをみて適宜判断

2

令和 8 年度 中央公民館運営事業

令和8年度 中央公民館運営事業(全体)

(1) 公民館講座

地域・現代的ニーズ(必要課題)と市民のニーズ(要求課題)を捉えた講座を企画し、学習の機会を提供する。また、自治公民館・集会所を活用したおでかけ講座や講座関係図書の情報提供等、関係施設との連携を図る。

(2) 自治公民館講座

地域住民が主体となった講座の開設を支援し、学習活動を通じた自治公民館活動の活性化を図る。

(3) 自主企画まなび助成制度

18歳以上の成人グループ(5名以上)で企画した学習会の講師謝礼金を助成し、市民の主体的な学習活動の活性化を図る。

(4) 登録団体及び各種関係団体の活動支援

公民館登録制度による学習相談や学習成果の発表等について支援を行い、各所で活動する学習団体と連携協力を図る。

(5) 学習の成果を発表する場の提供

公民館活動団体、放課後こども教室、中央公民館講座で学んだ市民の学習活動の成果を発表する機会を設け、浦添市の社会教育の広がりと充実を目指す。令和7年度より「市民協働とまなびのフェスタ浦添」と事業連携。

(6) 浦添市自治公民館長連絡協議会への補助金交付

地域住民を中心とした生涯学習のまちづくりを推進するために、自治公民館の運営や地域住民の学習支援における新しい視点を学ぶ各種研修会や情報交換を促し、自治公民館長の資質向上を支援する。

(7) 浦添市立中央公民館運営審議会

館長の諮問機関として、公民館の運営や各種事業について、学校教育・社会教育・家庭教育・学識経験者等の識見を有する委員から、幅広い意見を聴取する。

(8) 館報・公民館だより『いきいき』の発行

公民館の刊行物として、運営方針・施設概要・事業(講座)報告等、公民館活動を記録した館報を年度ごとに発行するほか、公民館広報誌『いきいき』にて、各種講座やまつりの様子の報告や、登録団体の紹介を行う。

令和 8 年度 中央公民館運営の基本方針と重点目標

基本方針 1

「集う・学ぶ・つながる」をキーワードとし、市民及び地域に学習の機会を提供するとともに、交流や地域の課題解決につながる取り組みを進め、社会教育への参画拡大を図る。



JICA と連携した平和教育講座

重点目標

- (1) 多様化する学習ニーズを捉えた講座づくり
- (2) 地域の課題解決を推進するための部署間、関係機関、または地域人材の連携協力体制の構築

基本方針 2

時代に沿った生活・地域課題と市民のニーズを分析把握し、地域の発展のために市民の学習成果が発揮できるよう、地域に還元されるための効果的な学習支援を目指す。



公民館を彩る高校生向け講座

重点目標

- (1) 市民があらゆる場で学べる環境の醸成
- (2) 中央公民館登録団体の学習活動の支援
- (3) 若者が公民館を身近に感じる取組みの強化

基本方針 3

中央公民館の機能と役割を継続するとともに、新しい社会教育行政（中央公民館）のモデルをつくる。



中央公民館移転作業の様子

重点目標

- (1) 社会教育拠点としてのあかひらステーションビルの活用と、新拠点の関係部署との一体的な取組み
- (2) 親しみやすい拠点づくりのための効果的な施設の活用と周知、情報発信や地域力向上の取組み及び市全域における社会教育活動の展開

体系図

【基本方針】

- 1 「集う・学ぶ・つながる」をキーワードとし、市民及び地域に学習の機会を提供するとともに、交流や地域の課題解決につながる取り組みを進め、社会教育への参画拡大を図る。

- 2 学習及び地域活動の拠点として、時代に沿った生活・地域課題と市民のニーズを分析把握し、地域の発展のために市民の学習成果が発揮できるよう、地域に還元されるための効果的な学習を支援する。

- 3 中央公民館の機能と役割を継続するとともに、新しい社会教育行政(中央公民館)のモデルをつくる。

【重点目標】

- (1)市民の多様化する学習ニーズを捉え、新たな学びに対応した各種講座の工夫及び充実を図る。
- ・平和キャラバン
 - ・家庭教育支援講座の実施 テーマ「未来のための子育て 親育ち」
 - ・デジタルリテラシー

- (2)社会教育の取り組みとして、部署間、関係機関、または地域人材の連携体制を構築するコーディネーターとなり、各関係者がその役割を活性化して地域の課題解決に協力して取り組むことを促進する。
- ・所管が異なる部署同士が同一のテーマの下で地域課題解決に関わる講座の立案。

- (1)自治公民館講座の実施に向けた支援に努め、自治公民館と連携を深めるとともに、あらゆる場で学べる環境を醸成する。
- ・自治公民館講座の周知及び学習相談の強化 (開設目標 27 館)
 - ・自治公民館おでかけ講座として中央公民館講座を実施
 - ・学習成果を生かす取り組みを充実化し、学習者にとっての学びの達成感と地域との連帯感を強化する。

- (2)公民館つながるパレットに登録した団体の学習活動を支援する。
- ・「市民協働とまなびのフェスタ浦添」と事業連携し成果発表の継続
 - ・登録団体のスキルを活かし講師やボランティア等として起用

- (3)「かかわり」が大切な社会の土壌づくりとして、若者(高校生・専門・大学生)が公民館を身近に感じてもらう取り組みを強化する。
- ・講座やフェスタ等における運営ボランティアの活用
 - ・インターンシップの積極的な受け入れ
 - ・「アートキャラバン」(高校おでかけ講座)の実施

- (1) 社会教育施設のあり方
- ・事務室をあかひらステーションビルに置き、新たな社会教育拠点として活用する。
- 新拠点の形成に向け関係部署と一体となった新たな施設整備に取り組む。

(2) 新しい社会教育活動の展開

- ・社会教育のネットワークセンターとして、情報の発信や地域力向上の取り組みの創出につとめる。
- ・地域との連携を密にし、自治公民館や類似施設の活用により、市全域を学びの場とした社会教育活動の拡がりを広域で展開する。
- ・市民が親しみやすく、足を運びやすい拠点づくりをめざし、周知と効果的な施設の活用を図る。

令和 8 年度 中央公民館講座予定一覧

令和8年5月12日現在

No	分 野	実施時期	講 座	回数	内 容	対象者
1	家庭教育 家庭生活	5月	損害賠償の基礎知識	1	もしもの時に自分を守る知恵を元保険のプロから学びます。	成人一般
2	職業知識 技術の向上	5月	スマホ先生活用講座 「やさしいスマホアプリで調べてみよう」	1	デジタル庁デジタル推進委員を活用した講座で、デジタルデバイスに対応した講座を展開する。	成人一般 シニア
3	その他 (平和)	5～6月	平和キャラバン	12	市内小中学校を対象に、戦争体験者・継承者、平和教育講師を派遣し、全15プログラムの中から平和教育出前講座を行う	市立小中学校
4	教養の向上	7～8月	夏休み講座 (全4講座)	4	夏休み期間を活用した講座を開催する。参加の成果が宿題を兼ねられるよう理科系・文科系の講座内容となっている。	青少年
5	家庭教育 家庭生活	7月・8月	マネー講座 ①②	2	お金にまつわる知識について学び、知識を高め、困らない力を鍛えます。	青少年・成人・ シニア
6	家庭教育 家庭生活	8月	薬膳で健康ライフ	1	東洋学の知恵を現代に活かし、心と体を育てる薬膳を学ぶ。	成 人 シニア
7	家庭教育 家庭生活	8～2月	家庭教育支援講座 【1】～【4】	4	R8テーマ「未来のための子育て・親育ち」	家庭教育に 関心のある方
8	教養の向上	9月	プログラミング講座	1	高校生を講師として、プログラミングの知識と操作体験を行う。	青少年
9	市民意識 社会連帯意識	9月	デジタル紙芝居活用講座	1	平和キャラバンで活用中の「デジタル紙芝居」をさらに活用するため新たなデジタル紙芝居の作成の手法を探る。	成人一般
10	趣味 けいこごと	9～11月	まつり連続講座 (一般)	8	「まなびフェスタ浦添」(11月7日でだこホール予定)での成果発表を目標とした全8回の連続講座。	成 人
11	趣味 けいこごと	9～11月	まつり連続講座 (シニア)	8	「まなびフェスタ浦添」(11月7日でだこホール予定)での成果発表を目標とした全8回の連続講座。	シニア
12	趣味 けいこごと	9～11月	まつり連続講座 (やさしい)	6	「まなびフェスタ浦添」(11月7日でだこホール予定)での成果発表を目標とした連続講座。	特別支援
13	趣味 けいこごと	10月	秋のスマホ講座	1	企業や中央公民館講座で育成した「地域のスマホ先生」を活用しながら、デジタルデバイドの解消を図る。	成 人 シニア
14	職業知識 技術の向上	11月	生涯教育リスキリング	1	職業に必要な知識を学び、自身のキャリアプランの形成に活かす。	成人一般 (20代～30代)
15	その他 (平和)	11月	平和キャラバン (大人編)	1	平和を考えるうえで大切なことの一つは、「平和学習」は子どもや学生向けだけでなく、大人のための平和学習を通して、沖縄を語り継ぐためのこれからの平和を考える。	成人一般
16	体育・レクリ エーション	11～12月	健康マージャン	6	「賭けない・飲まない・吸わない」の健康マージャン。脳トレやコミュニケーションの手段として楽しむための入門講座。	成 人 シニア
17	市民意識 社会連帯意識	11～12月	地域の魅力再発見！ まちあるき講座	1	地域に暮らす人々の活動や、地域の名勝を通して、地域の魅力を再発見すると同時に市民の連帯意識を高める。	成人、親子
18	趣味 けいこごと	12月	冬のスマホ講座	1	企業や中央公民館講座で育成した「地域のスマホ先生」を活用しながら、デジタルデバイドの解消を図る。	成 人 シニア
19	市民意識 社会連帯意識	12月	防災講座	1	防災意識を醸成するために、災害時における避難所運営の実相をイメージできるよう模擬体験を行う講座。	成人一般
20	教養の向上	1月	ドリーム講座	1	将来にむけたキャリアプランを講師と参加者で探る。	青少年～成人
21	教養の向上	1月	親子ほしぞら観察会	1	天体望遠鏡で市内の夜空を観察し、自然科学への関心を高める	親子
22	家庭教育 家庭生活	1月	消費者講座	1	消費者教育コーディネーターから、資産運用・契約に関する知識について学びます。	成人一般

No	分 野	実施時期	講 座	回数	内 容	対象者
23	指導者研修	1月	社会教育関係者 デジタル人材ブラッシュアップ	1	浦添市立中央公民館がデジタル庁デジタル推進委員会を活用した講座を継続するにあたって、本市のデジタル政策に資する人材育成の一助としたい。	デジタル推進委員・ 関心のある方
24	教養の向上	2月	琉球料理伝承人活用講座	1	沖縄で育まれ親しまれてきた家庭料理から伝統的な宮廷料理まで、琉球料理伝承人から沖縄の豊かな食文化を学ぶ。	成人
25	職業知識 技術の向上	2月	スマホ先生活用講座	1	デジタル庁デジタル推進委員会を活用した講座で、デジタルデバイドに対応した講座を展開する。	成人一般 シニア

中央公民館運営事業
令和8年度 自治公民館講座 開設要項

1 事業概要及び目的

多様な価値観に対応した社会教育推進の取り組みとして、自治公民館が主体となった講座の開設を支援し、学習活動を通じた自治公民館活動の活性化及び地域連帯意識の向上を図る。

2 申請受付及び実施期間

- (1) 申請期間 令和8年 4 月 15 日から令和9年 2 月 5日まで
※予算に達し次第受付終了とする
- (2) 実施期間 令和8年5月8日から令和9年2月 15日まで

3 対象者

浦添市内 41 自治会会員及び地域住民

4 開設要件

(1) 運営について

- ・ 自治公民館より運営委員を 1 名選任し、講座責任者として、申請から実施後の報告まで遂行できること。
- ・ 講座開設において、財源として他の助成金などを受けていないこと。

(2) 講座内容について

- ・ 内容は、地域課題や地域住民の学習ニーズを踏まえ設定すること。
- ・ 政党特定の政治的、宗教的または営利を目的とした内容でないこと。
- ・ 講座回数は年間 5 回以内とし、時間は 1 回につき原則 2 時間とする。
- ・ Zoom 等を活用したオンラインでの講座は可とする。

(3) 実施場所について

- ・ 会場や日程は各自で確保、設定すること。
- ・ 会場使用料や教材費などは自治公民館または参加者の負担とする。

(4) 講師について

- ・ 各自治公民館で選定すること。
- ・ 講師は、浦添市へ口座登録(債権者登録)を行うこと。

5 社会教育推進課支援内容

(1) 講師謝金

- ・ 1 講座につき、1 回 7,000 円(3,500 円×2 時間)とし、5 回分 35,000 円(7,000 円×5 回)を上限とする。源泉徴収額 10.21% 差引あり。
- ・ 浦添市より年間(1月～12月)5 万円を超える支払いがある講師は、マイナンバーの確認を行う場合あり。

(2) 運営委員謝金

1 回 1,000 円とする。

(3) 講座開設及び運営の助言

社会教育推進課は、講師の選定や学習計画等、講座の開設及び運営において、必要に応じた助言を行う。

6 申請手続き

- (1) 講座を開設しようとする自治公民館は、申請書(様式第 1 号)を中央公民館へ提出する。
- (2) 中央公民館は、提出された申請書の内容を確認し、2 週間以内に開設承認通知書(様式第 2 号)を自治公民館長あてに交付する。
- (3) 自治公民館は、全講座終了後、2 週間以内に実績報告書(様式第 3 号)及び学習会の内容がわかる関係資料(配布テキスト・写真等)、講師・運営委員の債権者登録を中央公民館へ提出する。
- (4) 中央公民館は、提出された報告書の内容を確認し、2～3 週間後を目途に、指定する金融機関へ謝礼金を振込む。

7 変更または中止

講師・運営委員・講座回数等の変更または講座を取りやめる場合は、変更・中止届(様式第 4 号)を中央公民館へ提出すること。なお、学習内容に大きく変更が生じるときや、承認期間を過ぎる場合は、再度申請手続きを行うこととする。

8 担当部署・問い合わせ先

浦添市教育委員会 社会教育推進課 公民館係
電話 | 098-879-5503(浦添市立中央公民館)
メール | kominkan@city.urasoe.lg.jp

中央公民館運営事業
令和8年度 自主企画まなび助成制度 実施要項

1 事業概要及び目的

多様な価値観に対応した社会教育推進の取り組みとして、自らの企画立案で行う学習会において講師謝金を助成し、市民の主体的な学習活動の活性化を図る。

また、これらの学習成果を生活や諸活動に活かし、地域社会の形成に寄与することを目的とする。

2 実施期間及び申請受付期間

- (1) 申請期間 令和8年 4 月 1 日から令和9年 2 月 26日まで
※予算状況により、期限前に締め切る場合あり
- (2) 実施期間 令和8年 4 月 15 日から令和9年 3 月 15日まで

3 申込要件

(1) 対象者について

- ・ 市内在住または在勤、在学者で構成した、5人以上の成人グループ(18 歳以上)であること。
- ・ 代表者が、企画(講師選定)から実施後の報告まで責任をもって遂行できること。
- ・ 政党特定の政治的・宗教的活動または営利を目的とした活動でないこと。
- ・ 実施において、財源として他の助成金などを受けていないこと。
- ・ 講師がいる既存の学習団体(サークル等)は対象外とする。

(2) 学習内容について

- ・ 生活や地域課題を捉え、学習の効果が期待できる内容であること。
- ・ もの作りや練習のみでの活用は不可とする。
- ・ 学習回数は年間 3 回以内とし、時間は 1 回につき 2 時間とする。

(3) 実施場所について

- ・ 会場や日程は各自で確保、設定すること。
- ・ 会場使用料や教材費などは学習者の負担とする。
- ・ オンラインを活用した学習会の開催は可とする。

(4) 講師について

- ・ 講師はグループのメンバー以外から選定すること。
- ・ 連続性のある学習会において、内容に応じて講師を変更して差し支えない。
- ・ 講師は、浦添市へ口座登録(債権者登録)を行うこと。

- ・ 講師が中心となって学習会を運営してはならない。

(5) 助成内容

- ・ 講師謝金の単価は1回 7,000 円(3,500 円×2時間)とし、1グループの年度上限を3回分 21,000 円とする。
- ・ 講師が指定する金融機関へ源泉徴収額 10.21%を差し引いた額を振り込む。
- ・ 浦添市より年間(1月～12月)5 万円を超える年間の支払いがある講師は、マイナバーの確認を行う場合あり。
- ・ 学習者の参加が5名に満たない開催日は対象外とする。

4 申請手続き

- (1) 助成を受けようとする実施グループは、申請書(様式第 1 号)を中央公民館へ提出する。※内容についてヒアリングを実施する場合あり
- (2) 中央公民館は、提出された申請書について審査し、2週間以内に承認・不承認通知書(様式第 2 号)を実施グループに交付する。
- (3) 実施グループは、全学習会終了後、2週間以内に実績報告書(様式第 3 号)及び学習会の内容がわかる関係資料(配布テキスト・写真等)、講師の債権者登録を中央公民館へ提出する。
- (4) 中央公民館は、提出された報告書の内容を確認し、適正と判断した場合、2～3 週間後を目途に講師が指定する金融機関へ謝礼金を振込む。

5 変更または中止

講師・回数等の変更または講座を取りやめる場合は、変更・中止届(様式第 4 号)を中央公民館へ提出すること。なお、学習内容に大きく変更が生じるときや、承認期間を過ぎる場合は、再度申請手続きを行うこととする。

6 担当部署・問い合わせ

浦添市教育委員会 社会教育推進課(浦添市立中央公民館)

電話 | 098-879-5503

メール | kominkan@city.urasoe.lg.jp

3

令和7年度 中央公民館運営事業 【報告】

令和7年度 中央公民館運営事業(全体) 実施報告

(1)中央公民館講座の実施

地域・現代的ニーズ(必要課題)と市民のニーズ(要求課題)を捉えた講座を企画し、学習の機会を提供する。また、自治公民館・集会所を活用したおでかけ講座や講座関係図書の情報提供等、関係施設との連携を図る。

29 講座(全 76 回)実施 学習者延べ 6,630 名
小中おでかけ講座「平和キャラバン」 12 校(小学校8・中学校3、特支1校)
高校おでかけ講座「アートキャラバン」 1校
自治公民館おでかけ講座 3自治公民館

R6 28講座(全66回)実施 学習者延べ5,402名
小中おでかけ講座「平和キャラバン」 8校(小学校6校・中学校2校)
高校おでかけ講座「アートキャラバン」 2校
自治公民館おでかけ講座 4自治公民館

アウトリーチ型の開催方法を取りいれながら多様な分野の講座を進めた。
特に戦後 80 年の節目として、平和継承につなげる講座が充実した。

(2)自治公民館講座の開設支援 ※市内41自治公民館対象

市内の自治会が主体となった講座の開設を支援し、学習活動を通じた自治公民館活動の活性化を図る。講師謝金を原則5回まで助成。他、運営委員謝金あり。

18 自治公民館 32 講座延べ98回 (開設率 43.9%) 学習者延べ1,092名
R6 21自治公民館 33講座115回 (開設率51.2%) 学習者延べ1,165名

(3)自主企画まなび助成制度による学習支援

18歳以上の成人グループ(5名以上)で企画した学習会の講師謝礼金を助成し、市民の主体的な学習活動の活性化を図る。1グループ3回まで。

8 グループ 全 20 回活用 学習者延べ188名
R6 14グループ 全 32 回活用 学習者延べ528名

(4) 定期利用団体(登録サークル)及び各種関係団体の活動支援

公民館登録制度による先行予約をはじめ、各団体の施設利用、学習相談や学習成果の発表等について支援を行う。

登録サークル 69 団体 (対前年度1団体増)

(5) まなびフェスタ浦添「公民館フェスタ」の実施

公民館活動団体や中央公民館講座で学んだ市民の学習活動の成果を発表する機会を設け、浦添市の社会教育の広がり充実を目指す。令和7年度より「まなびフェスタ浦添」と事業連携。11月でだこホールにて実施。

- ① 展 示 中央民館講座で制作された作品の展示(島ぞうりアート)
- ② 舞台発表 定期利用団体等(20団体)のコラボ及び単独ステージ
 公民館講座(3講座)によるダンス・舞踊
- ③ 体験ブース 公民館サークルコラボ企画(語学・パソコン)

各内容において、団体同士又は世代間の交流が図られた。

番外編企画

ダンス交流会 社交ダンスサークル6団体による成果発表と交流の場

作品展示会 書道、短歌、絵画、ちぎり絵、紐細工のサークル計7団体による
 館内及び市役所内での作品展示。

(6) 浦添市自治公民館長連絡協議会への補助金交付

地域住民の学習活動を中心とした生涯学習のまちづくりを推進するために、平成17年結成され、同会の自治公民館長は自治会長が兼任している。館長としての資質向上及び新しい視点を学ぶため各種研修会や情報交換を行う。

令和7年度補助金交付額 200,000 円 (対前年度同額)

中央公民館と連携協力体制を図り地域づくりを進める組織として、
中央公民館サークルの活動受入について多大なご尽力をいただいた。

(7) 浦添市立中央公民館運営審議会を開催

中央公民館長の諮問機関として、公民館の運営や各種事業について、学校教育・社会教育・家庭教育・学識経験者等の識見を有する委員から、幅広い意見を聴取する。

令和7年度 年2回(7月・3月)開催
審議委員9名委嘱(再任8名・新規1名)
※任期 令和6年8月1日から令和8年7月31日まで(2年)

第1回にて、公民館活動の場について各分野の人材から助言をいただいた。

(8) 館報・公民館だより『いきいき』の発行

公民館の刊行物として、運営方針・施設概要・事業(講座)報告等、公民館活動を記録した館報を年度発行するほか、公民館広報誌にて、各種講座やまつりの様子、サークル紹介、インターンシップの受入れ等を紹介する。

令和7年度館報(6月発行)
公民館だより『いきいき』 第328～332号発行

331号にて、公民館サークル等の既存の利用団体取材した。

中央公民館講座 令和7年度実績一覧

	分野	実施時期	講座名	内容	対象者	回数	受講者 延べ人数
			講師				
1	B	①5月27日 ②5月30日	春のスマホ教室①② (初心者向けのスマホ教室) 又吉 岐吏子(ソフトバンク) 大城 宗勝(ソフトバンク) 下地 美樹(ソフトバンク)	【前段】初心者のためのスマホの使い方の基本(Google音声検索、Googleレンズ、QRコード、LINE) 【後段】スマホアプリを使った脳トレ・体操	スマホ初心者	2	29
2	H	①5/21 ②5/30 ③6/11 ④6/12 ⑤6/13 ⑥6/17 ⑦6/18 ⑧6/19 ⑩6/20	「平和キャラバン」 【小学校8・中学校3・特支1】 喜舎場 宗正 氏(戦争体験者) 知名 正男 氏(戦争体験継承者) 銘苅 健 氏(浦添市教育長) 嘉数 明美氏、大城 勝政氏(朗読会「道」) 堀切 香鈴氏(対馬丸記念館) 賀数 仁然氏(琉球歴史家) 大田 光氏(資料館解説員) 小波津 正光氏(お笑い芸人) JICA職員 船越 遼太郎氏、高良 沙加氏(p-ス Messenger ジャー) 永田 健作氏(平和劇制作者)	一人芝居、朗読、講話、紙芝居など、 様々なプログラムにより平和について考 える機会を提供する。	小・中学生	12	5,660
3	D	①5/24 ②7/26 ③9/27	お金のはなし講座 高田 大輝(SMBCコンシューマーファイ ナンス株式会社)	生活の中で実用的に生かせるお金の 話。生活設計や諸問題・課題のほか、資 産形成などを学び、より豊かな生活を送 る為の基盤とする。	成人	3	44
4	A	①7/31・8/1 ②8/7・8/8	夏休み特集・読書感想文書き方講座① ② 崎山 潤 氏(総合国語塾)	【1日目】基本編:文の作り方を講師オリ ジナル教材を使って段階的に練習 【2日目】実践編:読書感想文の基本的 構成を講師オリジナル教材を使って学 び実際に読書感想文を書く	小4～中3	4	58
5	F	①8/7 ②8/14	夏休み特集・しまくとぅば講座 公民館活動サークル 語やびら沖縄語 ぬ会	【1日目】自分で書いた日記を「うちなあ ぐち」作文にする 【2日目】うちなあぐち作文の音読、発表	小学生と その 保護者	2	14
6	B	①8/12 ②8/14	夏休み特集・島ぞうりアート 沖縄県立浦添工業高校情報技術科生 徒7名	【1日目】島ぞうりアートのデザイン作成 (公民館) 【2日目】レーザー加工機で島ぞうりア ート制作(高校実習室)	小学生と その 保護者	2	21
7	F	①7/28 ②7/29	夏休み特集・水のふしぎ 照屋 孝 氏	両日同じプログラムを実施 ・水の特性を実験やゲームによって学ぶ ・環境や動物の生態系をゲームによって 学ぶ	小学生と その 保護者	2	47
8	A	①7/28 ②7/29	夏休み特集・Mr.カガックの科学工作 教室 金城 靖信 氏	工作や実験を通して、身の回りの自然 現象や物質の法則などを理解する。実 験結果や成果物を分析し、考察する事 で新たな発見や知識を得る ・光の実験と工作 ・電気の実験と工作	小学生	2	51

	分野	実施時期	講 座 名	内 容	対象者	回数	受講者 延べ人数
			講 師				
9	F	8月24日	浦添市市制55周年記念講座 新聞 アーカイブで浦添の未来へGo! Go! 55!	浦添市市制55周年の節目に過去を知り、浦添市に関心を持つ。前半:新聞アーカイブで浦添の歴史を学ぶ。後半:哲学対話で未来の浦添を語る。	青少年・成人・シニア	1	20
			大久保 謙 氏(新聞イベントプロデューサー)				
10	B	①10/04 ②10/11 ③10/18 ④10/25 ⑤10/31 ⑥11/01	沖縄大生と踊るやさしいマミドー	竹富島に伝わる郷土芸能「マミドー」を練習して、市民協働とまなびのフェスタ2025で発表する。	青少年 特別支援 学校・学級 に通学して いる小学 高学年～ 高校生	6	36
			沖縄国際大学琉球芸能文学研究会				
11		9/18～ 11/1	まつり連続講座・50歳からのヒップ ホップダンス	11月1日開催の「市民協働とまなびのフェスタ2025・公民館フェスタ」の成果発表に向けた連続講座で、今回はヒップホップダンスをとおして、基礎のダンスステップやての動きを覚えながら課題曲をしあげる。	50歳以上の 成人	8	70
			前川 萌 氏 ヒップホップダンスインストラクター				
12	C	9/1～11/1	まつり連続講座・サルサ	11月1日開催の「市民協働とまなびのフェスタ2025・公民館フェスタ」の成果発表に向けた連続講座で、今回はサルサをとおして、基礎のダンスステップやての動きを覚えながら課題曲をしあげる。	成人	8	90
			スモールウッド亜邪				
13	B	9月19日	やさしいプログラミング教室	スクラッチを使用してモグラたたきのプログラミングを構築する。	成人	1	7
			浦添工業高校情報技術科生徒				
14	B	10月9日	秋のスマホ教室(広栄自治公民館)	・LINEの音声認識を使ったメッセージのやり取り ・Gemini(AI)に音声で書いてみよう ・Googleレンズでの検索	スマホ 初心者	1	11
			大城 宗勝(ソフトバンク)				
15	D	10月23日	家庭教育支援講座① こどものココロとカラダを整える大人の 教室こどものメンタルケア(県)	こどものメンタルケアについて	家庭教育・ 社会教育 に関わる 人	1	45
			脇 龍平 氏 公認心理師・臨床心理士				
16	D	10月25日	お金のはなし講座(セカンドライフ編)	生活の中で実用的に生かせる金融知識。50代以降のセカンドライフに備える資産運用など、ミドルエイジから考えるお金の話。	成人	1	17
			高田 大輝(SMBCコンシューマーファイナンス株式会社)				
17	C	11月24日	家庭教育支援講座② 脳が喜ぶ親子遊び(安波茶自治公民館)	楽しく遊び、強くなる。はしる、とぶ、なげる、身体能力向上プログラムを親子で楽しむ。	3歳～6歳 (未就学 児)とその 保護者	1	54
			屋良 宣条(成寿Life代表・宜野座陸上クラブ監督)				

	分野	実施時期	講 座 名	内 容	対象者	回数	受講者 延べ人数
			講 師				
18	B	①11/6 ②11/13 ③11/20 ④11/27 ⑤12/4 ⑥12/11	はじめての健康マージャン	段階的にマージャンを実践し、ルールや進め方を理解する。全6回の講座で基本5役まで習得し、マージャンを楽しむ。	マージャン 初心者	6	118
			前花 正樹(沖縄県健康マージャン連 盟会長)				
19	H	11月30日	戦後80年平和の継承を考える日	デジタル紙芝居・戦争体験者の講話・演 劇制作者の講話・浦添青少年少女合唱団 の歌	青少年・成 人・シニア	1	50
			喜舎場 宗正 氏(戦争体験者) 永田 健作氏(平和劇制作者)				
20	B	12月3日	やさしいスマホ LINEを使ってみよう！(スマホ先生活 用)	デジタル庁デジタル推進委員を活用し、 受講者がスマホに慣れることによって、 デジタルデバйд解消の一助とする。	スマホ 初心者	1	14
			天久 朝子氏(デジタル庁デジタル推進 委員)				
21	F	12月6日	防災マップと湧き水の歴史	防災マップの読み方と、防災における湧 き水の位置づけを学ぶ。赤皿ガーを探 索し湧き水の現状を知り、歴史について も学ぶ。	成人	1	12
			照屋 孝 氏				
22	F	1月10日	クレジットカードの基礎知識	クレジットカードの仕組みについて学 び、キャッシュレス決済が浸透する社会 で、安心して暮らせる一助とする。	成人	1	14
			比嘉秀一(クレカカウンセラー・琉球銀行) 屋宜盛人(同上)				
23	B	1月28日	やさしいスマホ 安全にスマホを使おう！(スマホ先生 活用)	デジタル庁デジタル推進委員から、スマ ホを安全に使う方法や、カメラアプリの 使い方を学ぶ	スマホ 初心者	1	15
			大村 仁哉(デジタル庁デジタル推進委 員)				
24	D	1月30日	家庭教育支援講座③ 生活に魔法をかけて丁寧な暮らしへ	仕事に子育てにあつという間に過ぎて いく一日。日々の暮らしのなかで取り入 れたい豊かに過ごすヒントをみつけてみ ませんか？	保護者・社 会教育・家 庭教育の 支援者	1	9
			伊佐 まゆみ(ライフスタイルコーチ)				
25	B	2月14日	家庭教育支援講座④ 沖縄の子どもたちの基本的生活習慣と 学力	さまざまなデータをもとに、沖縄の子ど もに関する学力や生活習慣について考 え学ぶ。	保護者・社 会教育・家 庭教育の 支援者	1	19
			西本 裕輝 氏(琉球大学教授)				
26	B	①1月26日 ②2月7日 ③2月7日	アートキャラバン「黒板アート教室」	学校への出前講座で黒板アートの技法 を学び、公民館の黒板にアートを制作す る。	高校生	3	29
			株式会社Beliemys 石川 香苗				

	分野	実施時期	講 座 名	内 容	対象者	回数	受講者 延べ人数
			講 師				
27	D	2月4日	自分らしさってなに？ アドラー心理学&数秘術	対面・Zoom同時開催 数秘術で、個人の能力・性格・気質などを 知り、心理学の考え方を通して物事を 前向きに考える。	成人	1	31
			新里 利浩(数秘術カウンセラー・書道 家)				
28	F	2月21日	勢理客の魅力再発見！まちづくり講座 (勢理客公民館)	勢理客地区で実施されている「子ども・ 若者支援」について、採蜜体験をとおし て知り、地域の課題やまちづくり活性化 への理解を深める。	成人	1	19
			若者支援サークル ビ・フリー				
29	B	3月3日	親子ほしぞら教室～月食観察会～	月にまつわる話を聞きながら皆既月食 を観察する。併せて冬から春の星座を 観る 月に関連した工作を行う。	小学生以 上の親子	1	26
			島袋 美那子(浦添ほしぞらサポー ター)				

76 6,630

【分野】※文科省学習コードより

- A 教養の向上
- B 趣味・けいこ
- C 体育・レクリエーション
- D 家庭教育・家庭生
- E 職業知識・技術の向上
- F 市民意識・社会連帯意識
- G 指導者育成
- H その他

令和 7 年度 中央公民館講座アンケート分析

☐ 調査概要

方 法 | 公民館講座受講後、Google フォーム(QR コード読み取り)または紙媒体にてアンケートを実施。

対象者 | 講座受講者数585 名※平和キャラバン(児童数)を除く

回答率 | 講座受講者 92.6%(回答者数 542 名)

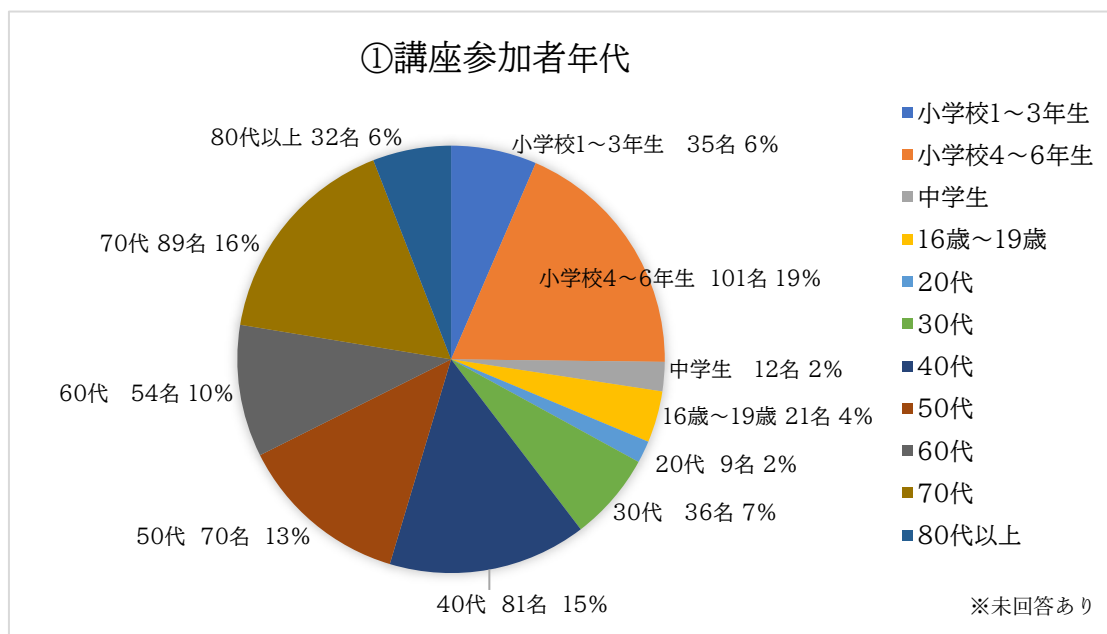
☐ 分析項目 ※一部抜粋

【講座受講者】

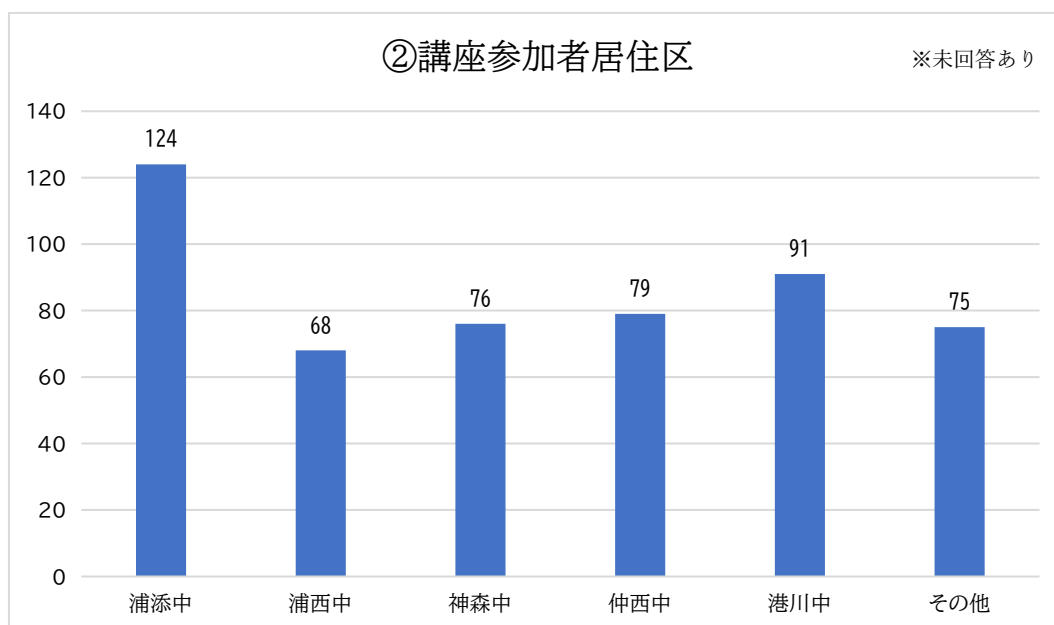
- ① 参加者年代
- ② 参加者居住区
- ③ 情報源
- ④ 参加回数(R7.12 よりアンケートに追加)
- ⑤ 満足度
- ⑥ 学びの活用
- ⑦ 公民館への期待
- ⑧ 分野の興味・関心(学習ニーズ)

☐ アンケートの取扱い

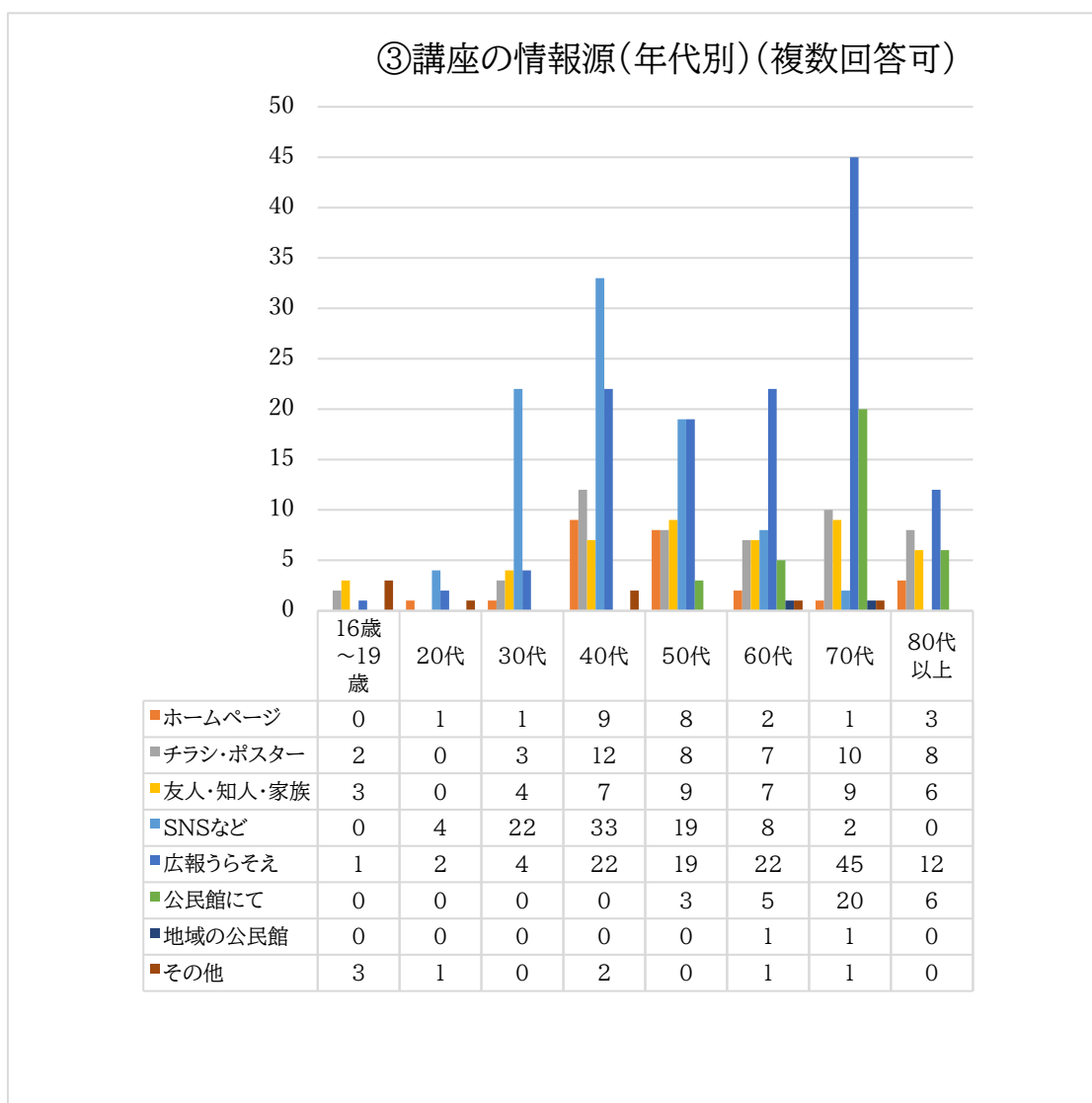
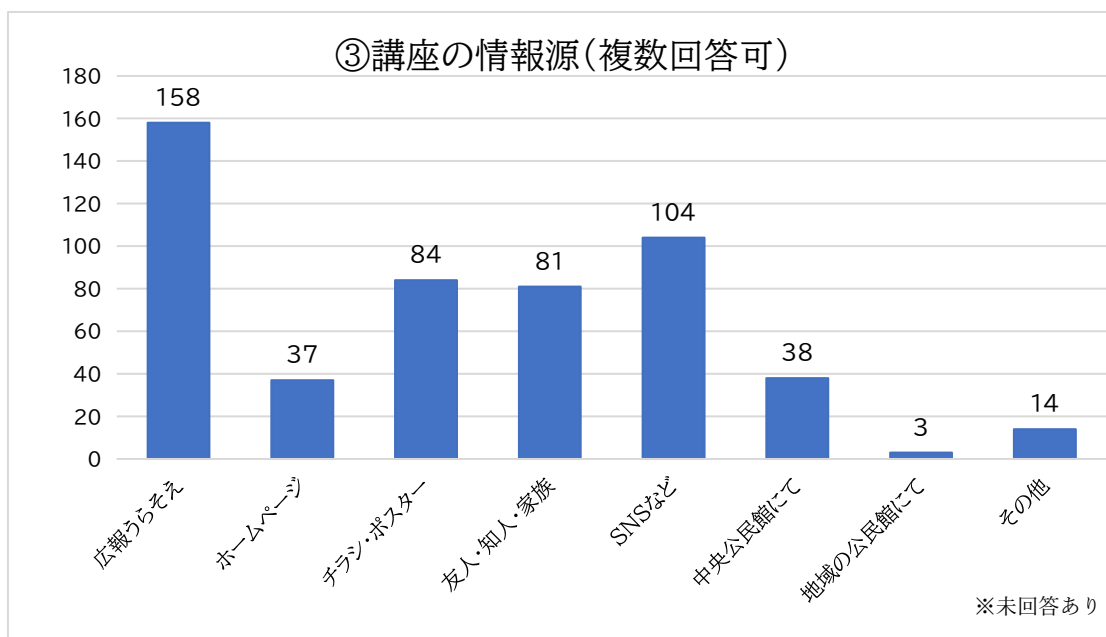
令和 8 年度館報に掲載



結果 | 講座参加者は「小学校4～6年生」が最も多く、続いて「70代」が多くなった。
 分析 | 夏休み講座があり、小学生の受講者が多くなった。40代以上の世代もバランスのよい受講率となっている。「中学生以上の10代」「20代」「30代」の受講率の向上が今後の課題となる。

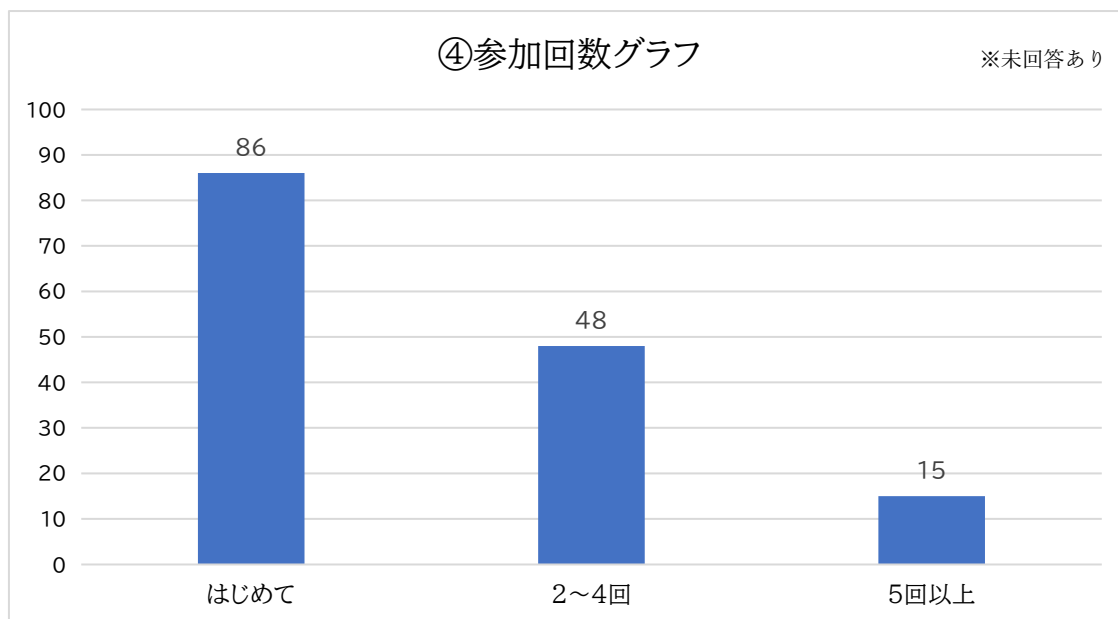


結果 | 「浦添中校区」からの受講者が多く、「浦西中校区」最も少なかった。
 分析 | 中央公民館から近い「浦添中学校区」の参加者が多い。
 なお、「その他」は浦添市外の在住者を指すが、県との共催で家庭教育支援者研修会を行ったことが影響し参加数が増えた。



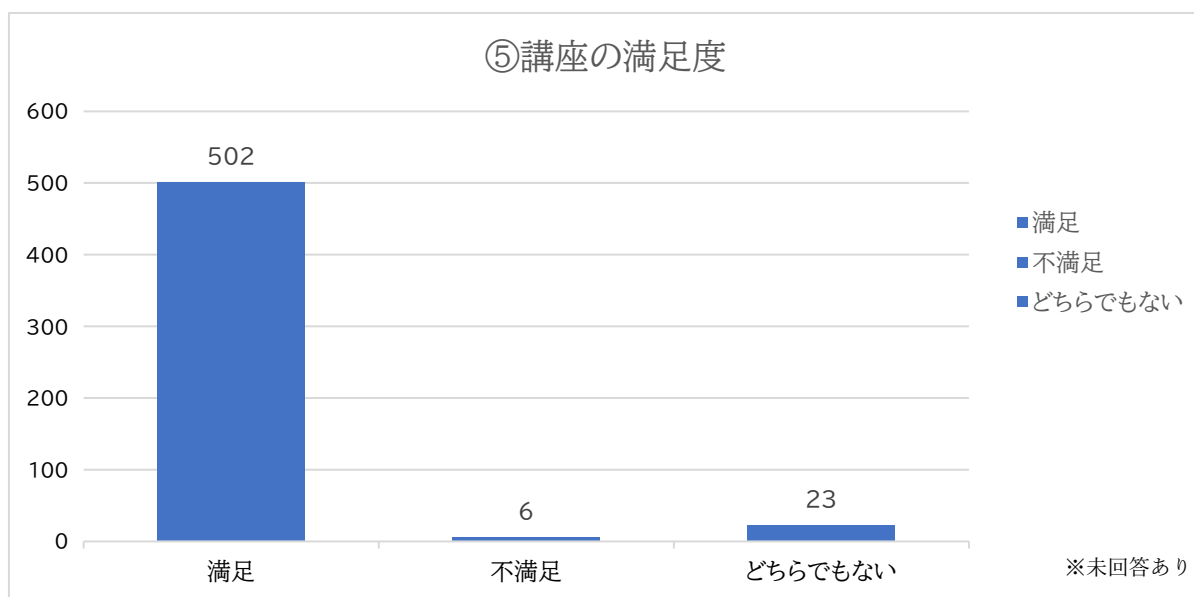
結果 | 講座の情報源は「広報うらそえ」が最も多く、次いで多い順に「SNS」「チラシ・ポスター」「友人・知人・家族」と続いた。

分析 | 「広報うらそえ」を情報源とした人数は最多であったが、年代別にみると年代が上がるにつれ割合が高くなっていることがわかる。30代～50代は「SNS」から講座を知ることが多い。「浦添市公式 LINE」の効果が大きいと思う



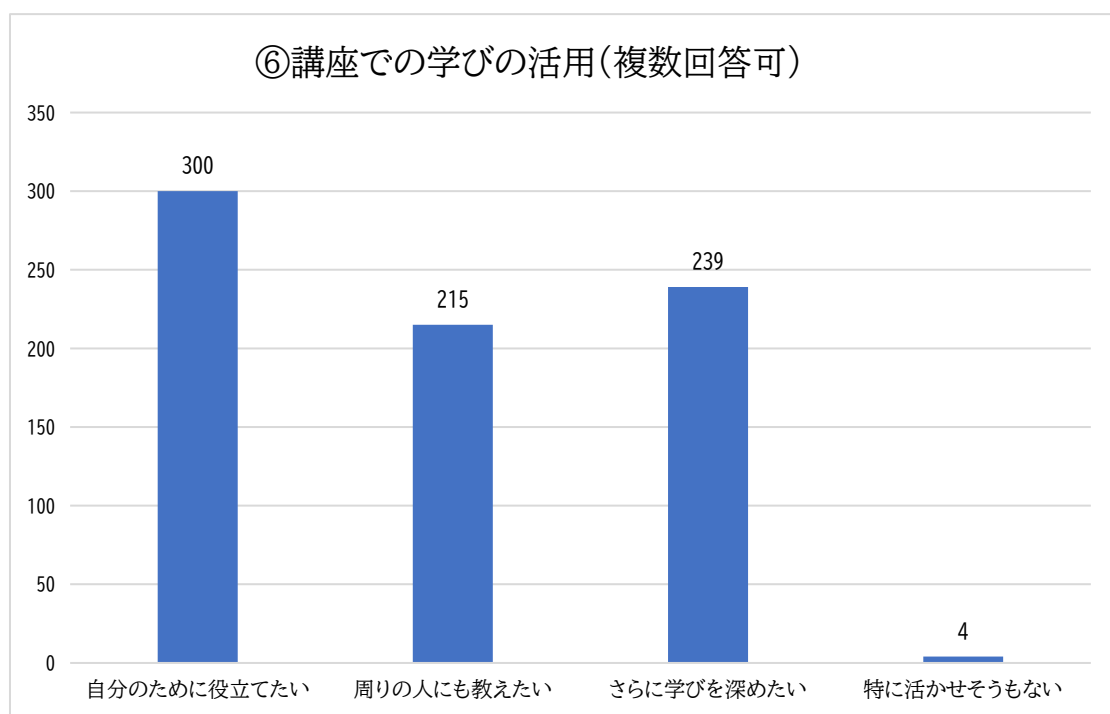
結果 | 86名(約 58%)がはじめての参加であった。

分析 | 年度途中の令和 7 年 12 月からアンケートに追加したが、講座を通して公民館を知ってもらいきっかけになっていると思う。また、5回以上の参加者も15名(10%)おり、講座が市民の間で活用されていると思われる。



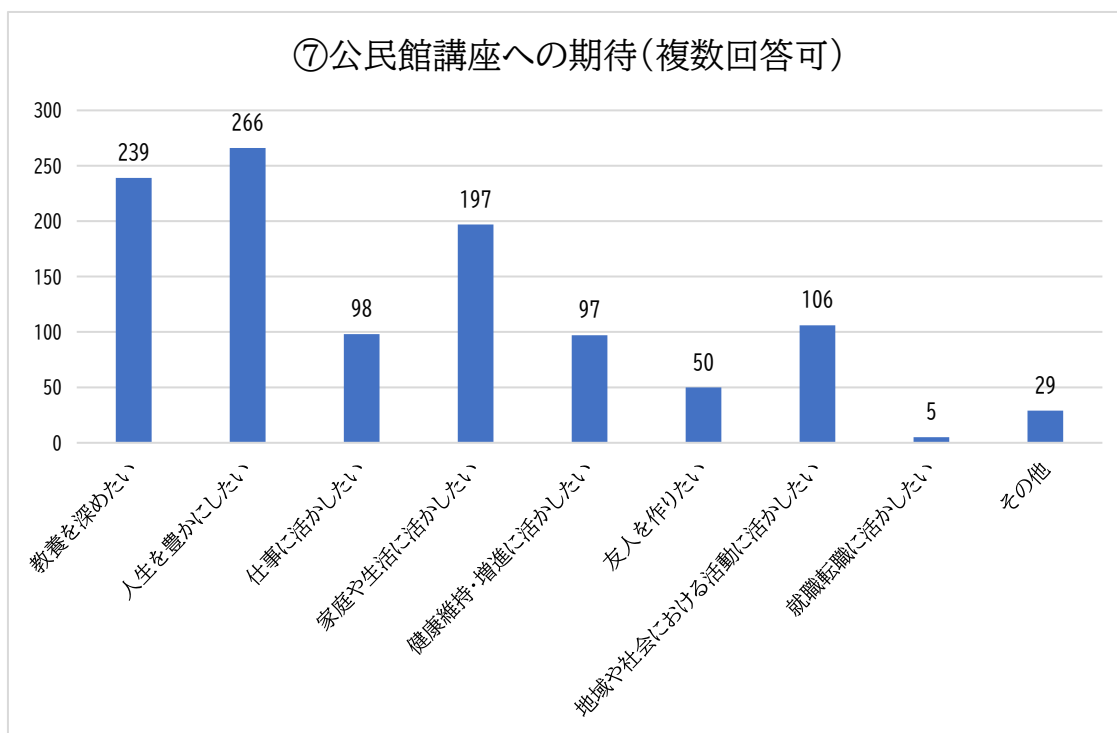
結果 | 「満足」が 502 名と高い一方、どちらでもないが 23 名となった。

分析 | 高い満足度がみられる。どちらでもないは、参加者が意図した講座と異なる内容だった・時間が足りないとのアンケート記載があった



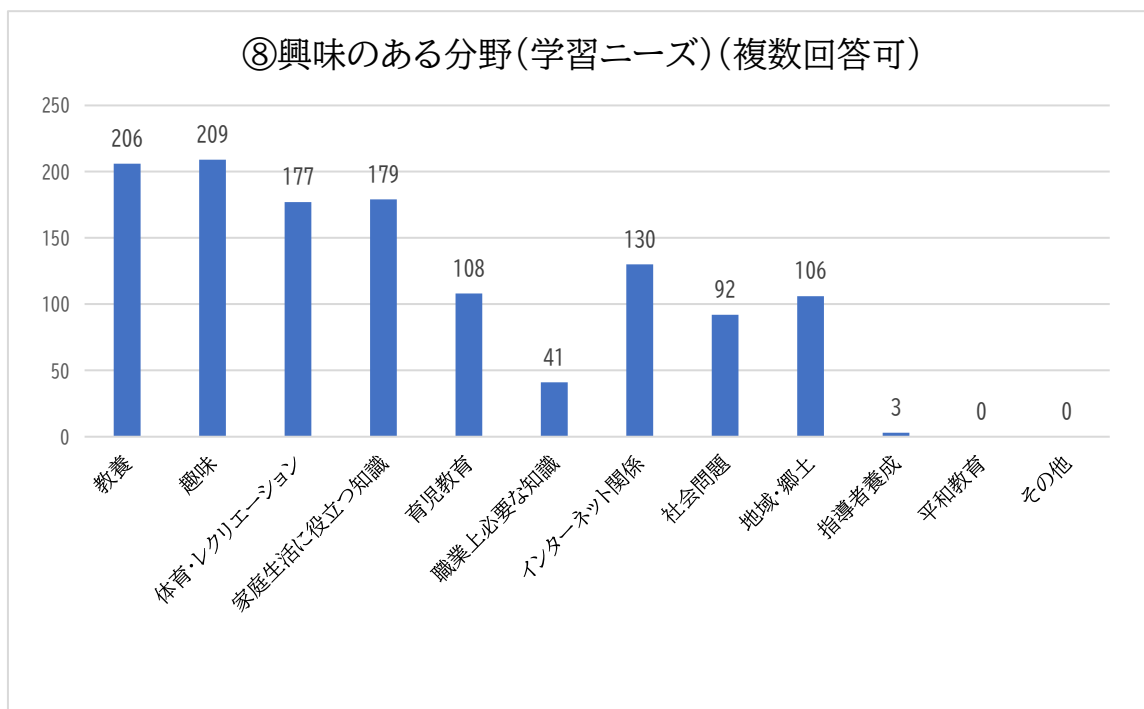
結果 | 講座で学んだ内容を「自分のために役立てたい」との回答が最も多い。

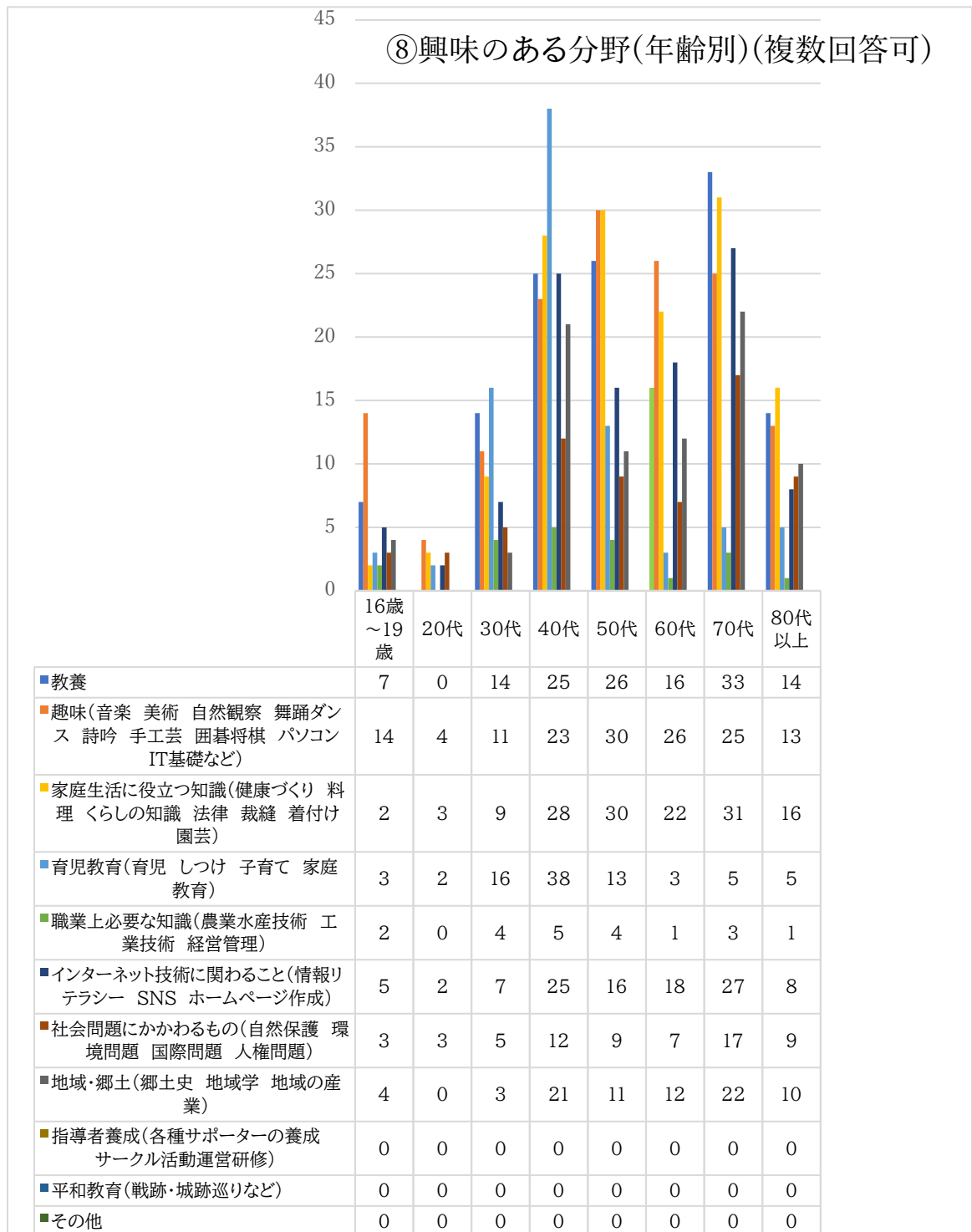
分析 | 自身の生活に学びを活かしたいという想いがみられる。「ほかの人にも教えたい」、「さらに学びを深めたい」の票も多く、学びへの活発な意欲がみられる。



結果 | 「人生を豊かにしたい」が最も多く、「教養を深めたい」が続いた。

分析 | 学びの内容を人生に活かしたいという想いがみられる。生きがいづくりや学習機会を求めるしていると推察できる。





結果 | 「趣味」「教養」が多く、「生活に役立つ知識」「体育・レクリエーション」と続いた
 分析 | 上位4項目のニーズが特に高い。「趣味」は講座に関係なく高いニーズがあった。生きがいづくりや生活に活かせる内容の学習機会が求められている。また育児教育に関しては、子育ての40代の関心が高く、インターネット関係については、40代以降からシニア世代で関心があり、これからの時代に必要な知識だと思う。

スマホ教室①②(初心者向けのスマホ教室)

- 1.目的 スマホの基本操作を学んでデジタルリテラシーを身につけることにより、人や地域とのつながりを強化し、アプリを活用した脳トレや各種体操の実践により、参加者が楽しみながらフレイル予防を図るきっかけづくりとする。
※フレイルとは、「健康」と「要介護」の間の状況のこと
- 2.場所 浦添市立中央公民館 視聴覚室
- 3.対象 市内在住・在勤のスマホ初心者
- 4.講師 ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー 又吉 岐吏子 氏
ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー 大城 宗勝 氏（前半1時間）
ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー 下地 美樹 氏（後半1時間）
- 5.人数 定 員 20名(各回)
申込人数 ①23名 ②18名（申込率:①115%、②90%）
参加人数 ①16名(参加率:80%) ②13名(参加率:65%) のべ29名
申込種別 Logoフォーム:①1名 ②2名 電話など:①15名 ②16名
- 6.内 容

実施日	学習内容
① 5月27日(火)	【前段】初心者のためのスマホの使い方の基本
② 5月30日(金)	(Google音声検索、Googleレンズ、QRコード、LINE)
10:00~12:00	【後段】スマホアプリを使った脳トレ・体操

- 7.成 果 今回のスマホ教室は、操作を学ぶのではなく、スマホの便利さや楽しさを体験するという趣旨であり、その点では参加者全員が楽しめているよう様子だった。LINEのグループトークに音声入力でメッセージ送信できた。
- ① Googleレンズを使った、画像検索・、外国語の翻訳など最新の機能を楽しんで体験できた。
- ② フレイル予防のアプリを使って脳トレや体操を行い、スマホは情報の検索やメッセージのやり取りだけでなく、健康増進に活用できることを体験することができた。
- 8.課 題 ・アンケートの回収率(16名中13名回収※5/27)を上げること。ソフトバンクと公民館の紙資料が多く、それらの資料と一緒にアンケートを持って帰ってしまった可能性がある。講座終了後にアンケートを配布し、記入が終わった人から回収・退室の流れがよいのではないかな。
- ・操作を学ぶ講座なのか、楽しさ便利さを体験する講座なのか等、その講座の特色がより伝わるようにチラシ内容をさらに工夫する必要がある。
- ・23名申込中(5/27)、前日と当日で7名のキャンセルがあったのが残念。理由は体調不良や急な用事等であった。

9. 講座の様子



平和キャラバン

1.目 的 平和教育の中心だった戦争体験者の講話ができなくなりつつあるなか世界と沖縄、浦添の恒久平和に貢献するためのビジョンと、その達成のため平和講座を開設する。今年度の平和キャラバンは戦後 80 年の節目の年に、市内の児童生徒が主体的に考える事ができる平和教育を目指す。

2.場 所 市内小学校8校 中学校3校 特別支援学校1校

3.対 象 青少年

4.内 容 (講師・人数含む)

	実施日	学習内容	参加人数	
			対 面	Zoom
1	5月21日(水) 10:35~11:25	教育長による沖縄戦の一人芝居 講師:銘苅 健 氏 港川小学校 全学年	889	0
2	5月30日(金) 13:00~15:00	朗読会「道」による絵本の朗読 講師:嘉数 明美 氏、大城 勝政 氏 宮城小学校 6学年	108	0
3	6月11日(水) 09:00~11:00	対馬丸記念館職員による講話 講師:堀切 香鈴 氏 沢岨小学校 全学年	598	0
4	6月13日(金) 08:00~10:00	一中戦没学徒資料室解説員による講話 講師:大田 光 氏 浦添中学校 全学年	32	714
5	6月13日(金) 08:15~10:15	琉球歴史家による語り 講師:賀数 仁然 氏 仲西中学校 全学年	829	0
6	6月17日(火) 10:10~12:10	お笑い芸人による平和学習 講師:小波津 正光 氏 神森小学校 全学年	573	0
7	6月18日(水) 09:45~11:45	JICA 職員による講話 講師:JICA 職員 牧港小学校 6学年	76	0
8	6月19日(木) 10:00~12:00	対馬丸記念館職員による講話 講師:堀切 香鈴 氏 浦添小学校 全学年	549	0

9	6月19日(木) 08:20~09:20	浦添市ピースメッセンジャーによる講話 講師:船越 遼太郎 氏、高良 紗加 氏 浦西中学校 全学年	30	451
10	6月19日(木) 09:30~11:30	沖縄戦と平和劇制作者による講話 講師:永田 健作 氏 前田小学校 全学年	630	0
11	6月20日(金) 10:30~12:30	戦争体験者・継承者の講話とデジタル紙芝居 講師:知名 正男 氏 仲西小学校 6 学年	95	0
12	6月12日(木) 09:00~11:00	戦争体験者・継承者の講話とデジタル紙芝居 講師:知名 正男 氏 大平特別支援学校 高等部全学年	86	0
参加者			小計	4495
			合計	5660

※対象校 16 校のうち 11 校参加 + (特別支援学校) トータル 12 校 参加 69%
申込種別:すべてメール

- 5.成 果
- ・講師の発掘を推進し、従来の講師と新たな講師により14プログラムを準備でき、うち10プログラムを12校で実施できた。
 - ・内容についても種類が増え、受講者のレベルに応じて適切なプログラムを選べるようになった。
 - ・1プログラムの実施を、極力 1 校(一部 2 校あり)に限定することで多くのプログラムを実施できた。
 - ・小学校の希望調査では、「お笑い芸人の平和学習」と「対馬丸記念館職員による講話」がともに3校で人気が高かった。ついで、「JICA 職員による講話」「教育長による沖縄戦の一人芝居」「沖縄戦を追体験する平和教育」が 2 校ずつであった。
 - ・中学生向けの希望調査では、「琉球歴史家による語り」に 3 校が集中した。
 - ・統括コーディネーターが6校に同行できた。
 - ・ある学校で、学校、公民館、地域コーディネーターで平和学習を作り上げた。
 - ・サークル「朗読会道」を講師として活用する事で、臨場感あふれる朗読となり児童が絵本の世界を追体験できたように感じた。
 - ・児童・生徒が積極的に参加できたり、講話内の登場人物が児童・生徒と同世代

であったりと、それぞれが考え、共感できる学習内容が多かったと思う。

- ・平和について自分事として考えている感想が多くみられ、講座の目的が達成できたと感じられた。

- ・仲西小学校ではガマの散策、劇の発表などの活動につなげることができるなど、平和キャラバンから発展した学習へとつながった。地域コーディネーターにより学校と講師をつなげることができた。

- ・対馬丸記念館経由で疎開先宮崎県の平和講師の紹介を受け、国際交流課と繋ぐことが出来た。

6. 課 題
- ・講座について公民館による事業であることが未だ十分に認知されていないと思われる。調整の段階から機会ある毎、書面も活用して説明することが重要である。
 - ・低学年、高学年とわけてプログラムを提供したが、学校側は全校生徒対象の希望が多く、マッチングに苦慮した。
 - ・戦争体験者が体調不良により欠席となったため、戦争体験継承者が代理することとなった。戦争体験者が高齢であることを考えれば、次世代への継承及び、語り部の開拓などが急務である。
 - ・一部報道機関が写真不可の児童がいることについて、学校側に席替えを申し入れる場面があった。報道は重要なことではあるが、児童の心情を最優先にすべき事柄であることを共通認識としておく必要がある。
 - ・時期的に熱中症対策が必須であるが、学校によっては飲水を遠慮する状況も見られた。講話中の飲水や休憩時間の設定などについて、学校、講師と事前に打ち合わせておくことが必要である。
 - ・今回は知名氏作成のデジタル紙芝居(公民館所有)の申込がなく、活用を促す必要がある。

7. 講座の様子



7.講座の様子



お金のはなし講座

- 1.目的 学校教育内で金融教育が組み込まれるなど、お金に関する知識の重要度が高まっている。生活に直結した金銭(マネー)に関する生活設計や諸問題・課題のほか、資産形成などを学び、より豊かな生活を送る基盤とする。
- 2.場所 浦添市立中央公民館 第1研修室
- 3.対象 市内在住・在勤・在学の人
- 4.講師 SMBCコンシューマーファイナンス株式会社 高田 大輝 氏
- 5.人数 定員 30名(各回) 託児 ①2名 ②1名 ③2名
 申込人数 ①29名(申込率:97%) ②29名(同:97%) ③27名(同:90%)
 参加人数 ①20名(参加率:66%) ②15名(同:50%) ③9名(同:30%)
 のべ44名
 申込種別 Logo フォーム:29名 電話など:5名

6.内 容

	実施日	学習内容
1	5月24日(土) 10:00~12:00	導入・生活設計・家計管理
2	7月26日(土) 10:00~12:00	稼ぐ・育てる
3	9月27日(土) 10:00~12:00	資産形成・金融トラブル

- 7.成果
- ・グループワークにより、受講者同士のコミュニケーションがとれた。
 - ・ゲームを通して、株の売買の仕組みや、投資の仕組みが勉強できた。
 - ・経済的価値を生み出す方法を、具体的に考えることができた。
 - ・特殊詐欺など、金融トラブルについて、消費者を取り巻く環境の変化に対応する知識を学んだ。講師の話が丁寧でわかりやすく、受講者の方から自治会でもやってほしいとの申し出があった。
- 8.課題
- ・キャンセルが多かった。
 - ・初回時に3回分の申込をうけており、2ヶ月ごとの開催であったので、参加へのモチベーションが薄れた感があった。リマインドメールも複数回送信したり、電話確認等も実施したが、なかなか参加に結びつかなかった。
 - ・連続講座にするときは、毎月実施する等、あまり日を開けずに、都度申込を受けたほうが良かった。
 - ・また、台風8号の接近もあり、キャンセルが多くなったと思う。
 - ・「台風接近時の対応」ということで、開催2日前に受講者へメールと電話で連絡したが、夏場の開催は、台風の発生が考えられるので、中止や延期をどうするか、あらかじめ考えていた方がよかった。

9.講座の様子



夏休み特集・読書感想文書き方講座

1. 目的 多くの小・中学校で夏休みの宿題として出題される読書感想文をテーマにすることによって若い世代の講座参加を促進し、公民館の事業内容に興味や親しみを持ってもらい、2020年度の学習指導要領の改訂に伴い今後ますます重要となる「思考力・判断力・表現力」の基盤となる国語力(読解力・表現力)の向上に寄与する。
2. 場所 浦添市立中央公民館 第2研修室(本講座)・パソコン室(追加講座)
3. 対象 市内在住・在学の小4～中3
4. 講師 総合国語塾 代表 崎山 潤 氏
5. 人数 定員 20名 ※定員を超えた9名は別途実施日を設定した。
 申込人数 34名 (申込率:170%)
 参加人数 29名 (参加率:145%) のべ人数 58名
 申込種別 Logo フォーム:38名 電話など:2名
6. 内容 (2回連続講座、両日とも午前10時～12時)

(1)本講座

実施日	学習内容
7月31日(木)	【1日目】基本編 文の作り方
8月1日(金)	【2日目】実践編 読書感想文の型

(2)追加講座

実施日	学習内容
8月7日(木)	【1日目】基本編 文の作り方
8月8日(金)	【2日目】実践編 読書感想文の型

7. 成果
- ・基本編では、読書感想文に限らず、相手に伝わる作文の基礎ポイントを学び、書き方の練習を数多く行い、読書感想文の下地作りを行うことができた。
 - ・2日目の実践編では、読書感想文の構成配分(本を読んだきっかけ10%、あらすじの紹介10%、興味を持った部分の分析10%、本を読んだことをきっかけに自分の体験・意見60%、まとめ(これからどう生かすか等)10%)に沿って、テキストに各構成部分を書き込むことにより読書感想文の骨組みを作成することができた。また読書感想文を完成させることができた参加者もいた。
 - ・2日間を通して、相手に情報や意見などを的確に伝える「表現力」の良い訓練となった。
 - ・夏休みの宿題に限定されない将来に役立つような講座内容であり、講師自作のテキストも非常に練られたもので、今後の高校入試の作文対策としても活用できるレベルであった。
8. 課題
- ・学校へポスター・チラシの配布だけでなく直接出向いて講座の説明を行うことにより、さらに参加者を増やすことができそうである。

9.講座の様子



夏休み特集・うちなあぐちで日記を書こう

1.目的 日常生活に「うちなあぐち」を使う場面を増やすことによって、児童生徒の沖縄の言語に関する興味と理解を促し、うちなあぐちに親しみながら地域・郷土の理解を図る。併せて学力向上推進「ていんさぐプラン」に掲げるコンセプト「学校だけでは経験できない様々な学びの機会や体験、交流の場を提供することで多くの人とかかわり、学びを通して自身の学び豊かにする」との整合を図り、学びの場を創出する。

2.場所 浦添市立中央公民館 第1研修室

3.対象 市内在住・在学の小学生とその保護者

4.講師 公民館活動サークル 語やびら沖縄語ぬ会

5.人数 定員 15名

申込人数 13名（申込率：86％） 参加人数 9名（参加率：60％）

のべ人数 14名 申込種別 Logo フォーム：10名 電話など：3名

6.内容（2回連続講座）

実施日	学習内容
8月 7日(木)10時～12時	【1日目】日記を「うちなあぐち」作文にする
8月14日(木)10時～12時	【2日目】うちなあぐち作文の音読、発表。

7.成果（企画面）

・講座を2回設定にしたことで、初めてのしまくとうばに親しむゆとりが持てた。1回目は「しまくとうば」に慣れること。2回目は発表会と、連続講座の流れができた。間隔を1週間空けたことで、親子の会話、祖父母との会話も広がったと聞いた。自宅練習・自主まなびの機会にもなったと思われる。

（運営面）

・講座の運営は、受講生と講師を4グループに分けて進めた。講師と受講生のチーム感につながったように感じた。

・講師の意向により、最後は三線、二胡、笛の生演奏で「ていんさぐぬ花」「童神」の合唱で、バラエティーに富んだ講座で締めくくることができた。

（社会教育の連携）

・公民館定期利用サークルを講座講師に活用し、社会教育の連携を図った。

・浦添市文化協会（しまくとうば部会）のバックアップにより、ボランティアスタッフの参加があり、講座運営に厚い支援となった。

・サークルが主催する「浦添市しまくとうば大会」に公民館講座修了者の出場の機会を創る流れを試みることができた。

8.課題 ・夏休み講座の性質上、開催期間が集中してしまうのは致し方ないが、講師の日程にも配慮したうえで、講座の日時の重なりは極力、避けたい。

（主担当者（メイン）と補助者（サブ）の補完ができない）

9. 講座の様子(1回目) しまくとぅば練習



講座の様子(2回目) 発表



夏休み特集・親子で島ぞうりアート

- 1.目的 島ぞうりアートを通じて、創造の喜びと他者（高校生）と協力して最後までやり遂げる達成感を感じる機会を得る。
高校生に学んだ技術を市民に紹介・教育する場を提供し、当該高校生の技能を向上するとともに、指導者、ボランティアをして活動する意義を感じる機会として、公民館活動の活性化を図る。
- 2.場所 浦添市立中央公民館 視聴覚室
沖縄県立浦添工業高校情報技術科実習室
- 3.対象 市内在住・在学の小学生親子
- 4.講師 沖縄県立浦添工業高校情報技術科生徒 7 名
- 5.人数 定 員 5組
申込人員 19組 （申込率：380%）
参加人員 5組（10名）（参加率：100%） のべ人数 21 名（当日1名）
申込種別 Logo フォーム：19名 電話など：0

6.内 容

実施日	学習内容
8月12日(火) 10:00～12:00	全般説明 デザイン画作成、提出（高校にて画像をデータ化）
8月14日(木) 10:00～12:00	レーザー加工機にて作品制作（高校生が制作） 受講者は見学

- 7.成 果 受講生が出来上がりを想像しながら思い思いのデザインを考えることで、創造の喜びを感じる機会となった。また、自分で考えたデザインをもとに一つの作品が出来上がることを体験して、やり遂げる達成感も感じてもらえたと思う。
講師を務めた高校生にとっては、自分の知識、技能で小学生を指導する良い機会となったことに加え、受講者の小学生にとっても兄的感覚の高校生から学ぶことで楽しさを感じる機会となり公民館活動の活性化につながった。
- 8.課 題 レーザー加工機での島ぞうりの製作は、高校でも慣熟したものではなかったもので、機材の設定などに試行錯誤する場面もあり、想定よりも時間を要した。
レーザー加工の際に、島ぞうりの鼻緒を外す必要があり、今回は主催者側の作業として高校生が対応したが、慣れない作業であることとぞうりを破損する可能性もあったので、事前に要領を学習（会社に確認するなど）して受講者の作業として説明できる態勢を取ればよかったと感じた。

9.講座の様子



夏休み特集・水のふしぎ

- 1.目的 水について学び自然環境の中での役割や動植物への影響を考えるきっかけとする。
- 2.場所 浦添市立中央公民館 料理実習室及びホール
- 3.対象 市内在住・在学の小学生とその保護者
- 4.講師 プロジェクトウエットファシリテーター 照屋 孝 氏
- 5.人数 定 員 20名
申込人数 32 名（申込率:160%）
参加人数 27名（参加率:135%） 保護者:20名(外数) のべ47名
申込種別 Logo フォーム:29 名 電話など:3名

6.内 容

実施日	学習内容
7月28日(月) 10:00~12:00	① 水の特性を実験やゲームによって学ぶ ② 環境や動物の生態系をゲームによって学ぶ
7月29日(火) 10:00~12:00	同

※1 日目と 2 日目で違うプログラムを行う連続講座として計画したが、応募者が多数のため 1 日目、2 日目とも同じプログラムを行う講座に変更し、応募者全員が参加できるようにした。(のべ人数には保護者も含む)

- 7.成 果 水の特性や重要性、自然環境における連鎖などについて、実験やゲームを通じて楽しく学ぶことが出来た。特にオリンピックと銘打って競争意欲を高めることでより真剣に受講し、理解度も高まった。
ゲームにより体感で理解を補足できており、自然環境について考えるきっかけづくりになった。
- 8.課 題 子供だけでなく親も参加可として講座を進めた。親子で協力して行った方が良い内容であったので成功裏に実施できたが、料理実習室を使って行う場合は、機材やスペースの関係から総数を制限しておく必要がある。今回の講座であれば 30 名(親も含めて)程度が最大数と思われる。

9.講座の様子



夏休み特集・Mr.カガックの科学工作教室

- 1.目的 工作や実験を通して、身の回りの自然現象や物質の法則などを理解する。実験結果や成果物を分析し、考察する事で新たな発見や知識を得るきっかけとする。
- 2.場所 浦添市立中央公民館 ホール
- 3.対象 市内在住・在学の小学4年生～中学3年生
- 4.講師 Mr.カガック 金城 靖信 氏
- 5.人数 定員数 20名（各回）
 申込人数 28名（申込率:140%）
 参加人数 ①27名（参加率:135%） ②24名（参加率:120%）
 のべ人数 51名
 申込種別 Logo フォーム:26名 電話など:5名

6.内 容

実施日	学習内容
①7月28日(月) 14:00～16:00	光の実験と工作
②7月29日(火) 14:00～16:00	電気の実験と工作

- 7.成果 ・ほぼ全員が満足の内容であった。実験では、普段経験できないものを見たり感じたり、マジック感覚で科学を感じる事ができた。工作で成功体験を経験する受講者が多かった。
 ・身の回りにあるものの法則や物質、自然現象など、実験を通してわかりやすく学ぶ事ができた。
 ・ヘッドフォン作成で音がきこえなかったことをもとに、どのような理由できこえないかを先生から習い、推測をたてる受講者がいた。
- 8.課題 ・講師の補助スタッフがおらず、公民館指導員が行うなど人手が必要であった。
 ・事前に準備する道具などのリスト作成、準備出来たらよかった。当日に用意するものがたくさんであった。中学生は1名のみの参加だった。
 ・初日は、実験の時間を多くとりすぎ、工作を仕上げるのに時間がかかった。
 ・2日目は、初日の反省をもとに、工作の時間を充分にとったが、ヘッドフォンがきこえるかどうかを試すのに時間を要した。
 ・受講者が多くなったので、定員を30名まで増やしたが、人数を20名のままだと、時間的にも余裕があったのかもしれない。

9. 講座の様子



浦添市市制施行 55 周年記念講座 「新聞アーカイブで浦添の未来へ Go ! Go ! 55 !」

1. 目的 浦添市市制 55 周年の節目の年に、市全体の気運を高めるとともに、過去を知り、浦添市に愛着を持ち、これからの浦添市に関心を持つ意識を醸成する。
2. 場所 浦添市立中央公民館 ホール
3. 対象 小学生以上の浦添市に関心のある人
4. 講師 大久保 謙 氏(新聞イベントプロデューサー・琉球新報アドバイザー)
関戸 塩 氏 (琉球新報社)
5. 人数 定員数 55名
申込人数 20名(申込率:36%)
参加人数 20名(参加率:36%)
申込種別 Logo フォーム:7 名 電話など:13 名

6. 内容

実施日	学習内容
8 月 24 日(日) 10:00~12:00	前半 新聞アーカイブで浦添の歴史を学ぶ 後半 哲学対話で未来の浦添を語る

7. 成果
- ・図書館との連携で、戦後 50 周年の記念パネルを借用、約 1 ヶ月間、公民館に展示し、多くの市民が関心を持つきっかけづくりが出来た。
 - ・新聞アーカイブで市への昇格の歴史、浦添の最古の記事を学び、昭和 100 年を意識できた。
 - ・後半の哲学対話では、これからの浦添について、老若男女がそれぞれの立場で思いを伝えた。過去の浦添の様子を若い年代の受講者に話し、有意義な時間を過ごすことができた。小中学生 3 名の参加は、夏休みの宿題につなげることが出来そう。
 - ・国際交流課より広報うらそえのアーカイブ版を借りて、当日展示。受講者が興味深く見ていた。
 - ・市民生活課より市制施行 55 周年ののぼりやロゴを使用し、意識づける事ができた。
 - ・うらそえ歴史ガイドが数名参加し、違った視点で学んでいた。
8. 課題
- ・集客のため、地元ラジオ、新聞掲載や琉球新報に足を運んだが、効果は限定的だった。自治会長の参加を期待したが、地域の祭りの前後であったためか、参加に繋がらなかった。
 - ・前半の新聞アーカイブで受講者からの声をもっと拾うことができたよかったです。(対話式)
 - ・後半の哲学対話についての講師と公民館との打合せをさらに深めれば、対話

を更に活性化出来た。

9. 講座の様子



まつり連続講座・沖縄大生と踊るやさしいマミドー

- 1.目的 さまざまな障がいを持つ子どもが郷土の伝統芸能を学ぶことを通じて、地域の
一員であることを感じる機会とするとともに、体力、集中力の向上と個性の伸展
を図る。また、大学生や仲間と触れ合うことにより、コミュニケーション能力を高
め、社会的適応の一助とする。
- 2.場 所 浦添市立中央公民館 第1研修室
予行及び本番:アイムユニバースてだこホール
- 3.対 象 特別支援学校または特別支援学級(通級含む)に在学中の小4～高校生
- 4.講 師 沖縄国際大学琉球芸能文学研究会
- 5.人 数 定 員 数 15名
申込人数 6名(申込率:40%)
参加人数 6名(参加率:40%) のべ人数 36名
申込種別 Logo フォーム:5名 電話など:1名

6.内 容

実施日	学習内容
10月4日・11日・18日・25日(土) 10月31日(金) 19:00～20:00	自己紹介・マミドーの各パート(鍬、鎌、ヘラ)の振付を 覚え、仕上げる。5回目は予行を含む。
11月1日(土) 14:00～15:00	市民協働とまなびのフェスタ 2025 にて成果発表

- 7.成 果 ・いろいろな障がいをもつ受講生が、仲良く地域芸能を学ぶ事で、コミュニケ
ーション力を高め、協調性を養うことができた。
・農作業の道具を使ったり、衣装をまとうて踊りを練習する中で、地域芸能へ
の理解を深め地域の一員であるということを感じる機会となった。
・講師となった大学生は、受講生が指示通りに動かない(動けない)ことに苦心
していたが、障がいを持つ子どもとの関わり方を学ぶ良い機会になった。
・保護者が熱心で運営にも協力的だった。回を重ねることで保護者同士のつ
ながりもできていた。
- 8.課 題 ・定員15名程度に対して、なかなか集客がはかどらず苦心した。特別支援学校
ほか、市内の小中学校、放課後デイサービス、サービス法人などを訪問し、チラ
シの配布と声掛けの協力を依頼した。SNS 配信も3度にわたり行ったが、効
果は限定的だった。最終的には、応募年齢を中学生以上で計画したものを小
学生高学年まで下げ、市外からの応募も可として6名(市外1名)の参加者を
得ることが出来たが、集客の大幅な改善には至らなかった。

9.講座の様子



まつり連続講座・50歳からのヒップホップダンス

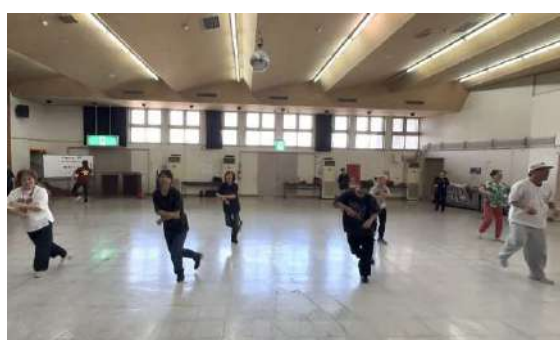
- 1.目的 11月1日(土)開催の「市民協働とまなびのフェスタ(公民館フェスタ)2025」の成果発表に向けた連続講座で、ヒップホップダンスを通して、基礎のダンスステップや手の動きを覚えながら、課題曲を仕上げていく。
- 2.場所 浦添市立中央公民館 ホール、アィムユニバースてだこホール
- 3.対象 50 歳以上の成人
①市内在住・在勤のヒップホップに興味のある人
②医師から運動制限を受けていない人
- 4.講師 前川 萌 氏（ヒップホップダンス インストラクター）
- 5.人数 定員数 20 名
申込人数 12 名 （申込率:60%）
参加人数 8 名 （参加率:40%） のべ人数 70 名
申込種別 Logo フォーム:6 名 電話など:6名

6.内 容

実施日	学習内容
① 9 月 18 日(木) ～⑥10 月 23 日(木) 15:00～17:00	①基礎ステップを習得しながら音楽にのせてダンスを楽しむ。 ②50 代以降の健康維持と体力アップをめざす。 ② まなびを継続できるよう仲間づくりを支援する。
⑦10 月 31 日(金) 15:00～17:00	大ホールでリハーサル。最終の立ち位置と振りの確認。笑顔で元気に踊るよう意識する
⑧11 月 1 日(土) 14:00～16:00	協働とまなびのフェスタ(公民館フェスタ)2025 ステージ 本番

- 7.成 果 ・昨年度の反省点で、講座名を「50 代からのヒップホップ」に工夫したところ 50 代の応募者につながった。
・50 代が半数を占めたので、選曲と振り付けが昨年より難易度が高く設定したが、満足度は高かった。
・講座中は、水分補給やスペースを広く使うなど安全管理面で注意を払い、熱中症や怪我無く運営で来た。
・昨年度の講座修了者が結成したヒップホップサークル「UrasoeBeatCrew」との共演が実現し、コラボステージは両者にとって効果があった。
- 8.課 題 ・申込者は 12 名だったが、途中辞退者が 4 名(のべ人数には含む)、最終的に参加は 8 名だった。辞退の理由は「ステップが難しい」「仕事の都合で講座に通えない」など個々の事情もあるが、今後は曜日や時間の設定、新しい講座内容のリサーチが必要と考える。
・今年度も受講修了者をサークルにつなげていく。(まなびの継続)

9. 講座の様子



まつり連続講座・初心者向けサルサダンス

- 1.目的 11月1日開催の市民協働とまなびのフェスタ(公民館フェスタ)の成果発表に向けた連続講座で、サルサダンスを通してサルサの音楽、基本ステップや動きを覚えながら課題曲を仕上げていく。
- 2.場所 浦添市立中央公民館 ホール、アイムユニバースてだこホール
- 3.対象 サルサに興味のある市内在住・在勤・在学の全8回参加できる人
(赤ちゃんだっこでの参加も可)
- 4.講師 スモールウッド亜耶 氏
- 5.人数 定員数 15名
申込人数 15名 (申込率:100%) ※だっこサルサの赤ちゃん2名
参加人数 11名 (参加率:74%) のべ人数 90名
申込種別 Logo フォーム:6名 電話など9名

6.内 容

実施日	学習内容
① 9月1日(月) ～④10月6日(月) 10:00～12:00	サルサの基礎ステップに触れる、覚える、楽しむ！ 1エイト目から60エイト目、間奏から終わりまで
⑤10月20日(月) ～⑥10月27日(月) 10:00～12:00	復習
⑦10月31日(金) 13:00～15:00	予行 ラスト練習！楽しんで踊る！
⑧11月1日(土) 12:30～14:30	市民協働とまなびのフェスタ(公民館フェスタ)2025 で成果発表(受講者11名+その家族等で参加)

- 7.成 果 ・本番に向けた成果発表として課題曲を仕上げ、楽しく踊ることができた。
・赤ちゃん抱っこサルサ講座を希望するアンケートより、講座実施につながったが、結果、20代から80代まですべての人が楽しみながら連続で練習し、成果発表に繋がることできた。
・様々な年代の人々がサルサの楽しさや赤ちゃん子育てを通して横のつながりができた。
- 8.課 題 ・赤ちゃん抱っこサルサ・一般受講者を増やすのであれば、週末講座にするなど日程について考慮が必要。
・舞台発表はできないけれど、サルサを楽しみたいという受講者がおり、定員に未達のため、受講を許可した(のべ人数に計上)。
・「サルサダンスについていけない」「本番に参加が厳しい」などの理由で辞退者が4名いた。内容を理解したうえで参加できるよう工夫が必要。

9. 講座の様子



やさしいプログラミング教室

1. 目的 プログラミングを楽しく体験することで、学習意欲の向上と、プログラミングを学ぶことへの興味を深め、デジタルリテラシーの向上とデジタルデバイドの解消を図る。
高校生が学んだ技術を市民に紹介・教育する場を提供し、当該高校生の技を向上するとともに、指導者、ボランティアとして活動する意義を感じる機会として、公民館活動の活性化を図る。
2. 場所 浦添市立中央公民館 パソコン室
3. 対象 市内在住・在勤・在学の人
4. 講師 浦添工業高校情報技術科生徒7名(付添:新川先生)
5. 人数 定員数 7名(マンツーマンの講座とするため講師数の7名に制限)
応募者数 7名(応募率:100%)
参加者数 7名(参加率:100%)
申込種別 Logo フォーム:2名 電話など:5名

6. 内容

実施日	学習内容
9月19日(金) 午前10時~12時	スクラッチを使用したプログラミング(モグラ叩きゲーム)構築

7. 成果 ・プログラミングを楽しく体験することにより、学習意欲の向上と、プログラミングへの興味を深め、デジタルリテラシーの向上とデジタルデバイドの解消につながった。
・高校生が学んだ技術を市民に紹介・教育する場を提供できて、当該高校生の教育技能を向上するとともに、指導者、ボランティアとして活動する意義を感じる機会を提供できた。
8. 課題 ・チラシや広報について、講座の内容をより興味がわくように伝える工夫が必要である。(今回は、プログラミングという言葉在前面に出したため、難しいという印象を与えたのかもしれない)
・アンケートについて、文章にするのが苦手な人にとっては苦痛となるようである。余裕があれば口頭での聞き取りにより効果が見込められると思われる。

9. 講座の様子



秋のスマホ教室 (広栄自治公民館)

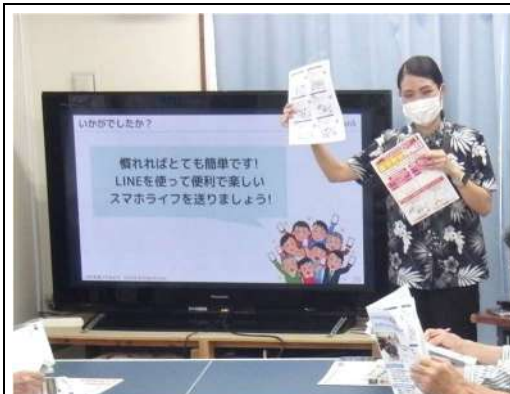
1. 目的 スマホの基本操作を学んでデジタルリテラシーを身につけることにより、人や地域とのつながりを強化し、アプリを活用した脳トレや各種体操の実践により、参加者が楽しみながらフレイル予防を図るきっかけづくりとする。
※フレイルとは、「健康」と「要介護」の間の状況のこと
2. 場所 広栄自治公民館
3. 対象 市内在住・在勤のスマホ初心者
4. 講師 ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー 大城 宗勝 氏
5. 人数 定員数 20名
申込人数 13名 (申込率:65%)
参加人数 11名 (参加率:55%)
申込種別 Logo フォーム:1名 電話など:12名

6. 内容

実施日	学習内容
10月9日(木) 午前10時~12時	・LINEの音声認識を使ったメッセージのやり取り ・Gemini(AI)に音声でさいてみよう ・Google レンズでの検索

7. 成果 ・今回は、スマホの操作そのものを学ぶことよりも、スマホの便利さや楽しさを体験しスマホ利用に対するハードルを下げるのが狙いであり、その点では参加者全員が楽しめている様子であり、今後のスマホ利用の入り口となった。
・参加者全員、LINE のグループトークに音声入力でメッセージを送信できた。
・Google レンズを使った、画像検索・外国語の翻訳などの最新の機能を楽しんで体験できた。
・スマホ画面のスライドやタップに慣れていない人もいたが、サポーターの助けだけでなく、少し操作に慣れている隣席の参加者から教わっている場面も多く見られ、スマホに触れたことがない人でも取り残されることなく、みんなで学ぶ姿勢が素晴しかった。
8. 課題 ・定員20人に対して申込は13人であった。スマホ講座の申込率としては65%と低かった。その主な原因は、グランドゴルフ大会と日程が重なったことであった。日程が重なっていることが判明したのは受講申込開始後であった。次回からは、講座日時の決定に関しては、県・市・学校・自治会の年間スケジュールについて、打合せの段階でしっかり確認する必要がある。
・フレイル予防の「通いの場」アプリを使った健康体操や脳トレは、打合せの間では、余裕があれば行うという予定であったが、当日は時間的に無理だった。来年度は、1回の講座の内容を欲張らずに年間スケジュールの中で講座内容を振り分けて計画することが必要。

9.講座の様子



家庭教育支援講座① こどものココロとカラダを整える大人の教室 こどものメンタルケア(県)

1. 目的 家庭教育支援を支援する関係者等に対して、専門知識を深め、技術等を高めるスキルアップの研修を通してその充実を図る。併せて、市町村主体の家庭教育支援や子育て支援に関わる人材の育成につなげる。
県教育庁生涯学習振興課が主催している「家庭教育支援者研修会」とのタイアップで全4回のうち開催を那覇3回、浦添1回で実施。開催地の役割は広報・場所の提供。託児手話の要望があれば手配。
2. 場所 浦添市立中央公民館 ホール
3. 対象 家庭教育・社会教育に関わる一般の人
保護者、児童支援員、教育相談支援員、民生委員、児童委員、学校関係者
自治会長、家庭教育に興味がある人など 市外参加も可
4. 講師 脇 龍平 氏 ココロおき楽代表 公認心理師 臨床心理士
5. 人数 定員数 50名
申込人数 80名 (申込率:160%)
参加人数 45名 (参加率:90%)
申込種別 Logo フォーム:56名 電話など:24名

6. 内 容

実施日	学習内容
10月23日(木) 19:00~21:00	こどものメンタルケアについて

7. 成 果
- ・50名の定員のところ80名者受講希望者がいた。
 - ・県とのコラボ講座で市外からの参加者が15名もいた。
 - ・保護者が25名。児童支援員、保育士、教育相談員が15名参加していた。
 - ・講師のわかりやすい内容(具体例をあげながらのはなし)が受講者のところに響いているようだった。
 - ・家庭教育支援関係者や保護者が専門知識を深めスキルアップ講座になった
 - ・今回は図書を11冊借用、展示して受講者に興味をもってもらった。
 - ・講座のタイトル【メンタルケア】の幅が広いため、講師より事前アンケートをとり内容を絞ったのが、受講者の満足度に繋がった。
8. 課 題
- ・去年に引き続き、内容に幅があり時間内に終わらない部分があった。
 - ・講師の話がもりだくさんすぎて、タイムスケジュールを管理できなかった。
 - ・アンケートの時間はあったが、受講者同士のアウトプット時間がなかった。
 - ・講座内 LINE で受講者と講師が繋がるツールがあったが、ついていけない受講者がいた。

9. 講座の様子



分野 家庭教育・家庭生活 （生活設計・ライフプラン）
市民意識・社会連帯意識 （消費者問題）

お金のなし講座 セカンドライフ編

- 1.目的 生活に直結した金銭(マネー)に関する生活設計や諸問題・課題などを学び、より豊かな生活を送る基盤を構築する。
- 2.場所 浦添市立中央公民館 第1研修室
- 3.対象 市内在住・在勤・在学の人
- 4.講師 SMBCコンシューマーファイナンス株式会社 高田 大輝 氏
- 5.人数 定員数 30名
申込人数 27名 (申込率:90%)
参加人数 17名 (参加率:57%)
申込種別 Logo フォーム:20名 電話など:7名

6.内 容

実施日	学習内容
10月25日(土) 10:00~12:00	50代からはじめる資産運用

- 7.成果 ・投資体験ゲームがあったので、受講者同士のコミュニケーションがとれ、楽しく講座が進行できた。
・50代以降のセカンドライフの話だったので、既に知っている内容もあったが、役立つ情報もたくさんあったとの声も多かった。
・生活に直結した金銭(マネー)に関する知識を学ぶことで、金融リテラシー向上へつながり、豊かな生活の基盤構築の一助となったと思う。
- 8.課題 ・今回の講座は、広く浅く抽象的な内容だったので、次回はより具体的な内容が盛り込めたらよいと思う

9. 講座の様子



分野 体育・レクリエーション（体操・トレーニング）
指導者養成（各種リーダー養成）

家庭教育支援講座② 脳が喜ぶ親子遊び(安波茶自治公民館)

- 1.目的 地域での仲間探しや居場所としての自治公民館を知り、就学前の子と親が運動遊びを通して身体能力の向上を図る。
- 2.場所 安波茶自治公民館 体育館
- 3.対象 市内在住・在勤の3歳～6歳(未就学児)とその保護者
- 4.講師 屋良 宣条 氏（成寿 Life 代表・宜野座陸上クラブ監督）
- 5.人数 定員数 親子25組(50名)
申込人数 親子35組(70名)（申込率:140%）
参加人数 親子27組(54名)（参加率:108%）
申込種別 Logo フォーム:34 名 電話など:1名

6.内 容

実施日	学習内容
11月24日(月・振替休日) 10:00～12:00	楽しく遊び強くなる。はしる、とぶ、なげる等の身体能力向上プログラムを親子で楽しむ。

- 7.成果 ・25組の定員に対して、最終的に27組の参加(参加率108%)となり、多くの親子に運動の楽しさと大切さを体験していただくことができた。
・若い世代に対する SNS 配信の有効性を確かめることができた。
・安波連自治会長と屋良講師から、集客方法や在籍こども園のデータを取る等のアドバイスをいただき、有意義な打合せを行うことができた。
- 8.課題 ・会場の音の反響がよすぎるのと人数が多かったため、子どもたちが動き回ったり話している時に、講師の説明がよく聞き取れない場面があった。広い体育館で行うときは、音響設備の準備も考慮する必要がある。
・託児のスタッフが、当日、浦添ニュータウン自治公民館に間違って行ってしまった。下見の段階から浦添ニュータウン自治公民館に行っていたとのこと。
Google マップで名称だけで検索すると、違う住所に誘導されることがあるため、講師、託児、手話のスタッフには場所名だけでなく、住所も正確に伝達する必要がある。

9. 講座の様子



はじめての健康マージャン

1. 目的 「賭けない・飲まない・吸わない」の環境下で行う「健康マージャン」を通して、参加者が楽しみながら脳トレを行い、人や地域とのつながりを強化し、より生きがいを感じて学習ができる環境ときっかけを与えることを目的とする。
2. 場所 中央公民館 第1研修室 (11/27のみホール)
3. 対象 市内在住・在勤・在学でマージャン初心者の人
4. 講師 前花 正樹 氏 (沖縄県健康マージャン連盟会長)
講師補佐 金城 大河 氏 (沖縄県健康マージャン連盟公認講師)
5. 人数 定員数 20名
申込人数 49名 (申込率:245%)
参加人数 20名 (参加率:100%)※のべ参加率:98% のべ人数 118 名
申込種別 Logo フォーム:33 名 電話など:16 名

6. 内容

実施日	学習内容
11月6日(木) 19:00~21:00	・健康麻雀の概要や用語について ・4枚麻雀
11月13日(木) 19:00~21:00	・4枚麻雀復習 ・7枚麻雀 ・効率の良い捨て牌の選び方
11月20日(木) 19:00~21:00	・7枚麻雀 ・効率の良い捨て牌の選び方 ・健康マージャン大会結果報告
11月27日(木) 19:00~21:00	・7枚麻雀 ・難しい待ちの捨て牌の選び方 ・13枚麻雀
12月4日(木) 19:00~21:00	・13枚麻雀 ・サイコロを使った最初の牌の取り方 ・簡単な役について
12月11日(木) 19:00~21:00	・振り返り ・その他のルール

7. 成果
 - ・20名の定員に対して49名の申込みがあった。各回の出席率が高かった。欠席は6回中2件(うち連絡なしは体調不良による1件)。高校生の申込みが2件あった。
 - ・「自主企画まなび助成制度」につながる見込み(令和8年1月に3回実施済)。また、自主企画まなび助成制度の終了後もサークル化につながる可能性がある。
 - ・認知症予防の脳トレや人と人のつながりのきっかけ作りの場となった。
8. 課題
 - ・初心者の場合、6回講座では役や点数計算まではほとんど進めない。そのため、その後も学習を続けるためには、しばらくの間は指導者が必要である。講座後も継続的に地域で活動できるようにするためには、「自主企画まなび助成制度」や「自治公民館講座」の情報提供、アドバイスをセットで講座運営を考える必要がある。
 - ・申込者には、初心者でなく、前の中央公民館講座の健康マージャンの受講生もいたが、受付時に完全に把握するのは難しい。

9.講座の様子



浦添市市制施行 55 周年・昭和 100 年関連講座 戦後 80 年平和の継承を考える日

1. 目的 戦後 80 年を迎える本年は、戦争体験者の多くが高齢となり「語り継ぎ」の形も大きな転換期を迎えている。記憶の継承が「次世代」から「次々世代」へとバトンを渡す今、戦争体験を直接知らない世代がどのように向き合い、伝え、社会で共有することができるかを考える事を目的とする。
2. 場所 浦添市立中央公民館 ホール
3. 対象 平和に関心のある人 小学生から大人まで 市外参加も可
4. 講師 喜舎場 宗正 氏 (戦争体験者)
永田 健作 氏 株式会社ナラティブ代表 (演劇制作者)
5. 人数 定員数 50 名
申込人数 65 名(申込率:130%) 参加人数 50 名(参加率:100%)
申込種別 Logo フォーム:18 名 電話など:47 名

6. 内 容

実施日	学習内容
11 月 30 日(日) 10:00~12:00	デジタル紙芝居 おじいとキヨコの命をうばったいくさ 戦争体験者の講話 演劇制作者の講話 浦添少年少女合唱団の平和の歌 (平和のたね・つながる命)

7. 成 果
- ・事前申し込みが伸び悩んだが、当日参加者もいて 50 名の受講者に平和の継承について考えるきっかけができた。
 - ・地域コーディネーター、平和キャラバンの講師のサークル朗読会道、ピースメッセンジャー、うらおそい歴史ガイド、国際交流課職員が参加し共に平和について学び、来年以降の平和関連講座などに繋げられる。(関連部署との連携)
 - ・講師のわかりやすい内容(平和劇のニュース映像交えたこと)が受講者の心に響いているようだった
 - ・戦争体験談をはじめてきく受講者が、沖縄戦の実情について学んだ。
 - ・講座図書の展示と 32 軍司令部壕の冊子を配布して興味をもってもらえた
 - ・講座のタイトル【戦後 80 年平和の継承を考える日】が戦争を知らない世代へどのように向き合い、伝え、社会共有することができるかを考えることに繋がったと思われる
8. 課 題
- ・会場を交えたディスカッションが時間内にまとめられたらよかった
 - ・ご高齢の講師の声が伝わりにくい部分もあったので、今後の講座の構成を QAB ニュースの映像+デジタル紙芝居+喜舎場さんのコメントで組み立てると受講者に伝わりやすいかもしれない
 - ・第 1 世代(80 代:戦争体験者)から、第 2 世代(50~70 代:親が体験者)その下の世代である第 3 世代(20~40 代:祖父母が体験者)第 4 世代(~10 代:体験者が不在)へと繋げることが難しいので、講座の工夫が必要である

9. 講座の様子



分野 教養の向上 趣味・けいこごと (パソコン・IT)
指導者養成 (その他)

やさしいスマホ・LINE を使ってみよう！(スマホ先生活用)

- 1.目的 デジタル推進委員(令和5年度養成者)を活用し、受講者がスマホに慣れることによって、デジタルデバインド解消の一助とします。
- 2.場所 浦添市立中央公民館 パソコン室
- 3.対象 市内在住・在勤のスマホ初心者(スマホで文字入力できる方)
- 4.講師 デジタル庁デジタル推進委員 天久 朝子 氏
- 5.人数 定員数 15名
申込人数 15名(申込率:100%)
参加人数 14名(参加率:93%)
申込種別 Logo フォーム:7名 電話など:8名

6.内 容

実施日	学習内容
12月3日(水) 10:00~12:00	LINE の友達登録方法 写真・位置情報を送付する

- 7.成果 ・今回、初心者向けのスマホ講座ということで、70代以降の参加者が多かった。
・講座目的の「受講者がスマホに慣れることによって、デジタルデバインド解消の一助とします」は、十二分に達成できたと思う。参加者のみなさん、嬉々として講師に質問等をしており、知らない事・知りたかった事が、わかったという満足感を感じる講座であった。
- 8.課題 ・スマホ初心者ということで、文字入力ができることを最低参加基準としていたが、実際は個人のレベルによっては、講義についていけない人がいた。スマホで困っている人の救済ということでは、超初心者の講座も必要かもしれない。逆に、次のレベルを学びたい人もおり、講座の対象者の選別が必要かもしれない。
また、質問の状況から、講師一人で、14名の質問を受けるには対応が難しく、今回指導員3名がサポートで参加したが、次回もサポートは必要と思われる。

9.講座の様子



防災マップと湧き水の歴史

1. 目的 防災マップを正しく読めることで、地域を理解し災害への備えを効果的に行えるようになり、安心感が醸成される。水の大切さを理解し湧き水の重要性を認識するとともに、地域の歴史を学ぶ機会とする。
2. 場所 浦添市立中央公民館 第1研修室
浦添市安波茶 赤皿ガー付近
3. 対象 市内在住、在勤、在学の人
4. 講師 照屋 孝 氏（防災危機管理課）
5. 人数 定員数 20 名
申込人数 14名（申込率：70%）
参加人数 12名（参加率：60%）
申込種別 Logo フォーム：5名 電話など：9名

6. 内 容

実施日時	学習内容
12月6日(土) 午前 10 時～11時50分	① 防災マップの凡例とマップの読み方を説明し、地域の状況を正しく読み取れるようにした。 ② 水の大切さを説明し災害対策における湧き水の位置づけを説明した。
12月6日(土) 午前 11時50分～13時	③ 湧き水「赤皿ガー」まで散策し、実地に見学して現状を確認した。湧き水の説明に加えて、文化財としての歴史などを説明した。

7. 成 果 ・防災マップの読み方に加え、避難方法などについても言及し、防災・減災への関心を高めることが出来た。
・水の大切さを学び、湧き水の活用の可能性も理解した。あわせて節水への関心を高めることもできた。
・赤皿ガーの散策で、湧き水の現状を理解し、地域の歴史についても思いをはせることが出来た。
8. 課 題 ・定員20名に対して、申込者が14名(70%)に留まった。防災に関心のある参加者からは、題名に惹かれたとの声があったので、内容がそれなりに伝わっていることを考えると、防災自体に関心が低いのかかもしれない。今後、防災講座を計画する際は、関心を高める工夫をしていきたい。
・定員の60%の参加者だったが、街の散策での取り回しのしやすさなど、結果的には適切な人数だと感じた。講座の動線も考慮して計画する必要があると思う。

9. 講座の様子



クレジットカードの基礎知識

1. 目的 クレジットカードの仕組みについて学び、キャッシュレス決済が浸透する社会で、安心して暮らせる一助とする。
2. 場所 浦添市立中央公民館 視聴覚室
3. 対象 市内在住・在勤・在学の人
4. 講師 日本クレジット協会クレカカウンセラー
琉球銀行ペイメント事業部 比嘉 秀一 氏
同 屋宜 盛人 氏
5. 人数 定員数 20名
申込人数 22名 (申込率:110%)
参加人数 14名 (参加率:70%)
申込種別 Logo フォーム:9名 電話など:13名

6. 内容

実施日時	学習内容
1月10日(土) 午前10時～正午	次の内容で講義を受け、質疑応答により理解を深めた。 ① クレジットカードの仕組み ② キャッシュレス決済の仕組み ③ デジタルウォレットについて

7. 成果 ・クレジットカードの仕組みやキャッシュレスの仕組みに加えて、デジタルウォレットについても学び、キャッシュレス決済が浸透する社会で安心して暮らせる一助となった。
・講師は、クレカカウンセラー資格を取得して初めての講座であり、良い経験となったとのコメントがあった。今後、講師として成長していただくために、不満足の声も正しく伝えたい。
8. 課題 ・受講申し込みは22人あったが、途中キャンセルが3名、当日キャンセルが2名、連絡なしの欠席が3名あり、その中には、貴重な10代の申し込み者が2名含まれている。申し込みから、年末年始を挟んでいることもあり、講座実施の確認連絡を密に行えば、欠席を防げた可能性がある。

9.講座の様子



分野 教養の向上 趣味・けいこごと (パソコン・IT)
指導者養成 (その他)

やさしいスマホ 安全にスマホを使おう！(スマホ先生活用)

- 1.目的 デジタル推進委員(令和5年度養成者)を活用し、受講者がスマホに慣れることによって、デジタルデバйд解消の一助とします。
- 2.場所 浦添市立中央公民館 パソコン室
- 3.対象 市内在住・在勤のスマホ初心者
- 4.講師 デジタル庁デジタル推進委員 大村 仁哉
- 5.人数 定員数 16名
申込人数 24名 (申込率:150%)
参加人数 15名 (参加率:94%)
申込種別 Logo フォーム:3名 電話など:21名

6.内 容

実施日	学習内容
1月28日(水) 10:00~12:00	スマホを安全に使うための方法 電話のかけ方など基本操作

- 7.成果 ・スマホ初心者のデジタルデバйд解消の一助となったと思う
参加者の方々は、60代以降の年配の方で、80代の方もいらっしゃったが、講座終了後も熱心に講師に質問をしており、満足されていた
- 8.課題 ・スマホを学びたいニーズは多く、当初の定員より定員を増やしたが、抽選となった。
・初心者対象の講座の場合、どうしても質問が多く、講師一人では対応できないのでサポーターが必要である。今回は指導員が3名サポートした。
また、参加者のレベルが異なるため、講義のスピードの調整が難しい。

9. 講座の様子



家庭教育支援講座③ 生活に魔法をかけて 丁寧な暮らしへ

- 1.目的 親子間のコミュニケーションは子どもの成長において重要な要素で、とりわけ、親が安定した状態で子どもと向き合うことが互いの自己肯定感につながるといわれています。一般常識、親の価値観「こうすべき」「こうあらねば」のマインドセットに変化を加えて、自分らしい生活、自分らしい子育てを探ります。
- 2.場所 浦添市立中央公民館 第一研修室
- 3.対象 保護者・家庭教育の支援者
- 4.講師 伊佐 まゆみ 氏（ライフスタイルコーチ）
- 5.人数 定員数 25名
申込人数 17名（申込率 68%）
参加人数 9名（参加率 36%）
申込種別 Logo フォーム:16名 電話など:1名

6.内 容

実施日	学習内容
1月30日(金) 19:00~21:00	日々の生活に少し意識を変え、自分らしいライフスタイルを取り入れることで、心の余裕やリラックス空間からヒントを学びます。 丁寧な暮らしで生まれたことがらを豊かな親子関係につなげます。

- 7.成果 ・家庭教育支援で参加をもとめていた 30 代、40 代の参加者があり、家庭教育支援講座の必要課題と社会課題を実感した。
・「サロン型学習会」の手法をかねてから講座企画に取り入れてみたいと思案していたので、今回の家庭教育支援講座ならば保護者が現状や思っていること、悩みを共有できるのではないかと実践につながった。
・講師が講座スタイルを理解してくれたことも成果につながった。机と椅子の配置や、色、音、香りを取り入れた講座構成、ティータイムで和む雰囲気づくりなど、はサロン型学習会の強みを活かすことができた。
・後半の 30 分は通常の質疑応答とは違い、自然な形でトークタイムに導入することができ、受講者も消化不良にならず満足度につながった。
・自主企画まなび助成制度への応募も期待できる。
- 8.課題 ・沖縄県が各自治体に呼びかける「家庭教育支援」を推進すべく、浦添市でも公民館講座がリード役となり、無理なく継続していきたい。
・単発の講座はもとより、定期的に「(例)ほっとサロン」のような、保護者が現状、課題、悩みを共有できる場を提供するなど、浦添市の家庭教育支援の取り組みとして実施してみるのも良いかと感触を得た。
・沖縄県が推奨する、「家庭教育支援コーディネーター」との連携、本市の地域コーディネーターとの連携も図っていいのではないかな。

9. 講座の様子



家庭教育支援講座④ 沖縄の子どもたちの基本的生活習慣と学力

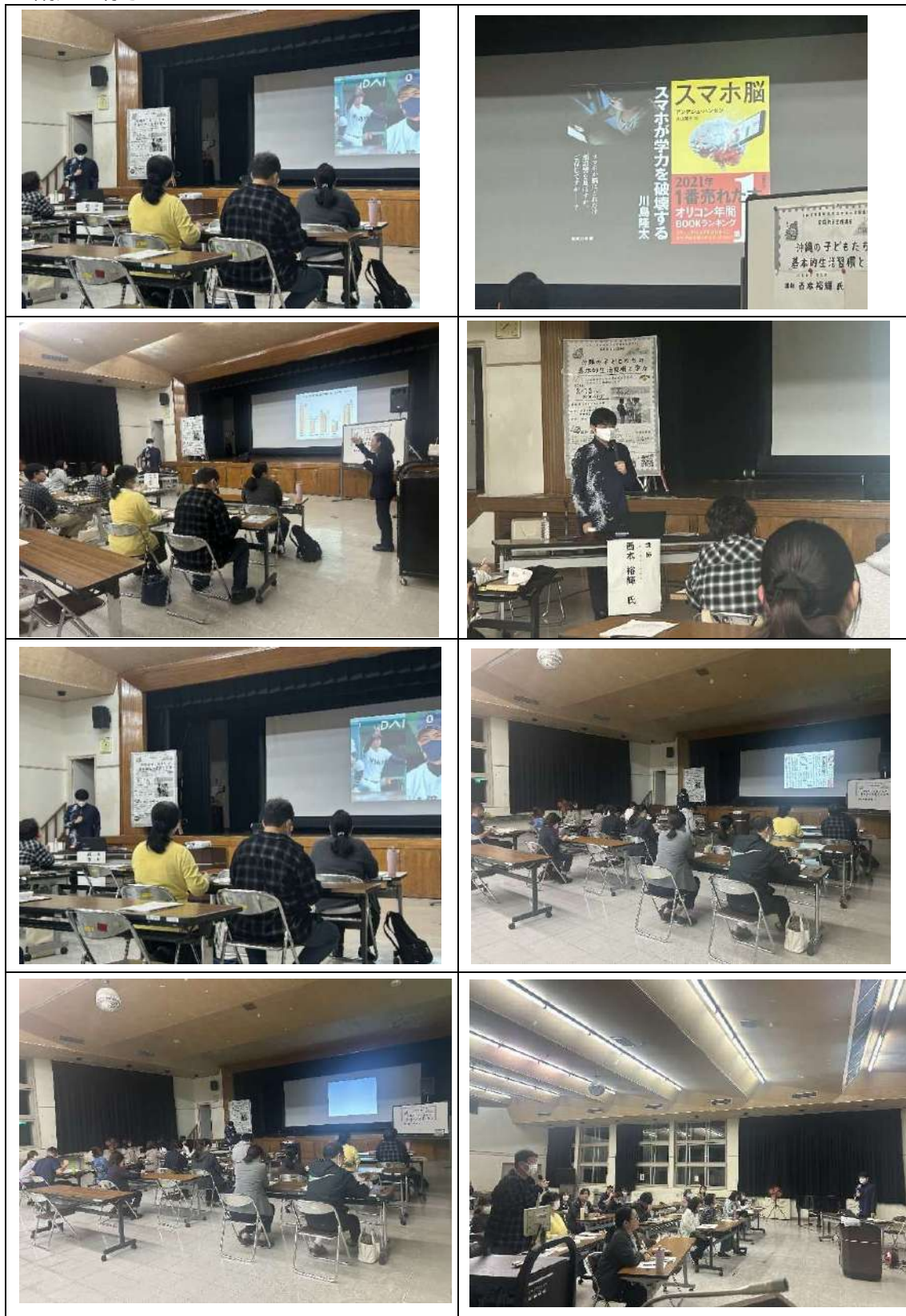
1. 目的 家庭教育を支援する関係者や保護者に対して、専門知識を深め、技術などを高めるスキルアップを通して充実を図り、子育てのヒントにつなげる。また、子育ての基本の「早寝・早起き・朝ごはん」から生活のリズムを整えることで思春期の子どもに与える影響を知る。
2. 場所 浦添市立中央公民館 ホール
3. 対象 保護者・家庭教育の支援者
4. 講師 西本 裕輝 氏（琉球大学グローバル教育支援機構 教授）
5. 人数 定員数 30 名
申込人数 27 名（申込率：90%） 参加人数 19 名（参加率：70%）
申込種別 Logo フォーム：24 名 電話など：3 名

6. 内容

実施日	学習内容
2 月 13 日(金) 19:00～21:00	さまざまなデータをもとに、沖縄の子どもに関する学力や生活習慣について考え、学ぶ。

7. 成果
- ・先生の専門的なデータをもとに、講座を組み立てることで、知識を深め家庭教育に役立つことができ、受講者に伝わりやすかった。
 - ・保護者だけでなく、教師や学童支援員、地域コーディネーター、PTA 役員、自治会役員など幅広い受講者が家庭教育について学ぶことができた。
 - ・現教師のほか、将来教師を目指している 10 代の学生が参加し、家庭教育について学んでいた。
 - ・「沖縄の子どもたちの基本的生活習慣と学力」という、講師の提案で沖縄の課題をそのままタイトルにいったことが、集客につながった。
 - ・新しい顧客を全体の 3 分の 1 の 6 名を獲得できたことは大きな成果だ。
 - ・沖縄の課題である教師の休職率は、家庭と直結していることが講座よりわかった。不登校、いじめ、携帯やゲームとの関係が深く関わっていることがわかり、基本的生活習慣の大切さを受講者に伝えることができた。
 - ・講師の話や資料がわかりやすく、受講者にとって満足のいくものだった。
 - ・質問や感想を発表する受講者が多く会場が同じテーマを共有し、話す機会があったのがよかった。
 - ・学校への周知は、今まで通り紙のチラシの案内とデジタル連絡ツールの（スクリレ、まなびポケット）で直接保護者へ講座をつなげることができた。
 - ・先生のアーカイブ動画やニュースなどを取り組むことで、理解度が高まった。
8. 課題
- ・講座終了後の先生への個人的質問などが多く、時間内にまとめられたらよかった。
 - ・参加者を確保するために、夜の講座より、土日の昼間の時間に行うことも検討する必要がある。

9. 講座の様子



アートキャラバン出前講座 黒板アート教室

- 1.目的 黒板アートの技法を出前講座で学び、公民館の黒板に描くことで「表現」することの楽しさを感じる機会とする。
また、高校生が自らの発想と感性で市や公民館のイメージをデザインすることで、地域に関心を持ち、地域貢献・まちづくりに寄与する意識を醸成するとともに、公民館活動の活性化を図る。
- 2.場所 浦添商業高校 美術教室及び浦添市立中央公民館ロビー
- 3.対象 浦添商業高校美術部&美術好き
- 4.講師 石川 香苗 氏（チョークアーティスト KANAE）
- 5.人数 のべ人数 29 名(応募率、参加率対象外)
担当教諭2名
申込種別 メールのみ

6.内 容

実施日	学習内容	参加人数
		生徒
1月26日(月) 16時00分～18時00分	チョークアートの技法の学習 デザイン案作成	11
2月7日(土) 10時00分～12時00分	デザイン下書き、色付け	9
2月7日(土) 13時00分～15時00分	色付け完成	9

- 7.成果 ・デザイン画作成における創意工夫が黒板アートの成果につながることで、創作の喜びを感じることが出来た。また、共同で作成することで協力する大切さを感じ、完成時の達成感を高めることが出来た。
・公民館のイメージをデザインするなかで、浦添市のキャラクターや施設、動植物など、地域に関連するものに関心を持ち、地域貢献・まちづくりに寄与する意識を醸成した。
- 8.課題 ・募集において、応募する高校がなかったため、個別に声掛けした結果、浦添商業高校が応募する結果となった。学校への募集活動において、生徒にどれだけ伝わるかは担当教諭の意識に依るところが大きいと思われる。講座の魅力を丁寧に伝えることや、日ごろからの人間関係構築が重要と思われる。

9.講座の様子



完成作品



自分らしくってなに？ アドラー心理学&数秘術

- 1.目的 アドラー心理学及び数秘術の手法を用いて、自分自身を見つめることで自分らしさを再発見する。ありのままの自分を受け止め自信をもって行動できるきっかけとする。また、Zoom を使用してオンライン講座とすることで、日頃参加できない人の参加を促す
- 2.場 所 浦添市立中央公民館 第2研修室
- 3.対 象 市内在住・在勤・在学の人
- 4.講 師 新里 利浩 氏（数秘術カウンセラー・書道家）
- 5.人 数 定員数 30名 対面20名 Zoom10名
 申込人数 42名 対面25名 Zoom17名（申込率:140%）
 参加人数 31名 対面19名 Zoom12名（参加率:103%）
 申込種別 Logo フォーム:35 名 電話など:7 名

6.内 容

実施日	学習内容
2月4日(水) 19:00~21:00	アドラー心理学と数秘術で自分を知る

- 7.成 果 ・当初20名の定員数に対して 42 名の申込みがあり、定員数を 30 名に増やした。
 ・対面の受講者は参加率が高く、事前キャンセル1名を除いて全員の出席があった。受講者の興味がある講座内容だったと思う。
 ・参加者の声からも、講座の内容が興味深く、自身のためになったという声が多かった
 ・今回対面と Zoom でのハイブリッド開催ということで、中央公民館から遠距離の地区からの参加があった。また、30代の参加者があり、比較的若い年代には、Zoom での開催は参加しやすい要因になると思う
- 8.課 題 ・Zoom の申込は17名であったが、参加は12名であった。
 申込しやすい反面、参加に関しては、管理しづらい印象であった。
 ・また、今回2台のパソコンを使って Zoom の共有画面と入室管理をしていたが、途中入室に気が付かない場面があり、次回は注意しないといけない

9.講座の様子



勢理客の魅力再発見！ まちづくり講座(勢理客公民館)

- 1.目的 勢理客地区で実施されている「子ども・若者支援」を通じた地域活動(養蜂事業)をとおして地域の課題解決とまちづくり活性化への理解と関心を深め、市民意識・連帯意識を高める。
- 2.場所 勢理客公民館
- 3.対象 市内在住・在勤・在学の人
- 4.講師 若者支援サークル ビー・フリー
- 5.人数 定員数 20 名
申込人数 19 名 (申込率 95%)
参加人数 19 名 (参加率 95%)
申込種別 Logo フォーム:8名 電話など:11 名

6.内 容

実施日	学習内容
2月21日(土) 14:00~16:00	① 養蜂事業の取りくみ紹介と採蜜体験 ② 試食とゆんたく会 事業主体の団体「ビーフリーサークル」と自治会、神森中校区CSW、参加者で勢理客地区のこれからとまちづくりのことを語りあう。

- 7.成 果 ・養蜂事業とまちづくりの企画(着眼点)が受講者に伝わったことがうれしい。
・地元・勢理客地区の集客を期待して、自治会とCSWと協力して講座周知を図った。参加者の半数が神森中校区の参加者となった。
・2時間の講座の中に「ゆんたくタイム」を設けたことで、一人ひとりから生の感想を聞くことができた。自然な誘導で
・自主企画まなび助成制度への応募も期待できる。
(自治会長の談) 花づくり講座、蜂の観察会
- 8.課 題 ・自治公民館開催の場合、自治会への告知を図るにはカラーポスター(A3)が有効である。2枚提供した。
・当日の参加者(地元枠)を想定していると、講座運営もスムーズである。

9.講座の様子



巣箱から蜂を見学することもできました。



大人も子どもの興味津々！質問も飛び交いました。



お待ちかねの試食タイム。

親子ほしぞら教室 ～月食観察会～

1. 目的 身近な天体である月について学び、月食を観察することで、自然科学への関心を高め豊かな心の育成に寄与する。親子が共通の趣味や関心を高め、地域とのコミュニケーションを育む。また、星空を眺めながら、穏やかで静かな時間を楽しむ。
2. 場所 浦添市立中央公民館 ホール及び屋上
3. 対象 市内在住・在勤の親子
4. 講師 浦添ほしぞらサポーター 島袋 美那子 氏
5. 人数 定員数 30名
 申込人数 44名【申込率:153%(参考値:受付開始から45分で締切)】
 参加人数 26名 (参加率:87%)
 申込種別 Logo フォーム:38名 電話など:6名

6. 内 容

実施日	学習内容
3月3日(火) 午後7時～9時	・月食の原理について説明し、天文現象への理解を深めた。月にまつわる話として、民話や神話を紹介し月への関心を高めた。 ・屋上で月食を観察した。(天候を確認しながら2回実施) ・荒天時のプログラムとして準備した、工作を実施した。

7. 成 果
- ・曇天で観察が心配されたが、晴れ間に月食を観察することが出来た。
 - ・月の観察に併せて、星座や惑星の観察もできて知識を深めることが出来た。
 - ・天文現象を実際に見ることで、自然科学への関心を高めることが出来た。
 - ・家族での観察や、工作をすることで、親子・家族の絆を深めることが出来た。
- また、公民館での活動で地域とのつながりを感じる機会となった。
8. 課 題
- ・浦添ほしぞらサポーターにボランティア支援を依頼したが、参加者が2名と低調で、うち1名が病欠となったため、急遽指導員1名が補佐に入り、更に、観察を見学した職員が誘導などの補佐に当たって、運営を乗り切ることができた。補佐要員は、見積もりを適切に行い、準備をしておく必要がある。
 - ・この講座は人気が高く短時間で定員に達したため、欠席は無いだろうと予測したが、実際は2家族が欠席した。病気や緊急の用件を想定して、若干名は定員以上に案内すべきだった。

9. 講座の様子



令和7年度 自治公民館講座実績一覧

令和8年5月26日現在

講座数	自治公民館名	講座名	講師名	回数	参加者 延べ人数
1	浦西	初心者向け洋ラン栽培	野間 大志	1	33
2	上野	クラフト講座	新城みどり 西平淑美	2	18
3	浦城	一人で大正琴の演奏ができるまで	下地 美咲子	5	20
4	浦添市街地住宅	初心者のための健康マージャン講座	前花 正樹	5	73
5	仲西	平和講話会	知名 正男	1	28
6	県営沢岨高層住宅	スマホを上手に使う	天久 朝子	1	12
7	勢理客	生命の貯蓄体操	真喜屋 亮子	5	42
8	浦西	ビジョントレーニングで豊かな老後生活	YELLOWCROSS 接骨院	3	64
9	浦西	カトレアコチョウランの栽培方法	新垣 真	2	27
10	浦西	簡化24式太極拳	兼城 貴美子	5	75
11	安川	琉舞講座	饒平名 和子	2	18
12	安川	足の健康、履き物講座	宮里 夕貴	1	10
13	安川	サルサダンスを楽しもう	スモールウッド亜耶	2	23
14	安川	カラオケ講座	大田 朝健	2	25
15	当山ハイツ	楽しく盆踊り	仲間 次子	4	37
16	浦添市街地住宅	ちぎり絵	宮良 タズ子	3	27
17	神森	スマホ講座	大村 仁哉	5	40
18	茶山	コグニサイズ	屋良利枝	2	16
19	グリーンハイツ	スマホ活用講座	島袋さおり	3	33
20	グリーンハイツ	子どもエイサー	新垣 清香	2	60
21	県営経塚団地	「料理教室」「書き方教室」	新垣 勝子	3	30
22	茶山	新聞でつくるアートなペーパーバッグ	黒島 佳津子	1	8
23	県営経塚団地	健康マージャン	前花 正樹	5	60
24	浦添ニュータウン	初めてのAI講習会	安和 良盛	5	74
25	浦城	手芸講座（タペストリー作り）	高良 幸子	5	45
26	伊祖	英祖たいこ教室	山城 幸代	5	80
27	伊祖	ハンドメイド教室	友利 キミ子	2	14
28	勢理客	クラフトバック 小物作り	具志堅 孝子	5	18
29	屋富祖	生き生き運動体験	高良 順子	1	10
30	安波茶	初心者料理教室	阿波連 秀敏	5	21
31	グリーンハイツ	スマホ・パソコン活用術	島袋 さおり	3	22
32	経塚	フォークギター教室	大田 朝健	3	29
計	18自治公民館	講座開設率 43.9%		99回	1,092名

令和7年度 自主企画まなび助成制度 実績一覧

令和8年3月16日現在

年度		グループ名	分野	学習会名/学習目標	講 師	回数	参加者数
R7	1	内間なかよし会	教養の向上 趣味・けいこごと	「地域の歴史と日舞学習」 日舞を通して地域の歴史を学び、仲間と交流することで心身を豊かにする。	砂川 栄子	3	13
R7	2	なないろマジックSEWING	教養の向上 趣味・けいこごと	「楽しくソーイング 役立てるSDGs」 浦添市における廃棄物の現状を学習し、SDGsの取り組みとして余っている布を活用したモノづくりを行う。	長山 智美	3	15
R7	3	ワッハッハ体操	体育レク	「歩き方リセット術」 10年後も動ける身体は「今」つくる。一生自分の脚で立ち、一生自分の足で歩くことを学ぶ。	森 美智代	3	26
R7	4	親子でしめ縄づくり市民の会	教養の向上 趣味・けいこごと	「親子でしめ縄アレンジメント講座」 しめ縄について勉強し、親子で世界にひとつだけのしめ縄を作成する。	高里 流水	1	10
R7	5	ハンドメイド教室	教養の向上 趣味・けいこごと	「ハンドメイド教室」 クラフト手芸を通して、SDGsの手法を学び継続することにより、物の大切さを再認識する。	友利キミ子	3	21
R7	6	うらそえマージャンクラブ	教養の向上 趣味・けいこごと	「初心者のための健康マージャン講座」 健康マージャンを通してコミュニティの場を作り、認知予防や引きこもり防止につなげる。	前花 正樹	3	59
R7	7	経塚エイサーサークル	教養の向上 趣味・けいこごと	「エイサー講座」 地域とエイサーの歴史やかかわりを学びながら、エイサーの振りを楽しく表現できるようにする。	下地 秀輝	2	32
R7	8	ゆんたくシーサー	教養の向上 趣味・けいこごと	「ゆんたくシーサー(陶芸)」 沖縄に伝承されるシーサー、焼物の歴史を学びつつ、工夫を凝らし伝承していく。今回は金彩と型を学ぶ	盛舛 容子	2	12
8グループ			合 計			20回	188人

4

中央公民館だより 『いきいき』

浦添市立中央公民館だより

第328号
令和7年7月発行

浦添市立中央公民館
〒901-2114
浦添市安波茶1丁目1番2号
電話:098-879-5503
FAX:098-879-5530
kominkan@city.urasoe.lg.jp

2025年も

学
ぶ



社会教育推進課
課長 高原尚紀

「学びと交流の場所・公民館」

令和7年度を迎え、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。中央公民館職員一同、今年度も地域住民の皆様にとって、様々な学びと交流の場を提供できるように取り組んでおります。

アンケートを実施し、皆様のニーズに応じた充実プログラムをご用意いたしました。ぜひ、お気軽にご参加ください。公民館の取組が、皆様にとってより豊かな生活の一助となるよう、職員一同、精一杯努めてまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

2025年も

集
う



浦添市立中央公民館
館長 長濱京子

「元気100倍になる公民館」

令和7年度も元気に公民館をご利用くださりありがとうございます。皆様とともに「つどい・学び・つながる公民館」であることを心より嬉しく思います。公民館を訪れる方々は、それぞれが目的をもって前を向き、周りの人に元気100倍を互いに与えていると思います。

さて、公民館には、地域の皆様との関わりを大切に思う職員が加わり、新しい風が吹いています。

「アートキヤラハン」(高校あてかけ講座)

高校生×公民館



社会教育指導員

ご寄付ありがとうございます



「ジャンジャングループ」の皆さんから健康マー جان卓4台の寄付がありました。公民館講座「飲まない! 賭けない! 楽しい健康マー جان講座」の受講生で結成されたサークルです。大切に使用させていただきます。

令和7年度も❤️よろしくお願いします

5月21日（水） 港川小学校	銘苅教育長による一人芝居 900名 講師：浦添市教育長 銘苅 健氏
-------------------	--------------------------------------

沖縄戦の悲惨さと平和の尊さを伝える一人芝居「いくさゆ一ぬ ゆっかぬひー」を銘苅教育長が披露しました。沖縄戦で家族を失った悲しみを伝える「おじい」を熱演し、「祖先からつながる命を大切に」と語りかけました。芝居の後には、約900人の児童が「沖縄から平和のうたを」を合唱し体育館いっぱい歌声を響かせました。

5月30日（金） 宮城小学校	朗読会「道」による絵本の朗読 108名（6年） 講師：嘉数明美氏・大城勝政氏
-------------------	---



朗読会「道」が実話を元にした絵本「シジブリーシ・ナランドー」で授業を行いました。6年生は後日「平和を考える時間」で下級生に伝えます。人に大切な事を伝えるヒントをきき、戦争の悲惨さや命の尊さを知り、平和を願うことを発表することでした。

6月11日（水） 沢岬小学校	対馬丸記念館職員による講話 598名 講師：対馬丸記念館 堀切香鈴氏
-------------------	---------------------------------------



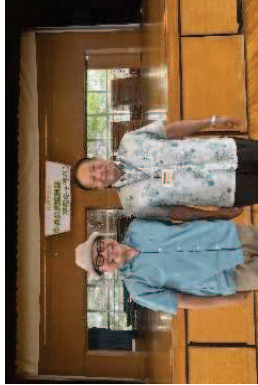
学童疎開や対馬丸事件のことを2つのランドセルの紙芝居から学びました。児童たちにとって自分と同年齢の子どもの体験を聞くことは、戦争というものを自分事として考える場になった平和学習でした。

6月12日（木） 特別篇	大平特別支援学校 高等部 86名 デジタル紙芝居（おじいとキヨコの命を奪ったいくさ） 講師：戦争体験継承者 知名正男氏
-----------------	---



デジタル紙芝居を鑑賞後、戦争体験継承者から紙芝居の説明と平和の大切さについての講話を行いました。紙芝居の主人公で戦争体験者の喜舎場氏の思いを知名氏がわかりやすく伝えてくださいました。

6月13日（金） 仲西中学校	琉球沖縄の歴史で考えるアジアの歴史 830名 講師：賀数仁然氏
-------------------	------------------------------------



『琉球はおもてなしの国であつた』と琉球史に学び、「万国津梁の鐘」からはアジア諸国との交易で栄えた琉球王国を感じることができました。また、沖縄戦の資料館写真の「杖をついた少年」が嘉数さんの叔父さんであることも聞きました。

中央公民館出前講座 平和キャラバン 戦後80年。平和の願いを共有する

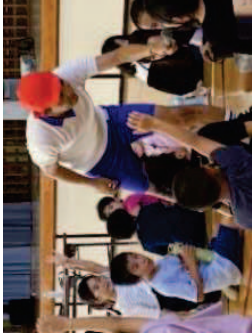
「平和キャラバン」は今年で10年目を数えました。開始当時は戦後70年の節目で、戦争体験者・継承者の記録をデジタル紙芝居にまとめたのが講座の特徴です。今年は戦後80年。年数を重ね、今回は14のプログラムまで成長しました。平和の思いあふれる学習会の様子をご覧ください。

6月13日（金） 浦添中学校	一中戦没学徒資料室解説員による講話 746名 講師：一中戦没学徒資料館 大田 光氏
-------------------	--



沖縄戦の男子学徒隊として戦場に駆り出された10代の学生たち。当時15歳の神谷依信さんの体験談が紹介されました。神谷さんは「自分の命も大切、他の人の命も大切。これを根本にしないさい」と言葉を残します。大田さんは「体験者の思いを想像力を働かせて考えて」としめぐりました。

6月17日（火） 神森小学校	お笑い芸人による平和学習 573名 講師：お笑い芸人まーちゃん（小波津正光氏）
-------------------	--



お笑い芸人まーちゃんが「みんなが思う平和って何?」といういろんな問いを投げかけ、児童生徒が積極的に手を挙げる対話型の平和学習になりました。自分の生き方、物の見方、他人との接し方が平和への基礎となること、目の前にいる人と仲良くすることが平和につながると思いました。

6月18日（水） 牧港小学校	JICA沖縄の職員による講話 76名（6年） 講師：JICA 沖縄 平山久美子氏・上米良貴博氏
-------------------	--



日本国内に15か所あるJICAの施設。その1つが浦添市にあります。前田にあるJICA 沖縄です。講話では、ハッサン12歳（架空の登場人物）の物語をもとに世界に目をむけて「平和」を考えていきました。JICA沖縄には沖縄の平和教育を学びにコロンビアやカンボジアから研修員も訪れました。他国にも影響をあたえている沖縄の平和の取り組みは誇らしいです。

6月19日（木） 浦添小学校	対馬丸記念館職員による講話 549名 講師：対馬丸記念館 堀切香鈴氏
-------------------	---------------------------------------

堀切さんが学芸員を目指すきっかけは小学校時代の平和学習だったそうです。その彼女が現在、平和学習の講師を務めています。まさに、いのちと平和のリレーです。紙芝居「2つのランドセル」の後の全校児童による平和メッセージの群読と合唱の歌声は、対馬丸の犠牲者の方々にきっと届いたことでしょう。

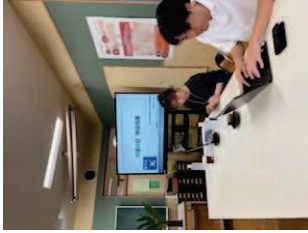


6月19日（木） 前田小学校	「沖縄戦と平和劇」制作者による講話 630名 講師：平和劇製作者 永田健作氏
-------------------	---



「みんな仲良く」とはよく聞けれど、それは思った以上に難しい。戦争も結局は、個人間の争いが発展して国と国との衝突につながる。個人間の摩擦をどうやって解消するか、どうやって他者との対立を乗り越えるか。そのキーワードはエンパシー（相手を理解する）であることを平易な言葉で熱く語りました。

6月19日（木） 浦西中学校	浦添市ピースメッセセンジャーによる講話 481名 講師：船越遼太郎氏・高良紗加氏
-------------------	---



浦添市中学生平和交流事業に参加した当時の14歳のお二人が、30代となった今の平和の思いを語ります。平和って難しい。だけど無関心ではいけない身近なこと。「10年後、この社会は皆さんが主役です!」この言葉がキーワードとなり、生徒と一緒に身近な平和を考える有意義な時間となりました。今回初のプログラムです。

6月20日（金） 仲西小学校	戦争体験者・継承者の講話とデジタル紙芝居（おじいとキヨコの命を奪ったいくさ） 95名（6年） 講師：戦争体験継承者 知名正男氏
-------------------	--



6年生対象の講話です。当日の講座理解を深めるために「ガマ体験」や「朗読劇」の事前学習も行いました。当時の写真をみながら「一番大切な命が、一番粗末にされた。みんなと仲良くすることが平和の基本です」「思いを受け継いで、平和のためにがんばってください」とつづりました。

令和7年度 中央公民館講座がスタートしました！

お金のはなし講座 (1) 5/24

講師：高田 大輝 氏

(SMBCコンシューマファイナンス株式会社)

お金にまつわる知識を学ぶ3回講座。

第1回目のテーマは「死ぬまでにやりたいことをやるには、いくらお金が必要か」でした。20名の参加者がグループでコミュニケーションをとりながらの講座となりました。高田先生の丁寧でわかりやすいお話も好評で「賢くお金を使うためにもっと勉強したい」「家計の支出を見直そうと思った」「お金があれば幸せではなく、幸せになるためにお金が必要」との感想が寄せられました。



スマホ講座 5/27(火)

講師：又吉 岐史子 氏

(ソフトバンク株式会社 スマホアドバイザー)

前半は LINE の音声入力や Google レンズを使った画像検索・外国語の翻訳などの最新機能を体験。後半はアプリで脳トレや体操を行いました。

スマホがフレイル予防・健康増進に活用できることを体験しました。参加者からは「LINE メッセージの音声入力を体験できた!」「スマホのすばらしさを知った」などの感想がありました。希望者多数のため5/30(金)にも同じ内容の追加講座を行いました。

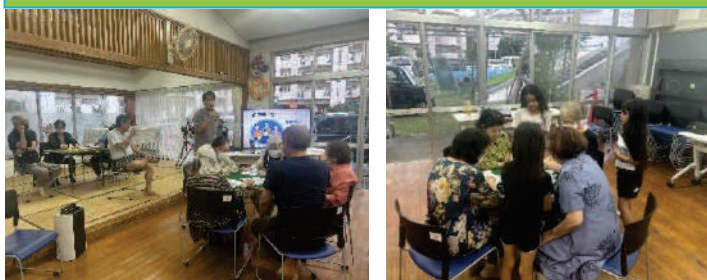


社会教育指導員が行く!

自治公民館講座 取材隊 !!



浦添市街地住宅自治公民館6/6(金)全5回



地域で会費を集めて自分達で学んでいた浦添市街地住宅自治会で今回はじめて、「自治公民館講座」を活用してくれました。いま流行りの『健康マー جان』を小学生から大人まで和気あいあいの雰囲気を楽しんでいました。これからの活動も楽しみです。

浦西自治公民館5/23(金)1回



今年度初「洋ラン栽培講座」に沖縄蘭協会から野間大志氏を講師にお招きしました。33名の洋蘭栽培に興味のある受講者が学びました!

編集後記

★人と人との繋がりがあってまちが形成される...今年もいろいろな講座を通して繋がりが広がるよう工夫していきたいと思っています。(さとう)

★はじめまして。四月より勤務しております。公民館に集われる皆様のパワーに負けじと、私も楽しんで、新しいことを吸収していきたいと思っています。(ながみね)

★公民館の仕事柄、外出先ではつい「公民館」に目が留まります。エントランスが広いとか、体育館があるとか、緑化の工夫も見事です。地域の特色があらわれています。ぐらり公民館してみませんか?(いしがき)

★戦後80年、昭和100年である記念の年!浦添市55歳です。この夏8/24(日)「新聞アイカイブで浦添の未来へGO GO 55講座開催!」皆様のお越しをお待ちしています。(やすたけ)

★中央公民館で勤務してまだ三ヶ月の新人です。趣味は梅干し作り。これまでの最高記録は80kg。自宅には売るほど残ってます。いつか「梅干作り」の講座を企画できたらいいなあ... (かみかわ)



浦添市立中央公民館だより

第329号

令和7年9月発行



浦添市立中央公民館

〒901-2114

浦添市安波茶1丁目1番2号

電話:098-879-5503

FAX:098-879-5530

kominkan@city.urasoe.lg.jp

夏休み特集 水のふしぎ 7月28日、29日

講師：照屋 孝氏（シェアリングネイチャーファシリテーター）



水リンピック 平均台 1円玉に水を何滴乗せられるかな～

～知らない世界をのぞいてみよう～と題して、水ってどんなもの？ 水のふしぎをゲームや実験で学習しました。

水がこぼれたら雑巾で拭きますが、これは水がくっつくという特性を利用したものです。コップの水が紐にくっついて皿に流れ落ちることを「水の綱渡り」として実験で学びました。

水の表面張力を利用して1円玉に何滴水を乗せられるか、水リンピック「平均台」として競いました。クリップを何個浮かべられるかは「背泳ぎ」として競いました。最高は12本。地球の表面はどのくらい水でおおわれているかを実感するため、水と陸の割合の7:3と言われていることを「青い惑星」ゲームで実際に体験しました。

「オー!ヤンバルクイナ」というゲームでは、自然の大切さや食物連鎖について学び、水や自然を大切にするという意識づけになりました。



地球表面の水の割合は？ ゲームで理解



水の綱渡り 水がひもを伝わって流れます

夏休み特集講座 ② ③ ④

「読書感想文」書き方講座

講師: 総合国語塾 崎山 潤 氏



夏休み特集「読書感想文」書き方講座は崎山潤氏を講師にお招きし、7/31・8/1の2日連続で行いました。参加者は市内の小4～中3。1日目は、読み手に具体的にイメージが伝わる文章を短文の練習をすることで学びました。2日目は、読み手を惹きつける読書感想文の構成配分を学んでから、原稿用紙に実際に書いていきました。受講後アンケートでは「文章を書くための要点がわかった」等の声がありました。申し込み多数のため1週間後に追加講座を行いました。

「うちなあぐちで日記を書こう」

講師: 浦添市立中央公民館活動サークル
「語やびら沖縄語ぬ会」の皆さん



しまくとぅばにふれる「うちなあぐちで日記を書こう」の2回講座(8/7・8/14)が終了しました。講師は公民館で長年サークル活動をされている「語やびら沖縄語ぬ会」の皆さんです。受講者の皆さんから事前に提出してもらった日記文を“しまくとぅばの先生”が丁寧に訳してくださり、1回目は日本語文と照らして読み上げ、2回目の発表会につなぎました。

繰り返し練習するうちに、だんだん上手になる様子が印象的で、堂々と発表する姿に会場から大きな拍手が湧きました。

「親子で島ぞうりアート」

講師: 浦添工業高等学校
情報技術科生徒の皆さん



浦添工業高校情報技術科生徒を講師に迎え、小学生親子を対象に島ぞうりアートを行いました。1日目は、中央公民館でデザインを作成です。好きな動物や言葉、キャラクターを描き、出来たデザイン画は高校生がデジタル編集して保存しました。2日目は、高校のレーザー加工機で作品の仕上げです。デジタルデータを加工機に取り込み作成しました。参加者はすばらしい出来上がり感激しました。

㊦浦添市市制施行55周年を祝う 記念講座㊦

新聞アーカイブで 浦添の未来へ Go!Go!55!

講師: 新聞イベントプロデューサー 大久保 謙 氏 琉球新報社 関戸 塩 氏



市昇格から現在までのまちの変遷を新聞記事から読み解き、事業・催し・インフラ整備・自治会など多岐にわたる出来事を参加者の皆さんと共有し、後半は2つのグループに分かれ哲学対話の手法で、未来の浦添を語り合う時間に移りました。

参加者からは「伝統芸能を維持・発展させるにはどうしたらいい?」「市内のコミュニティバスの必要性」「2つの国道は便利だが横軸の整備ができていない」「建物の老朽化や自治会の高齢化の問題がある」など多くの声があがりました。

講座に先立ち、1か月間展示した「浦添の歴史パネル展」も好評で、当時を懐かしんで写真に見入る来館者の姿がありました。



8/24(日)参加者: 大人17名・子ども3名

夏休み特集講座 ⑤

7月28日・29日

「Mr.カガックの科学工作」講座

講師：金城 靖信 氏



市内の小中学生が2日間で51人が参加しました。1日目は、光の実験と工作で講師のマジックショーを体験しながら、光の不思議に魅了される子ども達。ドラえもんやピカチューが光の不思議で、ブラックライトで浮きてたときは、子ども達から歓声があがりました。「どうして?」「なぜ?」と好奇心が高まります。

2日目は、電気の実験でヘッドフォンを作りました。てづくりヘッドフォンは、ラジオから出た音楽の電気振動が、コイルと磁石によって、カップの底を動かすことで音を聞く事ができました。工作は親子で楽しみました。途中、細かい作業に手こずるも、保護者やスタッフの手を借りて見事に工作を完成させました。

2025年 夏休み特集 🌟 まなびがいっぱい

講座名	こども	大人
水のふしぎ	27	20
Mr. カガックの科学工作	51	16
「読書感想文」書き方講座	58	5
うちなあくちで日記を書こう	14	7
親子で島そうりアート	12	9
合計人数 (のべ)	162	57



自主企画まなび講座



◎歩き方リセット術 ワハッハ体操 のべ人数26名

7月21日、28日、8月4日

講師：大城 弘子 氏

10年後も動ける体は「今」つくる。一生自分の足で立ち、自分の脚で歩く。日々取り組むことの大切さを楽しく学びました。



◎地域の歴史と日舞学習 内間なかよし会

5月5日、12日、19日 のべ人数13名

講師：砂川 栄子 氏

中央公民館和室において、日舞（雪椿）を練習しました。はじめての傘踊りで、傘の使い方から扇子の使い方まで学びました。

「内間なかよし会」の皆さんは、日舞を通じて体を動かすことで健康増進を目的としながらも、今後は日舞を通して地域行事に参加貢献し、地域を盛り上げていきたいという熱い思いを持っています。

踊りの練習のほか、地域の課題や今後の展望なども話し合い、同じ思いを持つ仲間との交流を深めることができました。

自治公民館講座

グリーンハイツ自治公民館 のべ人数36名

■「スマホ活用講座」全3回 講師: 島袋さおり 氏

■令和7年 6月 16日(月) ~ 7月7日(月)

今まで使いこなせなかったアプリやカメラ、LINE 招待、スマホ診断まで学びました。知らない世界を見た感じです。



浦城自治公民館 のべ人数20名

■「一人で大正琴の演奏ができるまで」全5回

講師: 下地美咲子 氏

■令和7年 6月 20日(金) ~ 8月 15日(金)

5回の講座でなんと12曲の演奏ができるようになりました!



今後は「大正琴サークル」を立ち上げ、自治会行事で演奏発表ができるよう練習を継続したいと思います。

安川自治公民館 のべ人数18名

■「琉舞講座」講師: 饒平名和子 氏

■令和7年 7月 31日(木) ~ 8月1日(金)

夏まつりに向け、かぎやで風や浜千鳥の練習ができました。体がついていかず、体幹を鍛える大切さを感じました。



伊祖自治公民館 のべ人数80名

■「英祖たいに教室」全5回 講師: 山城幸代 氏

■令和7年 7月 16日(水) ~ 8月 20日(水)

「たいこ」だけでなく、礼節について毎回学ぶ中で、玄関の靴をきれいに並べられるようになりました。最終回の発表会では、



はきはきと答えられるようになりました。講座終了後、参加した子どもたちは地域の「英祖キッズ」に加入しました。

🍀 楽しく学びました 🍀

- ・6月 6日~(全2回) 茶山自治公民館「コグニサイズ」
講師: 屋良利枝 氏 (のべ人数16名)
- ・6月 8日 (全1回) 仲西自治公民館「平和講話会」
講師: 知名正男 氏 (のべ人数28名)
- ・7月30日~(全3回) 当山ハイツ自治公民館「楽しく盆踊」
講師: 仲間次子 氏 (のべ人数37名)
- ・6月 8日~(全2回) 上野自治公民館「クラフト講座」
講師: 新城みどり 氏・西平淑美 氏
(のべ人数18名)

県営沢岬高層住宅自治公民館 継続中

■「スマホを上手に使う」講座 講師: 天久朝子 氏

■令和7年7月19日(土) 10:00~12:00

みなさん元気あいあいと LINE のお友達登録方法を学びました。次回は LINE で写真を送付する方法の予定です。



沖縄大生インターンシップ (8月13日)



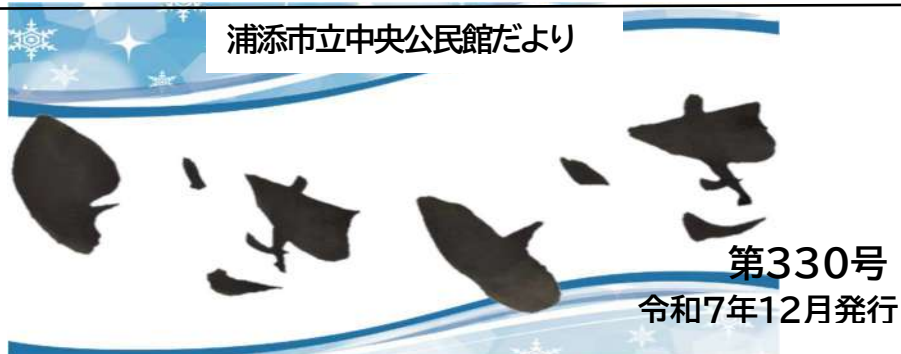
ズンバサークルに挑戦 平識さん・渡慶次さん

公民館あれこれ

祝・沖縄尚学おめでとう



熱い応援に湧く公民館! (8月21日準決勝戦)



浦添市立中央公民館
〒901-2114
浦添市安波茶1丁目1番2号
電話: 098-879-5503
FAX: 098-879-5530
kominkan@city.urasoe.lg.jp

大いに盛り上がった 公民館フェスタ2025



今年は市民協働男女共同参画課と連携して、11月1日に「浦添市市制施行55周年記念事業 市民協働とまなびのフェスタ浦添2025(放課後子どもフェスタ・公民館フェスタ)」を実施しました。アイム・ユニバースてだこホール 大ホールで舞台発表、てだこホール向かいのマルチメディア室や多目的室で、ブースの部として言語サークルやパソコンサークルが展示発表や体験コーナーを設けました。大ホールのフロアでは、講座や放課後こども教室のパネル展示もしました。

「学ぶ・集う・つながる」公民館に心を寄せる皆様のおかげで約700人の参加があり、充実した成果発表となりました。参加・出演者、来場者、運営ボランティア・関係者の皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

浦添市立中央公民館 館長 長濱京子



「てだこ話し方サークル」会員
による司会進行。

舞台発表の部



オープニングセレモニー
松本市長・又吉議長のあいさつ



今年のまつりは… **コラボステージ** がおもしろい！
★語学サークル多言語合唱（英語・スペイン語・中国語・うちなあぐち）
英会話ドリーム・マンデーイングリスジュ・アレグリア・フォルモサ・沖縄語め会
★オカリナ × ギター（ウインズハーモニー・ラルゴギター）
★民謡 × 民謡（浦添市民踊団体連絡協議会・民謡友の会）
★ウクレレ × フラダンス（アロハウクレレ・ブアマナ）



出演団体のみなさん

- ・アロハウクレレ
- ・ウインズハーモニー
- ・女声合唱団 スウィング
- ・デイゴの集い
- ・ディスプレイミュージッククラッシュ
- ・浦添吟友会
- ・てだこ話し方研究会
- ・てだこ即吟会
- ・ひまわりの会
- ・フラサークル ブアマナ
- ・ラルゴギター・アンサンブル
- ・ソニードギター合奏団
- ・マンデーイングリスジュ
- ・英会話サークルドリーム
- ・スペイン語サークル アレグリア
- ・語やびら沖縄語め会
- ・福蘭黎少(フォルモサ) 中国語同好会
- ・ゆいゆいキッズアジアーズ
- ・浦添市民踊団体連絡協議会
- ・民謡友の会
- 🌸公民館講座「まつり連続講座」3講座





ブースの部



- ・デジタルアーツ
- ・マリオン英会話
- ・スペイン語サークル“アレグリア”
- ・語やびら沖縄語め会
- ・英会話サークルドウリム
- ・マンデーイングリッシュ



浦添市立中央公民館講座 まつり連続講座 (3講座)

初心者向けサルサダンス講座



20名の参加者が8回連続講座でスモールウッド・亜耶先生にサルサダンスを習い、LABANBA(ラ☆バンバ)を仕上げ、本番のアイムユニバースでだこ大ホールの舞台を盛り上げました。

赤ちゃんを抱っこしながら踊るママに、小学生と踊るママに、ダンス好きな受講者の年齢は20代～80代と幅広い年代が交流できる楽しい講座となりました。

「運動不足解消したくて、赤ちゃんを抱っこしたまま参加が魅力的だった。」や「先生や受講者、担当の明るさがいつも楽しかった。」の声があり、サルサダンスサークル結成に繋がりました。お問い合わせ下さい。



沖縄大生と踊るやさしいマミドー

竹富島に伝わる農作業の踊り「マミドー」を特別支援学校・学級に通う小学生から高校生の6名が約1か月にわたって練習しました。講師を務めたのは、沖縄国際大学「琉球芸能文学研究会」の大学生たちです。

でだこ大ホールの舞台では、テンポの良い音楽に乗って、鍬、鎌、ヘラの動きを楽しく踊りました。

「大学生と一緒に活動する楽しみを感じている姿を見て親として安心しました。」や「特別支援の子どもたちでつながれる貴重な機会となりました。」の声があり、講師が丁寧に優しく教えた成果が発揮された良い講座となりました。

50歳からのヒップホップダンス



まつり講座の魅力は何といっても舞台での成果発表です。指導にあたる講師の前川萌先生は、それぞれの個性を引き出し、フォーメーションや振り付けにどんどん変化をつけて完成度を高めていきます。

連続8回の講座中、実質7回の練習で課題曲2曲を完成し、個性が光る!チームが光る!を発揮できた舞台でした。

昨年の講座生で結成したヒップホップダンスサークル「Urasoe Beat Crew」の友情出演もあり、総勢13名のヒップホップは見ごたえ十分!会場は客席の手拍子で一体感に包まれました。ダンスに興味をお持ちのあなた。お問い合わせ待っています。

浦添市立中央公民館だより

第331号

令和8年3月発行



浦添市立中央公民館

〒901-2114

浦添市安波茶1丁目1番2号

電話:098-879-5503

FAX:098-879-5530

kominkan@city.urasoe.lg.jp

4月より公民館はあかひらステーションビルに移転❀



令和8年3月31日 閉館。ありがとう♡さようなら公民館

社会教育推進課長

地域の皆さまへ

46年間、地域の皆様に親しまれてきた中央公民館は、老朽化が著しく進んできたため、利用者及び職員の安全を最優先に考え、供用停止とすることになりました。長年のご愛顧に心より感謝申し上げます。今後は、規模は小さくなりますが、あかひらステーションビル1階で公民館活動を継続してまいります。皆さまにはご不便をおかけしますが、ご理解と温かいご支援をお願いいたします。

社会教育推進課長 高原尚紀

公民館長

感謝でいっぱい!!

安波茶1丁目の浦添市立中央公民館を長い間ご利用くださりありがとうございます。46年の間には多くの方々が「友をつくり、学び、友とつながった」とことと思います。皆様の声や楽器・作品制作などの音、真剣な眼差しは職員一同の励みになりました。心より感謝申し上げます。仲間1丁目に移転します中央公民館もよろしくお願いいたします。

浦添市立中央公民館 館長 長濱京子

▼ 英会話サークルドゥリーム



サークル設立以来、早29年目。いろいろなことがありました。国際センターでの交流会、てだこワークで通訳ボランティア、小学校で英語による読み聞かせ会、等々。これまで職員の皆様には、本当にお世話になりました。会員一同感謝致します。

▼ 秋津書道



2013（平成25）年から今日まで13年間お世話になりました。展示会や地域貢献として小学校の「書きぞめ」の指導も行いました。活動に最適な空間で私達はいつも楽しくにぎやかに活動ができたことに感謝申し上げますと共に今後新しい公民館の新築に期待いたします。

▼ てだこ話し方サークル



てだこ話し方サークルは設立して40年になります。公民館が閉館になることを知り残念でなりません。振り返りますと、公民館祭り、公民館フェスタは私達に、夢と希望満載の活動でした。お世話になりました。ありがとうございました。

▼ 韓国語サークルチング



韓国語サークルチングがスタートして10年以上の年月がたちました。祭りで「チマチョゴリ」を着て合唱したり、「キンパ」や「チヂミ」「キムチ」等を手作りして販売したり楽しい思い出がいっぱいです。新しい公民館ができる事を楽しみに期待しています。

▼ 話し方サークル“水話会”



水話会は1985（昭和60）年9月開設、今年で41年目となります。会員年齢は40代から80代、内容は“うしろ売り”発声練習、5分間スピーチ（当初3分）、指導者（批評）無し、で会員のスピーチを聴いて自ら学ぶスタイルです。浦添中央公民館、関係者の皆様には長年のサポート心より感謝致します。（随時会員募集中）

▼ もみじ会（大正琴サークル）



私達もみじ会は発足が1994（平成6）年なので足掛け30年中央公民館にお世話になりました。私自身は入会して未だ13年目ですが入会当初会員は20名あまりもいて素晴らしい先輩達がたくさんおられました。コロナ禍前まではあちこちのデイサービスに年2～3回程行かせてもらいいい思い出となっています。大正琴に出会えてまた公民館のみなさんとも出会え活動の場が広がりました。ありがとうございました。

▼ 女声コーラス「ひまわり」



女声コーラス「ひまわり」は毎週公民館を利用し全員で心と音を合わせて合唱を楽しむことができました。特に公民館まつりは楽しい思い出です。来年3月に30周年記念コンサートを予定し、練習に励んでいます。応援をよろしくお願いします。

▼ すみれ会



日本琴のサークルとして、22年活動してきました。古典や国内外のいろいろな曲にチャレンジし、和気あいあいとお稽古を楽しんでいます。公民館では活動しやすいようにご配慮いただき、ありがとうございました。お世話になりました。

▼ てだこフォークダンス同好会



何とてだこ FD 同好会は中央公民館とほぼ同時期誕生なんです。45年間ありがとうございました。てだこは環境に恵まれ仲間に恵まれ指導者に恵まれ笑顔で楽しく踊ってきました。昨年45周年パーティーも開催することができました。ステキな思い出をありがとう。感謝の気持ちでいっぱいです。

▼ 浦添吟友会



詩吟の魅力は、腹式呼吸による健康効果（ストレス解消、自律神経の調整）脳の活性化と教養の深化（漢詩、和歌の理解）一生続けます。自己表現と舞台度胸の向上、カラオケ上達にもつながる発声技術の上達にもつながり心身を豊かにします。

▼ しきなみ短歌浅野浦支苑



月1回の歌会が楽しみでした。公民館まつりで作品が展示されるのを見ると学ぶ意欲と元気をもらいました。また受付のスタッフさん達にもやさしくしていただきありがとうございました。お世話になりました。

▼ デジタルアーツ



中央公民館の閉館に寂しさを感じます。6年間のパソコン教室では多くを学び、初めて作ったDVDには深く感動しました。心から感謝しています。

▼ ウィンズハーモニー



1992（平成4）年から34年間、オカリナのサークル活動でお世話になりました。慣れ親しんだ場所なのでお別れするのは寂しいですが、これまでたくさんの思い出を作ることができて感謝でいっぱいです。スタッフの皆さんありがとうございました。

▼ Naoko ズンバサークル



ズンバフィットネスでは、毎週水曜日の午前中利用していました。世代を超え、心を通わせ、踊る楽しさを共有していました。老朽化による閉館は残念ですが、心より感謝申し上げます。

▼ エンジョイダンスサークル



26年近く社交ダンスサークルの活動拠点として利用していました。閉館になると聞いてショックでした。思い出いっぱいの場所を去る事に寂しさを感じます。親切に対応してくれた事務所の皆様に心から感謝します。ありがとうございました。PS. 4月からはだこホール練習室1で活動することになります。

▼ 浦添ダンスサークル



1990（平成2）年から活動している35年のサークルです。

▼ パソコン勉強会



パソコン室に20台設置されていて一斉指導だったが、取り外されて個人のパソコンを持参し個人指導へと変わった。インターネットが活用できて良かった。コロナ禍「学びを止めるな」で開館したときは目の前が明るく感謝の気持ちでいっぱいになった。

▼ 紅 香 会



松田春草先生率いるかな書道・紅香会各々それぞれが展示会用の作品作りに勤しみ・声をかけ合い、認め合いながら取り組んで26年今に至っております。「学び」は最も贅沢な「遊び」である。長きにわたり学びの場を提供してくださった中央公民館ありがとうございました。

▼ てだこ朗吟会



1998（平成10）年の発足なので30年近く公民館にお世話になりました（私自身は13年目）。年金生活者となって初めて地域サークル活動に参加。年齢とともに誤嚥などが気になり出し呼吸法、喉を鍛えることがよいのでは？と思い入会。この間、公民館まつり、てだこまつり、文化祭は欠かさず参加。舞台発表があることで張り合いが出ました。これからも地域活動がんばります。公民館の皆さんありがとうございました。

▼ てだこ陶芸サークル



てだこ陶芸サークルは、中央公民館でのサークル活動が始まって以来40年を超えて活動を続けており、現在も元気に活躍している方もいらっしゃいます。中央公民館が3月に閉鎖が決まり私達は、先輩たちが大変な思い出揃えてくれた高価な備品をすべて手放さざるを得ませんでした。しかし陶芸に対するメンバーの熱い思いは変わりません。どうにかして活動継続できるよう現在奮闘しています。

▼ 琉球かれん仁和の会



～琉球かれんの音色に惹かれ～

1にレッスン、2にコンタク、3にレッスンの合言葉でのサークル活動も6年になりました。公民館を去るのは寂しいのですが、職員の皆様には大変お世話になりました。また、この地に戻ってくることを祈念しております。

▼ 健康体操自彊術浦添



楽しく明るくをモットーに健康体をめざし28年続いた教室（うち中央公民館は13年間）お世話になりました。感謝です。時には号令より大きな笑い声があり、汗を流したあとのすっきりさわやかな気分は最高でもうやめられません。

▼ むちぐすい



むちぐすいサークルは22年程前に発足し、沖縄の薬草に関する知識を深め、調理方法等の学習を主体として、会員相互の親睦を図ることを目的として、月1回の活動をしています。沖縄は豊富な野草が多く存在しています。健康めざして活動してます。

▼ 袋物サークルさざなみ



長年活動をし現在の2代目川満栄子先生の指導でリサイクルの着物、帯、古着などを使いバッグ作りを楽しんでいます。公民館の発表会での作品展示・販売は定評があり、いいネ・ステキだねと声をかけられると皆モチベーションも上がり益々頑張れました。残念なことに閉館となるので、職員の皆様には手続き等色々とお世話になりました。ありがとうございました。

▼マンデーイングリッシュ



海外旅行をして英会話での交流を楽しみたいという思いの仲間たちが集い公民館を利用したおかげで10数年活動を続けてきました。またそれぞれの豊富な経験体験なども話題にして多くの知識を得ることもできました。活動の場が閉館されることになり残念に思います。老若男女が楽しく学び交流をする新しい施設を期待しています。

▼うらそえ結書の会



2014（平成26）年の公民館講座をきっかけに立ち上がり、とし先生を中心にこの楽しい学びの時間を過ごすことができたことに感謝申し上げます。結書を通して出会った人や「言葉」を大切に感じる事ができた時間でもありました。次の新しい出逢いを楽しみにしています。

▼飾り花結びサークル



長い間、飾り花結びをささえてくださり、ありがとうございました。中央公民館使用が、再開されるようになった際には、又、皆様にささえられて続けていけることを願っています。又、会いましょう。ごきげんよう。

▼三友会



当サークルは約20年間に亘り中央公民館で活動して参りました。三線をとおして友達の輪を広げようとの趣旨で活動を始めて、多くの方が当サークルで腕を磨いて参りました。お陰でデイサービスへの慰問公演や市の行事への参加など地域との交流も深まりとても有意義でした。閉館はとても寂しいですが、活動の場として長期間利用させて頂き本当にありがとうございました。

▼和敬の会



（旧ばさら会）1992（平成4）年に最初の茶道講座が始まり、その後、サークルへと移行して今年で足かけ35年になります。毎年2月の公民館祭りには呈茶席を設け、お稽古の成果を披露し、夏休みには「親子茶道教室」を開催し、お茶の普及に努めました。このような活動を支えて下さった公民館のスタッフの皆様には感謝しかありません。長きに渡り、本当に有難うございました。

▼ディスコステップミュージックフラッシュ



職員の皆様、関係者の皆様、長年の御尽力本当にお疲れさまでした。3年間、長い様で短かった期間、健康の為、楽しくディスコステップダンスを行う為に公民館を使用させて頂きました。市民のいこいこの場である中央公民館が閉館することは誠に残念に思います。てだこ大ホールでの発表会はとても楽しくおもいでになりました。長きに渡り、素晴らしいサービスが厚情深く感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

▼ 朗読会「道」



「寝ている活字を起こす」をモットーに、聞いてくださる方が、頭の中に生き生きと場面を思い描けるような朗読をしたい！嘉数先生の声に、指導にうっとり！健康になり、脳トレになり、ワイワイガヤガヤと言いたいことを言い合える場が楽しい！

▼ 浦添市民合唱団



週1の練習と公民館祭りは私達の“元気の源”でした。また、職員の皆さんの笑顔と丁寧な対応も居心地を良くしてくださいました。感謝の念に堪えません。長年に渡り本当にお世話になりました。※新館入居のメドもたないままの閉館に困惑しています。

▼ 浦添市民踊団体連絡協議会



1994（平成6）年から32年間大変お世話になりありがとうございます。活動の拠点としていた月2回大切な中央公民館ホール、仲間との出逢い、踊りを楽しむ輪、和を念頭に学び合った場所。なくなる事に寂しいと口々の会員。「32年間もよく頑張った」ねと自分に拍手

▼ ひまわりの会(琉舞)



琉舞サークルひまわりの会は結成20年目。講師久手堅一子先生の指導のもと中央公民館まつりに参加し福祉施設の敬老会で踊ったり会員の交流の場でもありました。公民館の職員の方々に親切に対応してくれて心から感謝申し上げます。

▼ わくわく薬膳 cafe



薬膳を通して健康作りを目的としてスタートしたサークルでした。活動の中で多くの会員の皆様とともに、料理以外にも鍼灸やアロマ等の企画もあり楽しかった。料理のレパートリーが広がり、健康により一層関心が深まり毎月のサークルに参加することが楽しみでした。施設使用料が安く使用させていただけたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

▼ 琉舞サークルコスモスの会



「かじゃでい風講座募集」が私達琉舞サークルの始まりです。扇子の持ち方、歩き方から始まり、覚えられないと言いつつ13年楽しい時間を過ごしてきました。公民館のスタッフの皆さん、いつも優しく見守ってくださりありがとう。発表会や慰問など思い出と共に新館ができるまで頑張って踊っています。

▼ 継 承 会



野村流音楽協会浦添支部では、琉球古典音楽の研究・継承を行うため、日々活動を行っており、新春演奏会や定期総会で貴公民館の3階ホールを利用させていただいております。また、琉球古典継承会として、毎月会議室として利用させていただくことで、行事運営を円滑に行うことができました。名残惜しくはありますが、関係者の皆様には御礼申し上げます。ありがとうございました。

▼ お絵描き会



お絵描き会は2011（平成23）年に中央公民館で活動を開始しました。活動場所を提供くださった公民館のスタッフの皆様に心から感謝申し上げます。毎年、展示もさせていただき楽しい活動ができました。

▼ ゆうなの会



2023（令和5）年から2年間活動をしているサークルです。

▼ ありんくりん会



ありんくりん会は、老人版の「寺小屋」教室で、自由に意見交換を図る会です。2年前、分館が閉館となり、職員の川満さんに感謝状を贈った。本館では、いつも長濱館長に「元気デース」と声を放っていた。お疲れさま、感謝のブークを放ります！

▼ ラルゴギターアンサンブル



1992（平成4）年のサークル結成から30年余、お世話になった中央公民館がなくなるのはとても残念です。他でサークル活動を続けますが、新たな建設を期待します。

▼ てだこダンスサークル



10年近く、分館及び本館で社交ダンスの技術向上に向けて活動させていただきました。公民館まつりのダンス交流会やご指導いただいた富田和枝先生主催ダンスパーティーでのフォーメーション発表など楽しい思い出がいっぱいです。

▼ 歌声サークルひだまり



肺のリハビリ目的と先生の明るく楽しい人柄に惹かれ入会し、これまでの私の人生を変える大きな転機となりました。教室の中に醸し出される温かい雰囲気と包み込む温かさを感じます。発声練習は呼吸の浅い私にとって効果的なリハビリで少しずつ体力がついてきました。皆と一緒に歌っていると、音痴な私でも上手に歌っているような錯覚を覚え歌うことにも少し自信がつかカラオケも楽しめるようになってきました。サークルは歌を楽しむだけでなく色々な情報を共有し視野を広げ、ストレス解消や健康維持にもつながり楽しいひと時です。

▼ タズ子ちぎり絵



35年前から活動を続けていて、講師に宮良タズ子代表が務め指導もしています。作業療法のリハビリ講座としてスタートして、各市町村の施設でちぎり絵をはじめます。楽しみながら創作活動をし、季節に合わせた20種類の教材からセレクトし完成するのが楽しみと話しています。

▼ スペイン語サークル“アレグリア”



2024（令和6）年から分館から本館でスペイン語サークル“ALEGRIA”（アレグリア）の活動を続けました。サークルのメンバーや多くの留学生達と沢山の交流をとおして多くの思い出ができました。今までどうもありがとうございました。今後ともお願いいたします。

▼ シャルウィダンス普及会



現在の社交ダンスはスポーツとして認知され運動だけでなく覚える脳への刺激が認知予防にも有効です。普及活動で会員と地域の健康維持に貢献してきました。多数の市民と交流できる中央公民館早期再建とサークル活動を願っております。感謝。

▼ 民謡友の会



2013（平成25）年の入会時から、色々な出来事が走馬灯のように目に浮かびます。老人ホームへの慰問に地域の夏祭り参加と生活の一部として公民館でのサークル活動は無くてはならないものでした。これも長きに渡り、大宜味肇講師による指導があったからこそ楽しいサークル活動ができました。我が民謡友の会には芸達者な方々が揃い、三線に踊りあり太鼓に三板といつも元気な笑顔が絶えませんでした。2025公民館フェスタでは浦添市民踊団体連絡協議会とのコラボであやかり節を心ひとつに弾いたことが最後の思い出になりました。長い間お世話になりました。お礼申し上げます。継続は力なりと色々なサークル活動が続くことを願います。

▼ マリオン英会話



松田先生の指導の下、楽しく頑張ってきました。アメリカの小学校のテキストや英字新聞、ネイティブとのフリーティング等色々体験しました。この間、お部屋を提供してくださいました。公民館にも感謝しております。

▼ 3時のおやつ



サークルを立ち上げて25年。多くの会員と学び交流してきました。公民館まつりも楽しい思い出の1つです。この場所での活動は恵まれた環境だったと痛感しています。ありがとうございました。

▼ 美ぎ島三線



出会いがあれば別れあり。初めて仲間との出会いは10年前公民館の三線サークルです。美ぎ島三線の名のもと感謝と笑顔を忘れずをモットーに活動してきました、特に公民館やだこホールでの舞台発表はよい経験になりました。それも公民館という集う場所があったからです。職員の皆さんに深く感謝いたします。

▼ ヨーガプレマ



長きにわたり、サークル活動の場として、中央公民館、事務の皆様には、大変お世話になりました。私達の健康維持、リフレッシュ、コミュニケーションの場として楽しく過ごすことができました。ありがとうございました。

▼ 楼蘭・二胡の会



2013（平成25）年4月のスタート以来、公民館にお世話になりました。この間多くの人と交流できました。1番の思い出は公民館発表会です。コロナ以降は出るチャンスはなくなりましたが、一日も早く公民館と発表会が再開されることを願っています。

▼ 語やびら沖縄語ぬ会



あきさみよ！大事なとーんどー！20年超の活動拠点が公民館です。でーじョック！うちなーぐちは風前の灯火です。が、あきらめず新しい公民館ができるまでで愚直に前に進みたいと思います。うらー公民館かなさんどー

▼ CCI ダンスサークル



2023（令和5）年から3年間、大変お世話になりました。その間、いきいきまつりに参加するなど、会員の健康増進、人的交流を図ることができ、会員も大変喜んでおりました。引き続き、アィム・ユニバースでだこホール（練習室1）で活動をしてまいります。これまで、ご親切に対応していただいた事務局、警備員の皆様に会員一同心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

▼フラサークルプアマナ



時の流れの中で、公民館で育んだ多くの友情、そして、練習を重ね、緊張と高揚感で臨んだ初舞台。アロハウクレレさんとのコラボも、今では懐かしい思い出。公民館と共に歩んだサークルの30年間は宝物です。ありがとう公民館、また逢う日まで。

▼アロハ・ウクレレ



アロハウクレレは当初1990年代タイムスカルチャー講座で活動し、2005（平成17）年から2025（令和7）年12月までの20年間、公民館で長期間利用させていただきました。最年長86歳平均76歳で去年は公民館フェスタでフラとのコラボが懐かしい思い出となりました。

▼女声合唱団「スウィング」



20年以上にわたり、分館・中央公民館でコーラスの練習をさせて頂きました。思い出の詰まった大切な場所です。特に事務の川満さんには、いつも丁寧にご対応いただき心より感謝申し上げます。長年ありがとうございました。

▼デイゴの集い



琉舞サークル（現在 コスモスという名称で活動中）
優美な琉球舞踊にあこがれて公民館講座に参加し30年あまり日々の情報交換や時にグチも言あえる仲間となって、一生の友人を得たサークル活動でした。これからはハーモニーセンターを拠点に活動をつづけていきます。

▼ストレッチクラブ



2019（平成31）年より個人活動として利用しておりましたが事務の皆様のお陰で2020（令和2）年よりストレッチクラブとして立ち上げることができました。約7年間利用させて頂き大変お世話になりました。長い間本当にありがとうございました。

▼ティアラダンスサークル



私たち「ティアラ」サークルは昨年の4月に始まったばかりのサークルでした。広い場所でのびのびと練習することができたので活動場所が無くなるのは非常に残念ですが、活動する場所が変わっても公民館での時間を基盤として活動して行きます。

▼ふれあい三線サークル



2022（令和4）年から2026（令和8）年まで4年間中央公民館にはたいへんお世話になりました。この場所を去る事に寂しさを感じます。いきいきまつり2024が楽しい思い出です。事務局の皆様には心から感謝です。ありがとうございました。

▼福爾摩沙(フォルモサ)・中国語同好会



我々中国語サークルは2016（平成28）年6月から分館にお世話になりました。2024（令和6）年3月の閉館後は本館に移りましたがこの本館も閉鎖となり困惑しています。建物の老朽化は仕方ありませんが早期に新館ができることを願っています。長い間ありがとうございました。

▼琉球かれんホルトの会



「琉球かれん」は浦添生まれの特許取得の弦楽器です。浦添市立中央公民館から始まり県内外に広がり今年で18年を迎えました。思い出の詰まった場所を去るのは寂しいですが、職員の皆様には親切にいただき感謝申し上げます。

▼辰ちゃんの会



サークルは「ゼロ」からのスタートでした。先生の懇切丁寧な指導と楽しいメンバーと和気あいあいと学びを続けています。十数年間、通い入れた公民館には、思い出がいっぱいです。ありがたく感謝しております。教室の移動は寂しい限りです。館長さんをはじめ、職員の皆さん、いつも笑顔での対応ありがとうございました。

▼ソニードギター合奏団



中央公民館はサークルにとって最も大事な場所でありいつも感謝しています。この度老朽化による閉館は残念ですが今後も場所を確保して継続します。今年5月、名護市と那覇市で定期演奏会を開催します。中央公民館の再開を熱望します。

▼サンレレラバイ



サンレレラバイは、公民館という温かな場所に支えられ、地域の皆さんと音を通して交流を重ねてきました。集い、歌い、笑い合った時間への深い感謝を胸に、これからも音のつながりを大切にしています。

▼ 浦添ゆいゆいキッズシアター(太陽樹)



この公民館で、たくさんの経験をさせていただきました。温かい支えとご協力に心より感謝申し上げます。これからも感謝を胸に活動していきます。本当にありがとうございました。

▼ 浦添市子ども文化連盟太陽樹



大人から子どもまで色々な方々が活用していた公民館の閉館はとても残念です。当団体にとっては子どもたちの居場所づくりに欠かせない活動拠点として利便性の高い素晴らしい施設でした。長年お疲れさまでした。ありがとうございます。

▼ 浦添少年少女合唱団(太陽樹)



♪ 公民館と合唱団 ♪ 浦添少年少女合唱団は1975（昭和50）年に結成され、今年50年を迎えました。当時の大山社会教育課長も臨席いただき、以降公民館は私たちにとって活動を支えてくださった大事な場所となりました。50年を見守ってくださった公民館・職員の皆様には、ただただ感謝あるのみです。ありがとうございました。

▼ ガールスカウト沖縄県連盟第1団



「ガールスカウトはすべての少女と女性が自分自身とほかの人々の幸福と平和のために自ら考え行動できる女性を育てます。」1985(昭和60)年6月浦添市に初団してから現在まで公民館を拠点として大勢の少女たちが活動し、巣立っていきました。毎週集会で使用した第一研修室、国際交流では大ホール、和室、調理室を使用し公民館まつりでは受付の手伝い、又ガールスカウトの技術を発表する場として使用してもらいました。思い出がいっぱいです。今後もこのような場所で人材育成を目的として活動できることを望みます。長い間ありがとうございました。

▼ 浦添市老人クラブ連合会



年間を通して様々な事業でホールを使用させていただきました。収容人数も多く、会員のみなさまが活動を有意義に推進することができました。これまで活動拠点であった中央公民館・老人福祉センターが閉館になることはとても残念ですが、また同じ場所に教育福祉施設が新設されることを切に願います。

▼ 浦添市子ども会育成連絡協議会



浦添市子連結成から45年。リーダー研修・育成者研修・子ども会まつりなど様々な活動をこで行って来ました。思い出深く離れたくないですが、感謝の気持ちを胸に刻み、今使える施設を活用してできるだけ今までのレベルで活動を継続します。

▼ 浦添市てだこ学園大学院



浦添市てだこ学園大学院は地域の高齢者が仲間づくりの輪を広げながら、新しい教育を身につけ、併せて地域社会活動の活性化を図ることを目的に浦添市老人クラブ連合会創立20周年記念事業の一環として設置された学園（昭和63年）であり、開学以来中央公民館を拠点に授業を進め、1278名の卒業生を排出しております。てだこ学園同窓生にとっては、たくさんの思い出の詰まった中央公民館だったと思います。本当にありがとうございました。そしてまた1日も早く新しい公民館ができた元の活気あるてだこ学園に戻ることを切望してやみません。

▼ 浦添市 PTA 連合会



市内16の小中学校 PTA と一緒になって子どもたちの笑顔のため、保護者、地域を繋げる活動に取り組んできた社会教育団体として、地域の方々が集う公民館に事務所があることの意義は大きかったなと思います。担当課の皆さまには大変お世話になりました。4月からは神森小学校 PTA 研修室を間借りします。引き続きよろしくお願いします。

公民館今昔写真



記念すべき第1回公民館まつり



ホール最後のダンス交流会 令和7年12月6日



公民館ホールでの最後のまつり令和元年11月30日



公民館の守護神・女神 警備・お掃除のみなさん 感謝



外間さん



古川さん



与那覇さん



上江洲さん



砂川さん



與那覇さん
(歴代 最長)

昨年3月
退職

安心安全をありがとうございました お掃除♡棚原さん砂川さんおふたり

中央公民館職員からひとこと

「公民館に行けば(聞けば)何かがある！」学びを続ける皆様の拠り所となれるよう、これからも絆を大切にしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。
指導員:石坂

公民館でのあれこれが楽しく思い出されます。公民館まつりをはじめにたくさんの協力をさせていただきました。みなさまとの出会いに感謝いたします。
受付:川満

日頃から親切心と向上心が溢れる利用団体の皆様、優しい笑顔やお声かけを何度も頂きありがとうございました。新登録制度で今後も皆様との縁が続きますように。
係長:吉本

サークルの皆様の明るい笑顔、はつらつと活動に励む姿を見て、日々元気と活力をいただいています。ありがとうございます。今後もよろしくお願いいたします。
庶務:山城

サークルのみなさまの息の長い活動に感動です！！いろいろな思い出がある場所が公民館だと思います。これからも、絆をつないで、元気で頑張ってください。
指導員:長嶺

令和7年度の公民館フェスタでは「糸」の多言語歌唱で参加させていただきました、よい経験となりました。みなさん、これからもお仲間と学びを楽しく続けてください。
指導員:神河

皆様の活動で明るく楽しい公民館にさせていただきました。ありがとうございました。場所は変わってもいきいき輝いてください！
指導員:佐藤

中央公民館のあゆみ 1978(昭和53)年12月～2026(令和8)年3月

浦添市立中央公民館のあゆみ

1978 (昭和53年)	12月25日	浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例を制定
1979 (昭和54年)	4月1日	浦添市立中央公民館 開館
1987 (昭和62年)	3月14日	第1回公民館まつり
1991 (平成3年)	7月26日	浦添市立中央公民館利用者団体連絡協議会の結成総会
2009 (平成21年)	2月21日	公民館設立30周年記念第23回公民館まつり
2019 (令和元年)	11月30日	第34回浦添市立中央公民館まつり
2020 (令和2)・2021 (令和3) 年度		新型コロナウイルス感染症拡大防止のため公民館まつり中止
2021 (令和3) 年	10月1日	浦添市立中央公民館利用者団体連絡協議会解散
2022 (令和4) 年	12月3日	「公民館ミニまつり2022」開催(～12月4日) 展示・サークル見学会実施
2023 (令和5) 年	8月19日	「うらそえ社会教育いきいきまつり2023」アイム・ユニバースてだこホール 舞台発表(小ホール) ダンス交流会(市民交流室)
2024 (令和6) 年	8月1日	「うらそえ社会教育いきいきまつり2024」(～8月31日) 薬膳弁当販売・作品展示・ダンス交流会
	8月24日	アイム・ユニバースてだこホール小ホール 舞台発表・成果物品販売
2025(令和7)年	11月1日	「市民協働とまなびのフェスタ2025 公民館フェスタ」舞台発表 ・作品展示・体験コーナー(アイム・ユニバースてだこ大ホール)
	12月6日	ダンス交流会(公民館ホール)
	12月25日	移転にかかる条例一部改正議決
2026(令和8)年	1月13日	サークル作品展示(公民館フロア等)(～2月13日)
	3月31日	現施設の供用停止
	4月1日	あかひらステーションビル1Fに移転(予定)



【編集後記】

これからも末永くよろしくお願いします ♪😊

楽しく学ぶ場としての現在の公民館施設が閉館するにあたり多くの「いきいき」掲載コメント編集し、皆さんの人生の一部が公民館であったことを改めて気づきました。私自身の7年間公民館勤務でサークルの皆さんから社会教育を学びました。コロナ明けから徐々に普段の活動に戻るのも見てきました。活動場所が離れても、**公民館つながるパレット登録**でずっと皆さんの活動を支援していきたいです。市民からさまざまな意見や「やりたい!」の相談がくることをこれから楽しみにしています。登録について丁寧に対応したいのでご相談ください。今後はサークルの活動先を取材予定しています。

安武美穂(社会指導員)

登録申請はこちらから



令和8年3月2日(月)から3月27日(金)まで

これまでのサークル登録制度との違い

- 1 支援方法・・・中央公民館の縮小移転に伴い、これまでに行ってきた施設面の活動支援に代わり**情報発信のお手伝いや活動の成果を地域に生かす機会の提供**を行います。
- 2 登録対象・・・既存の公民館サークルに加えて、中央公民館講座を受講後に学びを継続する方々や、自主企画まなび助成制度から発足したグループも届け出の対象とし、地域力をともに高める仲間づくりの輪を広げていきます。



第332号

令和 8年 3月発行



浦添市立中央公民館

〒901-2114

浦添市安波茶1丁目1番2号

電話:098-879-5503

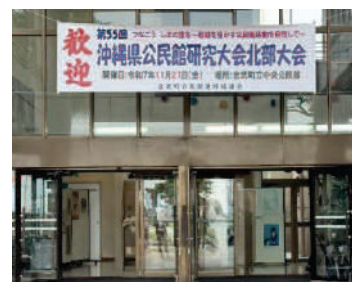
FAX:098-879-5530

kominkan@city.urasoe.lg.jp

令和7年度 第55回沖縄県公民館研究大会北部大会



浦添市自治公民館長連絡協議会又吉会長が代理受賞しました。



研究大会

11月21日(金) 金武町立中央公民館において沖縄県公民館研究大会が開催されました。今年度は「つなごう しまの宝を～地域を生かす公民館活動を目指して～」をテーマに、北山亭メンソーレ(うちな～落語家)による基調講演「一席お付き合いを～笑いでつなぐ地域の輪～」に始まり、金武町立中央公民館軽音楽同好会によるアトラクションで、会場は公民館を核とした人のつながりに湧き、その後の分科会へと続きました。浦添市立中央公民館からは3名が参加し、第三分科会「テーマ:地域づくりの拠点としての自治公民館のあり方」で自治公民館を地域コミュニティにおけるネットワークの拠点として機能させるためには何が必要か?の討議を深める機会を得ました。

表彰

令和7年度沖縄県優良自治公民館表彰として当山ハイツ自治公民館(仲程八十一会長)が受賞しました。また、令和7年度沖縄県公民館功労表彰には、長年平和キャラバンで平和教育講師をつとめる喜舎場宗正氏、知名正男氏に功労者表彰が授与されました。11月20日事務連絡会議の席上では仲程会長に、11月30日平和講座の席では喜舎場さん知名さんに伝達表彰を行いました。



おめでとうございます
これからもよろしくお願いします



ご協力 御礼

大会開催にあたり 公民館サークル24団体及び個人から合計90口の協賛をいただき県大会の運営に充てることができました。皆様のご協力に厚く御礼申し上げます。

R7 公民館講座

下半期



ダイジェスト版だよ

上半期 (5月～8月)開催の講座

- ❖5/27、5/30 春のスマホ教室①② 初心者向けのスマホ教室
- ❖5/21～6/20 小中学校へ出前講座「平和キャラバン」全10校
- ❖5月・7月・9月 お金のはなし講座(全3回)
- ❖7月、8月 夏休み特集 児童生徒向け講座

9/19 やさしいプログラミング教室
講師:浦添工業高校 情報技術科生徒
受講者:7名



学生さんは教え方も親切だね。初のプログラミングに挑戦でした。(70代)

10/9 秋のスマホ教室 in 広栄
講師:大城宗勝氏(ソフトバンク)
受講者:13名



自己流で使っていたので、知りたいことができました。(70代)

10/23 家庭教育支援講座①
「こどものメンタルケア」
講師:脇 龍平氏 受講者:45名



これからの子どもとの接し方のヒント。参考になった。(30代)

11/6～12/11 (全6回)
はじめての健康マージャン
講師:前花正樹氏 受講者:118名



最高に楽しい～！仲間ができてなお楽しい (40代)

11/24 家庭教育支援講座②
脳が喜ぶ親子遊び in 安波茶
講師:屋良宣条氏 受講者:54名



子どもたちが楽しく運動できるような工夫がたくさん。(40代)

11/30 戦後80年記念講座平和の継承を考える日 受講者:50名
講師:喜舎場宗正氏・永田健作氏



多様な視点から平和継承について考えるプログラムだった。(男性)

12/3 やさしいスマホ講座
LINEをつかってみよう
講師:天久朝子氏 受講者:14名



ニーズに合致した講座。とてもわかりやすくて良かった。(70代)

12/6 防災マップと湧き水の歴史
講師:照屋孝氏 受講者:12名
(内閣府防災スペシャリスト養成講座講師)



湧き水の新しい知識、住んでいる地域について深く学ぶことができた。(20代)

1/10 クレジットカードの基礎知識
講師:比嘉秀一氏・屋宜盛人氏
受講者:14名



自分にふさわしいキャッシュレスカードの選択がわかった。(50代)



令和7年度・公民館講座は、上半期・下半期あわせて**29講座**を開講することができました。
今回は初めて公民館講座に参加する方も多く、受講された皆さんからは「初めての講座。とても楽しかった」「地域のことをもっと知りたい」「親子で参加できる講座を増やしてほしい」など多くの声
が寄せられました。令和8年度も社会生活に役立つ講座を企画・運営していきます。
広報うらそえ、ホームページ、浦添市公式 LINE で情報発信します。ぜひ、キャッチしてね。

1/28 やさしいスマホ
安全にスマホを使おう！
講師：大村仁哉氏 受講者：15名



セキュリティへの関心が高まった。
レベル別の開催もしてほしい。(70代)

1/30 家庭教育支援講座③
生活に魔法をかけて丁寧暮らしへ
講師：伊佐まゆみ氏 受講者：9名



小人数の対話型で、講座の雰囲気がとてもよかった。(30代母親)

2/14 家庭教育支援講座④
沖縄の子どもの基本的な生活習慣と学力
講師：西本裕輝氏 受講者：19名



驚きと発見の2時間。家庭の過ごし方
を変えると沖縄の社会、現状を変えてい
けると感じた。(40代母親)

1/26～2/7 (全3回)
アートキャラバン「黑板アート」
講師：石川香苗氏 受講者：29名



最初はずごく不安だったけど、みんなで頑張って
完成できた。達成感！(浦添商業高校生徒)

2/4 自分らしくってなに？ (ハイブリッド)
講師：新里利浩氏 受講者：31名
(数秘術カウンセラー・書道家)



保育の現場にいます。子どもたちへの声かけに活か
したい。(女性)

2/21 勢理客の魅力再発見講座！
まちづくり講座 受講者：19名
講師：若者支援サークル ビーフリー



地域とのつながりに興味が多く講座。
これからも開催してほしい。(40代)

3/3 親子ほしぞら教室 月食観察会
講師：島袋美那子氏
受講者：26名



きれいに月食が見られてうれしかった。子ども
たちの目が輝いていました。(40代)

🍀🍀 講座の豆知識 🍀🍀

公民館講座は、受講者のアンケートや市民アンケートの要望を参考に
公民館長を中心に5人の社会教育指導員、公民館係一丸となって講座企
画を練っています。そして何より忘れてならないこと。それは「社会教
育」の視点です。私たちの実生活に必要な「社会課題＝必要課題」😊
デジタル社会や消費生活、教養の向上、家庭教育支援、市民意識、職業
知識など盛りだくさんなのです。公民館はこれからもあらゆる分野を網
羅して皆さまのまなびを応援します。



自治公民館講座

2次応募より

浦城自治公民館 のべ人数 45名

■「タペストリー作り」全5回 講師: 高良 幸子 氏

■令和 7年 11月 12日(水) ~ 12月10日(水)

難しいところは、互いに助け合い励ましながら楽しく作品づくりができました。自宅ですりだったのが、仲間ができました。



経塚自治公民館 のべ人数 29名

■「フォークギター教室」全3回 講師: 大田 朝健 氏

■令和 7年 11月 19日(水) ~ 12月 3日(水)

ギターに合わせて歌うことでハッピー。歌声喫茶感覚で楽しくて、今後もサークルで続けられたいです。



勢理客自治公民館 のべ人数 18名

■「クラフトバッグづくり」全5回 講師: 具志堅 孝子 氏

■令和 8年 2月 2日(月) ~ 3月2日(月)

交通安全を祈り、新1年生へのプレゼントづくりに充てました。



安川自治公民館 のべ人数 23名

■「サルサダンスを楽しもう」全2回 講師: スモールウッド亜耶 氏

■令和 7年 12月 6日(土)・14日(日)

ラテンの音楽を聴くとウキウキ。音楽にあわせて体を動かすことができて笑いの絶えない楽しい講座でした。



7年度 自治公民館講座 実績

18自治会 (32講座)

99学習会 1,092名

令和8年度の募集は 4月開始です

お申し込み待っています 😊

- ・自治公民館講座
- ・自主企画まなび助成制度

浦添ニュータウン自治公民館 のべ人数 74名

■「初めてのAI 講座」全5回 講師: 安和 良盛 氏

■令和 8年 1月20日(火) ~ 2月 17日(火)

AIという言葉を目にしますが、生活のなかで、こんな身近に使われていることに驚きました。



サークル紹介 なないろマジックソーイング



入園入学応援セット寄贈プロジェクト

手芸が好きな主婦が集まって楽しく縫物をしている手芸サークルです。縫い物をする中で「作った作品を活用して貰いたい」思いが芽生えました。中央公民館の「自主企画まなび助成制度」を活用した公民館活動を通して今回の『浦添市の小学校へ寄贈する』動きに繋がりました。

♪誰かが必要としている物を必要な分だけ作る。

♪余り布を活用して作品づくりをしてみる。

♪長く使ってもらえる工夫をしてみる。3点を意識して取り組みました。

5

中央公民館登録団体

浦添市立中央公民館団体登録制度『公民館つながるパレット』実施要綱

令和8年2月4日

教育長決裁

(目的)

第1条 この要綱は、浦添市立中央公民館（以下「中央公民館」という。）が運用する社会教育活動を進める団体の登録制度を通じて、市民の主体的な学習活動の自立を支援し、その学びの成果を地域力の向上や地域課題の解決につなげることで、地域を担う人材の育成・確保を図り、もって社会教育の推進に寄与することを目的とする。

(登録団体への支援)

第2条 中央公民館は、登録団体に対し、次の活動支援を行うものとする。

- (1) 学習活動に関する提案及び助言を行うこと。
- (2) 学習の成果を活用した地域力強化活動の機会を提供すること。
- (3) 学習成果を発表する場として、公民館フェスタの出演機会を提供すること。
- (4) 団体が新たな会員を獲得できるよう、取材や広報などの活動を促進すること。

(登録の基準)

第3条 登録ができる団体は、次の要件をすべて満たしていなければならない。

- (1) 講師を除く会員数が5名以上かつ過半数が浦添市民であること。
- (2) 自己研磨又は健康維持等の学習活動を月1回以上行う団体であること。
- (3) 登録期間中に、中央公民館又は自治公民館が主催する地域力強化活動に1回以上参加すること。
- (4) 団体概要及び活動写真等を市のホームページで公開することを了承する団体であること。
- (5) 中央公民館からの連絡事項を団体内で漏れなく共有できる体制を整えること。
- (6) 営利活動を目的としない団体であること。
- (7) 特定の政党の利害に関わり、又は公私の選挙に関し、特定の候補者を支持することを行わない団体であること。
- (8) 特定の政党や候補者を支持する活動、又は特定の教派、宗派若しくは教団の支援を行わない団体であること。

(登録の申請)

第4条 新たに登録の申請をしようとする団体は、中央公民館団体登録申請書（様式第1号）に必要書類を添えて教育長に提出しなければならない。

(登録の認定)

第5条 教育長は前条の申請書を受理したときは、第3条に規定する要件に基づき、登録の可否を決定する。

2 教育長は、登録の可否を決定するにあたり、必要があると認めるときは、実地の調査を行うことができる。

3 教育長は、登録を決定した場合は、申請団体の代表者に中央公民館団体登録証（様式第2号。以下「登録証」という。）を交付する。

4 教育長は、申請団体が登録の要件に適合しない場合は、申請団体の代表者に対し、中央公民館団体登録（申請却下・取消）通知書（様式第3号）により通知する。

（登録の有効期間）

第6条 前条に規定する登録証の有効期間は4月1日から3月31日までの1年以内とする。

（登録内容の変更等）

第7条 登録団体は、第4条の申請書に記載した内容に変更が生じたときは、中央公民館団体登録変更届（様式第4号）を中央公民館に提出しなければならない。

2 登録団体が活動を中止及び解散したときは、速やかに中央公民館団体登録取消届（様式第5号）を提出しなければならない。

（登録の取消）

第8条 教育長は、登録団体が次のいずれかに該当するときには、登録を取り消すことができる。

（1）申請の内容に虚偽があったとき。

（2）登録の要件を欠くに至ったとき。

（3）その他、登録団体としてふさわしくない行為等があったとき。

2 教育長は、前項に規定する登録の取消をした場合は、申請団体の代表者に対し、中央公民館団体登録申請（却下・取消）通知書（様式第3号）により通知する。

（活動報告）

第9条 登録団体は、登録の有効期間内において、中央公民館登録団体活動報告書（様式第6号）による活動報告を教育長に提出しなければならない。

（委任）

第10条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は教育長が別に定める。

附 則

この要綱は、令和8年4月1日より施行する。

令和8年度 浦添市立中央公民館登録団体一覧表

Vol.1 R8.3.30作成

No.	団 体 名	学 習 分 野	活 動	日 時	場 所
1	マンデーイングリッシュ	語学(英語)	毎週	月 19時～21時	ハーモニーセンター(第2研修室)
2	英会話サークルドゥリーム	語学(英語)	毎週	水 11時～13時	ハーモニーセンター(第1研修室)
3	浦添英会話	語学(英語)	毎週	金 19時～21時	浦添市地域福祉センター(会議室2)
4	韓国語サークル チング	語学(韓国語)	毎週	木 19時～21時	浦添市民住宅子育て支援港川宿舍 集会場
5	水話会	語学(話し方)	月2回 不定期	水 19時～21時	ハーモニーセンター(第1研修室)
6	フォルモサ:中国語同好会	語学(中国語)	毎月第2	土 15時～17時	議会棟 102・103会議室
7	秋津書道	茶道・書道(書道)	毎週	水 9時～11時	ハーモニーセンター(第1研修室)
8	うらそえ結書の会	茶道・書道(書道)	毎月第2	水 19時～21時	浦添ニュータウン自治公民館
9	紅香会	茶道・書道(書道)	毎週	木 11時～13時	ハーモニーセンター(第1研修室)
10	民謡友の会	音楽実技(三線・民謡)	毎週	月 19時～21時	伊祖自治公民館
11	ふれあい三線サークル	音楽実技(三線・民謡)	毎週	月 19時～21時	牧港自治公民館
12	辰ちゃんの会	音楽実技(三線・古典)	毎週	火 19時～21時	ハーモニーセンター(第1音楽練習 室)
13	三友会	音楽実技(三線・民謡)	毎週	火 19時～21時	浦添市かりゆしセンター
14	美ぎ島三線	音楽実技(三線・宮古民謡)	毎週	土 17時～19時	港川小学校 (地域連携室)
15	もみじ会	音楽実技(器楽・大正琴)	毎週	水 12時～14時	浦添市地域福祉センター(会議室2)
16	すみれ会	音楽実技(器楽・和箏)	毎月第1・3	木 15時～17時	浦添市地域福祉センター(会議室2)
17	アロハウクレレ	音楽実技(器楽・ウクレレ)	毎週	月 10時～12時	末日聖徒イエスキリスト教会
18	琉球かれん 仁和の会	音楽実技(器楽・琉球かれん)	毎週	月 13時半～ 15時半	浦添市地域福祉センター
19	ソニードギター合奏団	音楽実技(器楽・ギター)	毎週	火 18時～21時	てだこホール 多目的室1
20	ウインズハーモニー	音楽実技(器楽・オカリナ)	毎週	水 19時～21時	サンアビリティーうらそえ(研修室)
21	ラルゴギターアンサンブル	音楽実技(器楽・ギター)	毎月第4	水 19時～21時	浦添市地域福祉センター(研修室)
22	サンレレラバイ	音楽実技(器楽・サンレレ)	毎週	日 9時～12時	議会棟 102・103会議室

No.	団 体 名	学 習 分 野	活 動	日 時	場 所
23	女声コーラス「ひまわり」	音楽実技(合唱・コーラス)	毎週	木 9時45分～ 11時45分	てだこホール(練習室1)
24	浦添市民合唱団	音楽実技(合唱・コーラス)	毎週	金 10時～12時	ハーモニー第1音楽練習室 または 浦添ニュータウン公民館
25	ゆうなの会	ダンス(社交ダンス)	毎週	月 10時～12時	てだこホール多目的室1 または マルチメディア室
26	エンジョイダンスサークル	ダンス(社交ダンス)	毎週	木 13時～15時	てだこホール練習室1
27	フラサークル プアマナ	ダンス(フラダンス)	毎週	金 10時半～ 12時	てだこホール 練習室2
28	てだこダンスサークル	ダンス(社交ダンス)	毎週	土 14時～16時	てだこホール練習室
29	ティアラダンスサークル	ダンス(社交ダンス)	毎週	月 19時～21時	てだこホール練習室1 または 浦添ニュータウン自治会
30	琉舞サークル コスモスの会	芸能(琉球舞踊)	毎週	火 14時～16時	浦添ニュータウン自治公民館
31	てだこ朗吟会	芸能(詩吟)	毎週	月 11時半～ 13時半	浦添市地域福祉センター(会議室2)
32	浦添吟友会	芸能(詩吟)	毎週	火 13時～15時	浦添市地域福祉センター(会議室2)
33	タズ子ちぎりえ	美術実技(ちぎり絵)	毎週	土 9時～11時	浦添市地域福祉センター(会議室2)
34	デジタルアーツ	情報・IT(パソコン)	毎週	木 10時～12時	伊祖自治公民館
35	パソコン勉強会	情報・IT(パソコン)	毎週	火 9時～12時	てだこホール マルチメディア室 または 多目的室
36	ヨーガブレマ	体操(ヨガ)	毎週	月 19時～21時	ハーモニーセンター(第1音楽練習 室)
37	健康体操自彊術浦添	体操(自彊術)	毎週	水 13時～15時	浦添ニュータウン自治公民館
38	ストレッチクラブ	体操(ストレッチ)	毎週	土 9時～11時	議会棟 102・103会議室
39	朗読会「道」	読み聞かせ(朗読)	毎週	金 19時～21時	浦添市地域福祉センター(研修室)
40	3時のおやつ	料理・食品(パン・お菓子)	毎月第3	水 9時～12時	沖縄県総合福祉センター
41	ありんくりん会	社会的教養(意見交換)	毎月第2	土 17時～19時	議会棟 102・103会議室
42	サルサ練習会	ダンス(サルサダンス)	毎週	木 10時～12時	浦添市民体育館(会議室)
43	ステップハーモニー	ダンス(ヒップホップダンス)	毎週	水 10時～12時	てだこホール練習室2

6

中央公民館審議会・協議会関係

浦添市立中央公民館運営審議会

館長の諮問機関として、識見を有する学校教育・社会教育・家庭教育等の関係者や学識経験者等10名以内で構成。公民館の運営や各種事業について、幅広い意見を聴取する。

任期 | 令和8年8月1日から令和10年7月31日まで(2年)

審議委員

氏 名	分 野	所 属 等	
安座間 俊一	社会教育 学校教育	沖縄県教育庁働き方改革推進課 課長 社会教育主事	再
稲垣 暁	地域防災 学識経験者	(一社)災害プラットフォームおきなわ 代表理事 沖縄国際大学・沖縄大学 特別研究員	再
有賀 恵里	家庭教育 地域学校 協働活動	浦添市立宮城小学校 地域学校協働活動推進員	再
根間 正人	学校教育	浦添市立内間小学校 校長	新
新垣 隆吾	青少年教育 学校教育	沖縄県立浦添工業高等学校デザイン科 教諭	再
前底 まさみ	社会教育	浦添市立中央公民館登録団体 「ウィンズ・ハーモニー」	新
又吉 隆	自治公民館	浦添市自治公民館長連絡協議会 副会長 牧港自治会 会長	再
仲嶺 茜	高齢福祉	社会福祉法人 浦添市社会福祉協議会 地域共生課 課長	新

浦添市立中央公民館運営審議会規則

平成24年3月30日

教育委員会規則第3号

改正 平成30年2月9日教育委員会規則第2号

(趣旨)

第1条 この規則は、浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例(平成24年条例第12号)第17条に規定する、浦添市立中央公民館運営審議会(以下「審議会」という。)の組織及び運営について、必要な事項を定めるものとする。

(平30教委規則2・一部改正)

(委員長および副委員長)

第2条 審議会に、委員の互選による委員長及び副委員長各1人を置く。

2 委員長および副委員長の任期は、2年以内とする。

3 委員長は、会務を総理し、審議会の会議(以下「会議」という。)の議長となる。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第3条 会議は、公民館長又は委員長が招集する。

2 会議の開催は、年3回以内とする。

3 会議は、在籍委員の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。

(表決)

第4条 会議の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは委員長の決するところによる。

(会議の出席)

第5条 委員長は、必要があると認めるときは、会議の事案に関する者の出席を求め、その説明又は意見を聞くことができる。

(庶務)

第6条 審議会の庶務は、教育部中央公民館において処理する。

(雑則)

第7条 この規定に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成30年2月9日教育委員会規則第2号)

この規則は、公布の日から施行する。

令和 8 年度 役員

役職名	氏 名	自治会名	中学校区
会 長	又 吉 隆	牧港	港川中
副会長	榎 田 正 法	グリーンハイツ	浦添中
事務局	阿 波 連 秀 敏	安波茶	浦添中
理 事	佐 久 川 正 健	大平	仲西中
理 事	翁 長 盛 幸	宮城	仲西中
理 事	安 里 真 弥	内間	神森中
理 事	小 禄 隆	浦西	浦西中
理 事	与 儀 秀 樹	マチナトタウン	港川中

監 事	仲 村 順 一	浦城	港川中
-----	---------	----	-----

顧 問	石 坂 ひ と み	中央公民館館長
-----	-----------	---------

浦添市自治公民館長連絡協議会会則

第1章 総則

- 第1条 この会を浦添市自治公民館長連絡協議会と称し、事務局は事務局長所属の自治公民館内に置く。
- 第2条 この会は、浦添市内の各自治公民館長をもって組織する。
- 第3条 この会は、各自治公民館相互の連絡提携と自治公民館活動の振興発展を図り、地域づくりに寄与することを目的とする。

第2章 事業

- 第4条 この会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。
- (1) 自治公民館相互の情報交換
 - (2) 各種研修集会（大会、研修会等）の開催
 - (3) 自治公民館に関する調査研究
 - (4) 先進地等の視察
 - (5) その他、目的を達成するために必要な事業

第3章 役員

- 第5条 この会に、次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 事務局長 1名
- (4) 会計 1名
- (5) 理事 1名
- (6) 監事 1名

- 第6条 役員の選出は、次の通りとする。

- (1) 会長は、理事会で選出する。
- (2) 副会長、事務局長、会計は会長が委嘱する。
- (3) 理事は、各中学校区から1名推薦し、総会で承認を得る。
- (4) 監事は、理事会で推薦し、総会で承認を得る。

- 第7条 役員の任期は、次の通りとする。

- (1) 役員の任期は1年とする。但し、再任を妨げない。
- (2) 役員の欠員が生じたときは、前任者の在任期間とする。

- 第8条 役員の任務は、次の通りとする。

- (1) 会長は、本会を代表し、会務を総括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し会長に事故があるときはその職務を代行する。
- (3) 事務局長は、この会の事務を処理する。
- (4) 会計は、この会の会計事務を処理する。

(5) 理事は、理事会を構成し、この会の重要事項を審議、会務を執行する。

(6) 監事は、この会の会計を監査する。

第9条 この会に、顧問を置くことができる。

(1) 顧問は、会長が理事会の承認を得て委嘱する。

(2) 顧問は、会長の諮問に応ずる。

第4章 会議

第10条 この会の会議は、次の通りとし会長が招集し議長となる。

(1) 総会

(2) 理事会

第11条 総会は、年1回開催し、次の事項を審議承認する。また、必要に応じて臨時に開くことができる。

(1) 会則の制定改廃

(2) 年度事業計画及び予算

(3) 年度事業報告及び決算

(4) 役員の承認

(5) その他重要事項

第12条 理事会は、この会の企画、執行に当たり必要に応じて開くことができる。

(1) 予算、決算の審議

(2) 事業計画の審議

(3) 役員の選任

(4) その他、公民館事業に関係する必要な重要事項

第5章

第13条 この会の経費は、会費、補助金、寄付金及びその他の収入をもってこれに充てる。

第14条 この会の会計は、毎年4月1日の始まり翌年の3月31日に終わる。

第5章 雑則

第15条 この会の会則に定めるもののほか必要事項は、理事会の承認を得て会長が別に定める。

附則

この会則は、平成14年7月29日から施行する。

自治会と自治公民館の関係

『浦添市自治公民館運営の手引き』（浦添市立中央公民館・浦添市自治公民館連絡協議会 平成17年6月発行）より一部抜粋

1 自治会とは

自治会とは、市町村内の一定の区域に住所を有する者の地縁（同じ地域内に住むことによって生じる社会的な関係）に基づいて形成された「地域生活集団」を指しています。自治会は、その総会を経て、自治会員の負担と役職の分担によって運営がなされています。

自治会は、一般行政関係の事業を中心としております。つまり、首長部局や関係機関・団体等とのより良い結びつきや相互の連携・協力関係を創り出すことによって良好な地域づくりが図られます。

2 自治公民館とは

自治公民館は、住民自治の場であり、教育と生活の接点であると言われています。法的には、公立公民館と区別して、「公民館類似施設」と呼ばれています。

また、地域住民の学習と生活の関連施設としての役割と機能を持っており、地域づくり・人づくりを図るため、重要な組織的な活動を展開する拠点施設でもあります。自治公民館は、教育面（主に、生涯学習活動）にそのねらいがあるため、教育委員会との関係が深くなります。

3 自治公民館の役割と機能（基本的条件）

自治公民館、住民の意見が十分反映され、総意によって各種の事業を行い、会員の自治能力と連帯感を高めるなど諸活動を通して住み心地のよい地域づくりの目的を達成する自治的な組織です。

その事業や活動は、会員の話し合いによって民主的に決定され、そのための経費は、自治会員自らが負担し、また、役員や係も会員自身によって選出され、積極的な参加と協力的に運営されなければなりません。

- (1) 自治会員の総意によって、会員のために、民主的で自治的に運営される組織であり、社会教育施設の一つです。
- (2) 住み心地のよい地域づくりのため、地域の実態や課題が把握され、生活課題等解決に向け各種の事業を自治的に運営し、そのことによって、会員の生活・文化水準の向上を図ると共に、自治能力を高める組織であり施設です。
- (3) 会員の心の拠り所であるとともに、地域の生活課題を解決するために会員の学習活動と実践活動の組織であり、交流活動の拠点施設です。
- (4) 地域社会の親睦と融和を図り、相互理解と地域連帯感を高め、コミュニケーションを深める組織であり施設です。
- (5) 中央公民館や関係機関・団体との連絡・連携協力体制を図りながら運営する組織であり施設です。

このようなことから、自治会・自治公民館の主体性、管理と運営の自立性、事業活動の自主性を発揮することが自治公民館の特色であるといえます。

4 自治公民館の基本的な性格

自治公民館の基本的な性格は、教育性、民主性、科学性の3つに要約されます。

◎教育性とは、自治公民館は社会教育法に基づいた施設ではないが、その活動や事業はできるだけ教育的立場(学習活動)を忘れないことです。

◎民主性とは、上から与えられたものではなく、住民自らの教養を高め、自らの盛り上がりによって組織されたものでなければなりません。

◎科学性とは、自治公民館の設置目的は、その運営を通して、私たちの個人生活、家庭生活、社会生活を豊かにし、楽しい、明るい、住み心地の良い地域社会を築き上げ新しい文明の恩恵を受けるようにすることにあります。

5 自治公民館活動と自治会活動の相違点

各自治会では、生活上の問題や地域の共通する諸課題等(目的の達成)の解決を図るため、集会活動の場としての、自治公民館(集会所等)が設置されています。

自治公民館活動と自治会活動との違い(比較表)

	自治公民館活動	自治会活動
性 格	教育機関(社会教育)	自主的共同管理機関
施設の利用	講座・学習・教室・話し合い・懇談会・レクリエーション・スポーツ・健康づくり活動・サークル活動・趣味活動等	主に集会(役員会、評議委員会、総会、専門部会等)
組織と運営	各種団体・機関の代表で組織し、住民の要望、意見等をもとにした運営。※現状は、自治会の組織と重なっている。(館長は自治会長と兼務)	世帯主の代表によって組織し、一般行政と相互協力及び連携
事業の内容	学習活動が中心(誰でも、いつでも参加できる)◎趣味・教養講座、文化等活動◎伝統芸能等の継承・創造活動◎年中行事等	自治組織活動が中心(役員会、評議委員会、総会、専門部会等)
行政との関係	教育委員会(社会教育推進課)との関係が中心	首長部局(市民生活課)や社会福祉協議会等との関係が中心
公立公民館との関係	主に中央公民館との事業連携や公民館職員からの支援・援助、助言・指導	特になし

浦添市自治公民館長連絡協議会の意義と役割

1 自治公民館長連絡協議会(略称:浦公連)結成の経緯

浦添市社会教育委員は、昭和61年3月「浦添市の社会教育の課題ー将来への提言ー」の中に、各字の自治公民館を機能させるため「自治公民館連絡協議会」の組織化についての提言をしています。

平成12年10月、自治公民館長研修会において、浦添市の生涯学習のまちづくりを推進していく上から、「自治公民館長連絡協議会」を結成することが最重要課題であると問題提起がなされました。

浦添市自治会長会では、平成13年度の事業計画に位置づけ、結成準備委員会を組織し作業に取り組み、平成14年7月29日に結成総会において浦公連がスタートし今日にいたっています。

2 意義と役割 ※一部抜粋

現在自治会における諸活動を展開する中で、地域生活共同意識(コミュニティー意識)の希薄化等の現象は自治会加入率の低さとなって現れるなど、より良い地域形成を図る上から支障をきたしており、地域を預かる自治会長会の重要課題の一つであります。

このように社会の急激な変化が進む中で、人間関係の改善や新たな課題解決に向けた方策の樹立と、その取り組みは行政の努力はもとより、私たち自治会長会の自助努力に寄せる期待は大きなものがあります。

そこで、浦添市自治会長会では、係る問題や課題等の解決を図っていく観点から、自治会活動の充実・活性化を目指すため、地域住民が「集い」(地域生活に根ざした事業)、「学び」(生活文化を高める事業)、「交流」(地域連帯を強める事業)の輪を広げ得るような教育(学習)的な要素・内容を加味しながら「公民館活動＝自治会活動」(表裏一体)としての役割を十分発揮し、その取り組みを通して、まちづくりや地域づくりに貢献していくという目的で「浦添市自治公民館長連絡協議会」を組織することにしました。

これからの浦添市自治公民館長連絡協議会の活動目標として、次の基本的な考え方を十分踏まえながら活動の展開を図っていくことが肝要であります。

- (1) 自治公民館長連絡協議会にあっては、各自治公民館相互の連携・協力と自治公民館活動の振興発展を図り、地域づくり・人づくりに寄与します。そのため、自治公民館相互の情報交換や各種研修会及び先進地等視察、また、調査研究等を実施する等目的達成に努めます。
- (2) 自治公民館にあっては、次の基本的な考え方を拠り所に活動の展開に努めます。自治公民館活動の意義や役割は、地域づくり・人づくりそのものであると言われていきます。つまり、住民の学習活動、文化活動、スポーツ・レクリエーション活動や趣味活動、ボランティア活動等の生涯学習をとおして達成されるのです。また、住民相互の連帯感や共同意識の醸成及び住み心地のよさの向上、住民相互の親睦や交流等を図る活動が組織的・計画的・継続的に展開されるよう留意することが

重要であります。

このため、

- ①いつでも、誰でも、気軽に公民館に集うことができ、一人一人の教養を高めます。
- ②公民館活動をとおして、住民の自治能力を伸ばし、民主的な人づくり・地域づくりを図ります。
- ③次代を担う青少年の健全育成を図ります。
- ④明るく健全な家庭づくり、地域づくりとしての住民の親睦と融和を図り、連帯感を醸成します。
- ⑤地域の伝統文化の継承発展や新しい文化の創造を図る個性的で特色のある活動を展開します。
- ⑥中央公民館や関係行政機関・団体との連携を図りながら、公共性・公益性を目指します。

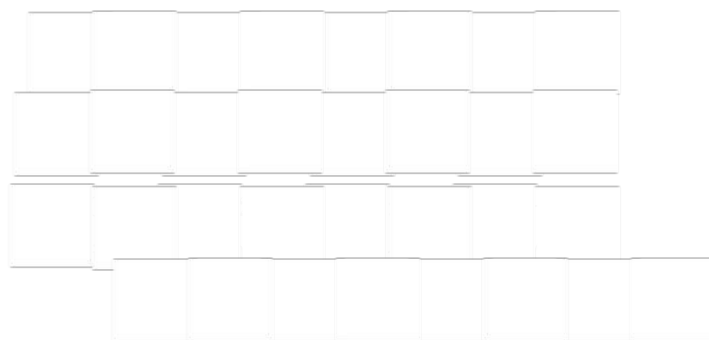
令和8年度 那覇地区公民館連絡協議会役員

役職名		市町村名	職 名 ・ 氏 名	所 属 機 関 名 ・ 所 在 地
会 長		那覇市	館長 田場 壮子	那覇市中央公民館 〒902-0064 那覇市寄宮1-2-15
副会長		浦添市	館長 石坂 ひとみ	浦添市立中央公民館 〒901-2103 浦添市仲間1-1-2
副会長		久米島町	課長 宮里みかよ	久米島町教育委員会 教育課 〒901-3121 久米島町字嘉手苅542番地
監 事		那覇市	主査 仲村 美紀	那覇市教育委員会 生涯学習課 〒900-8585 那覇市泉崎1-1-1
監 事		浦添市	係長 大浜 暢明	浦添市教育委員会 社会教育推進課 社会教育協働係 〒901-2501 浦添市安波茶1-1-1
理 事	1	那覇市	主幹 又吉 剛	那覇市中央公民館 〒902-0064 那覇市寄宮1-2-15
	2		会長 池原 興一	首里崎山町自治会 〒903-0814 那覇市首里崎山町2-24
	3		会長 上原 博	小禄地区自治会連合会 〒901-0153 那覇市宇栄原4-2-2 那覇市役所小禄支所内
	4	浦添市	館長 小禄 隆	浦西自治公民館 〒901-2101 浦添市西原6-22-1
	5		館長 又吉 隆	牧港自治公民館 〒901-2131 浦添市牧港1-4-6
	6		係長 吉本 若奈	浦添市教育委員会 社会教育推進課 公民館係 〒901-2103 浦添市仲間1-1-2 あかひらステーション 1 階
	7	久米島町	主査 當間 和明	久米島町教育委員会 教育課 〒901-3121 久米島町字嘉手苅542番地
	8	南大東村	主事 知念 慧	南大東村教育委員会 教育課 〒901-3895 南大東村字南 1 4 4 番地 1
	9	北大東村	課長 知花 操	北大東村教育委員会 教育課 〒901-3992 北大東村字中野218番地
総 会 出 席 者	1	那覇市	館長 富村 奈央	那覇市牧志駅前ほしぞら公民館 〒902-0067 那覇市安里2-1-1
	2		館長 金城 浩二	那覇市首里公民館 〒903-0812 那覇市首里当蔵町2-8-2
	3		館長 小渡 美奈	那覇市小禄南公民館 〒901-0145 那覇市高良2-7-1
	4		館長 山城 裕子	那覇市石嶺公民館 〒903-0804 那覇市首里石嶺町2-70-9
	5		館長 崎枝 博至	那覇市若狭公民館 〒900-0031 那覇市若狭2-12-1
	6		館長 本多 まどか	那覇市繁多川公民館 〒902-0071 那覇市繁多川4-1-38
	7	浦添市	館長 阿波連 秀敏	安波茶自治公民館 〒901-2114 浦添市安波茶2-7-1
	8		館長 楨田 正法	浦添グリーンハイツ自治公民館 〒901-2102 浦添市前田862-219
事務局		那覇市	公民館主事 石原 花音	那覇市中央公民館 〒902-0064 那覇市寄宮1-2-15

沖縄県公民館連絡協議会

令和8年度 役員

会 長	宮里 寿子	沖縄県公民館連絡協議会	会 長 (那覇市教育委員会 教育長)
副 会 長	田場 壮子	那覇地区公民館連絡協議会	会 長 (那覇市中央公民館 館長)
	町田 優	中部地区公民館連絡協議会	会 長 (嘉手納町中央公民館 館長)
	石坂 ひとみ	那覇地区公民館連絡協議会	副会長 (浦添市立中央公民館 館長)
理 事	上間 久仁	北部地区公民館連絡協議会	会 長 (今帰仁村教育委員会 教育長)
	喜納 すえ子	北部地区公民館連絡協議会	副会長 (本部町教育委員会 教育長)
	平川 留美	中部地区公民館連絡協議会	副会長 (うるま市生涯学習・文化振興センター 館長)
	浜元 盛仁	中部地区公民館連絡協議会	副会長 (北谷町教育委員会 課長)
	古堅 宗治	那覇地区公民館連絡協議会	副会長 (久米島町教育委員会 課長)
	喜友里 誠	南部地区公民館連絡協議会	会 長 (八重瀬町立中央公民館 館長)
	木村 広信	南部地区公民館連絡協議会	副会長 (豊見城市立中央公民館 館長)
	福里 匡	宮古地区公民館連絡協議会	会 長 (宮古島市中央公民館 館長)
	濱川 宗和	宮古地区公民館連絡協議会	副会長 (宮古島市伊良部公民館 館長)
	石垣 精一郎	石垣市自治公民館連絡協議会	会 長 (石垣市大川字会 会長)
	玉城 徳大	竹富町公民館連絡協議会	会 長 (細崎公民館 館長)
	杉本 英貴	与那国町自治公民館連絡協議会	会 長 (西自治公民館 館長)
監 事	大浜 暢明	那覇地区公民館連絡協議会 (浦添市教育委員会 係長)	
	比嘉 哲也	南部地区公民館連絡協議会 (与那原町コミュニティセンター 館長)	
事務局長	堀川 恭宏	(沖縄県教育庁生涯学習振興課 課長)	
事務局次長	知花 哲也	(沖縄県教育庁生涯学習振興課 社会教育班 班長)	
事務局員	大城 太志	(沖縄県教育庁生涯学習振興課 社会教育班 社会教育主事)	
事務局員	森田 育代	(沖縄県公民館連絡協議会)	



第77回九州地区公民館研究大会 沖縄大会

運営組織

令和8年5月29日 現在

大会役員		
会 長	九州公民館連合会会長（沖縄県公民館連絡協議会会長）	宮里 寿子
副会長	九州公民館連合会副会長（宮崎県公民館連合会会長）	佐藤 貢
副会長	九州公民館連合会副会長（熊本県公民館連合会会長）	西村 裕
大会運営委員		
武井 政一	福岡県公民館連合会会長	
古賀 敏正	佐賀県公民館連合会会長	
森田 法幸	長崎県公民館連絡協議会会長	
西村 裕	熊本県公民館連合会会長（九州公民館連合会副会長）	
松井 督治	大分県公民館連合会会長	
佐藤 貢	宮崎県公民館連合会会長（九州公民館連合会副会長）	
池上 滝一	鹿児島県公民館連絡協議会会長	
宮里 寿子	沖縄県公民館連絡協議会会長（九州公民館連合会会長）	
比山 裕隆	福岡県公民館連合会事務局長	
高井 東子	佐賀県公民館連合会事務局長	
藤井 大作	長崎県公民館連絡協議会事務局長	
三浦 幸輔	熊本県公民館連合会事務局長	
馬場 尚登	大分県公民館連合会事務局長	
中村 敏彦	宮崎県公民館連合会事務局長	
大原 暁子	鹿児島県公民館連絡協議会事務局長	
堀川 恭宏	沖縄県公民館連絡協議会事務局長	
大会実行委員会		
委 員 長	宮里 寿子	沖縄県公民館連絡協議会会長
副委員長	田場 壮子	沖縄県公民館連絡協議会副会長（那覇地区公連会長）
	町田 優	沖縄県公民館連絡協議会副会長（中部地区公連会長）
	石坂 ひとみ	沖縄県公民館連絡協議会副会長（那覇地区公連副会長）
実行委員	堀川 恭宏	沖縄県教育庁生涯学習振興課長
	上間 久仁	北部地区公連会長
	喜納 すえ子	北部地区公連副会長
	平川 留美	中部地区公連副会長
	浜元 盛仁	中部地区公連副会長
	古堅 宗治	那覇地区公連副会長
	喜友里 誠	南部地区公連会長
	木村 広信	南部地区公連副会長
	福里 匡	宮古地区公連会長
	濱川 宗和	宮古地区公連副会長
	石垣 精一郎	石垣市自治公連会長
	調整中	竹富町公連会長
	杉本 英貴	与那国町自治公連会長
	與那嶺 里美	北部地区ワーキングメンバー
	大嶺 葉月	北部地区ワーキングメンバー
	安富 尚吾	北部地区ワーキングメンバー
	仲本 克利	中部地区ワーキングメンバー
	友寄 健太	中部地区ワーキングメンバー
	小嶺 貴仁	中部地区ワーキングメンバー
	石原 花音	那覇地区ワーキングメンバー
	吉本 若奈	那覇地区ワーキングメンバー
	神谷 垂矢乃	那覇地区ワーキングメンバー
	當山 錦	南部地区ワーキングメンバー
	又吉 司也	南部地区ワーキングメンバー
	當銘 由也	南部地区ワーキングメンバー
監 事	大浜 暢明	那覇地区監事（R8年度沖公連監事）
	比嘉 哲也	南部地区監事（R8年度沖公連監事）
実行委員会事務局		
事務局 長	堀川 恭宏	沖縄県教育庁生涯学習振興課長
事務局 次長	知花 哲也	沖縄県教育庁生涯学習振興課社会教育班長
事務局 員	大城 太志	沖縄県教育庁生涯学習振興課社会教育主事
事務局 員	森田 育代	沖縄県公民館連絡協議会事務局員

令和8年度那覇地区社会教育指導員連絡協議会役員

職 名	氏 名	勤 務 先
会 長	佐藤 徳弘	浦添市立中央公民館
副 会 長	上原 孝雄	那覇市小禄南公民館
理 事	喜納 さとみ	那覇市石嶺公民館
書記・会計	新嘉喜 沙耶花	浦添市立中央公民館
監 事	新里 史子	那覇市生涯学習課

(参考) 令和 8 年度沖縄県社会教育指導員連絡協議会那覇地区役員

職 名	氏 名	勤 務 先
副会長	上原 佳子	那覇市首里公民館
理 事	安武 美穂	浦添市立中央公民館
監事	神河 周一郎	浦添市立中央公民館

令和8年度

沖縄県社会教育指導員連絡協議会役員

	氏 名	地区名	〒	勤 務 先 所	電話番号
				住 所	FAX
会 長	やましる ^{りえ} 山城 利江	中頭 (読谷村)	904-0301	読谷村教育委員会 生涯学習課	098-982-9231
				読谷村字座喜味2901番地	098-982-9229
副会長	うえはら よしこ 上原佳子	那覇/浦添 (那覇市)	903-0812	那覇市教育委員会 那覇市首里公民館	098-917-3445
				那覇市首里当蔵町2-8-2	098-885-2063
副会長	はらくに まさや 原國 政也	島尻 (豊見城市)	901-0212	豊見城市教育委員会 生涯学習振興課 豊見城市立中央公民館	098-850-3280
				豊見城市字平良467-1	098-850-2374
副会長	ひが あけみ 比嘉 明美	国頭 (宜野座)	904-1302	宜野座村教育委員会 社会教育課 宜野座村ふれあい交流センター	098-968-8647
				宜野座村宜野座291	098-968-5030
事務局	ひが なみこ 比嘉 奈美子	中頭 (中城村)	901-2493	中城教育委員会 生涯学習課	098-895-2158
				中城村字当間585-1	098-895-6353
理 事	おおつか たかよし 大塚 隆慶	国頭 (金武町)	904-1201	金武町教育委員会 社会教育課	098-968-8996
				金武町字金武7758番地	098-968-4963
理 事	うえはら ひでとし 上原 秀俊	島尻 (糸満市)	901-0361	糸満市生涯学習支援センター	098-992-2869
				糸満市糸満1788番地	098-995-2039
理 事	やすたけ みほ 安武 美穂	那覇/浦添 (浦添市)	901-2103	浦添市立中央公民館	098-879-5503
				浦添市仲間1丁目1番2号 あかひらステーションビル1階	098-879-5530
理 事	ひが れいこ 比嘉 礼子	中頭 (西原町)	903-0111	西原町教育委員会 生涯学習課 中央公民館	098-945-3657
				西原町字与那城12.4番地	098-945-4016
監事 (監査)	かみかわ しゅういちろう 神河 周一郎	那覇/浦添 (浦添市)	901-2103	浦添市立中央公民館	098-879-5503
				浦添市仲間1丁目1番2号 あかひらステーションビル1階	098-879-5530
監事 (監査)	よしだ みゆき 吉田 美幸	島尻 (南城市)	901-1415	南城市教育委員会 生涯学習課	098-917-5369
				南城市佐敷新里1870	098-917-5436
連絡係	まじや えつこ 真謝 悦子	八重山 (石垣市)	907-8501	石垣市教育委員会いきいき学び課	0980-83-0373
				石垣市真栄里672番地	0980-82-0294

7

中央公民館沿革

浦添市立中央公民館のあゆみ

昭和53年	12月25日	浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例を制定
昭和54年	4月1日	浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則を制定
		中央公民館が開館し、西原正次教育長が館長を兼務(4月30日まで)、公民館主事他2人の職員が配置
	4月27日	中央公民館落成式が行われる。
	5月1日	中央公民館長に玉城幸男が非常勤(初代)館長として就任
昭和56年	3月26日	浦添市学習供用等施設の設置及び管理に関する条例を制定(屋富祖地区・勢理客地区・牧港地区・内間地区供用施設が設置)
昭和59年	4月1日	島袋盛英が二代目館長に発令される。
昭和61年	3月29日	浦添市立城間公民館が設置される。
昭和62年	2月15日	第34回沖縄県社会教育研究大会において模範公民館として表彰を受ける。
	3月14日	第1回公民館まつりが行われる(14日～15日の2日間)。
昭和63年	3月5日	第2回公民館まつりが行われる(5日～6日の2日間)。
	4月1日	比嘉安正が三代目館長に発令
平成元年	3月18日	第3回公民館まつりが行われる(18日～19日の2日間)。
平成2年	3月3日	第4回公民館まつりが行われる(3日～4日の2日間)。
平成3年	3月23日	第5回公民館まつりが行われる(23日～24日の2日間)。
	4月1日	仲村起徳が四代目館長に発令
	7月26日	浦添市立中央公民館利用者団体連絡協議会の結成総会が開かれる。会長に伊地洋子氏を選出
	12月26日	第21回沖縄県公民館研究大会において、前館長比嘉安正・佐久川昌久(当山)・西原清(安波茶)・仲西信貞(牧港)・名護英治(大平)・牧野茂英(広栄)・宮平昇(小湾)・津波辰夫(城間)・上間仁義(沢岬)の自治公民館長が公民館優良職員として表彰される。
平成4年	2月22日	第6回公民館まつりが行われる(22日～23日の2日間)
	12月4日	第22回沖縄県公民館研究大会において、惣慶朝市(屋富祖)・佐久川昌一(経塚)・銘苅嘉一(伊祖)・与那嶺勝彦(牧港ハイツ)・棚原義光(西原一区)の自治公民館長が公民館優良職員として表彰される。
平成5年	2月19日	第7回公民館まつりが行われる(19日～21日の3日間)。
	11月1日	浦添市立中央公民館が「優良公民館」として、文部大臣賞を受賞する。
	11月17日	第23回沖縄県公民館研究大会において、山本英吉(緑が丘)・比嘉正雄(西原二区)自治公民館長が公民館優良職員として表彰される。
	11月25日	「優良公民館」文部大臣賞受賞の祝賀会を行う。
平成6年	2月18日	第8回公民館まつりが行われる(18日～20日の3日間)。
	4月1日	金城光正が五代目館長に発令
	5月1日	月刊公民館で「わが町の公民館」「文化のかおる心豊かなてだこのまちうらそえ」のタイトルで紹介される。
	9月21日	第45回九州地区公民館研究大会が行われる(会場：那覇市、浦添市)。
	10月30日	第24回沖縄県公民館研究大会において、仲西一郎(宮城)・知念正栄(内間)・名嘉山皇一(浦西)の自治公民館長が公民館優良職員として表彰される。

平成7年	2月10日	第9回公民館まつりが行われる(10日～12日の3日間)。
	12月1日	第25回沖縄県公民館研究大会において、宮城幸盛(仲間)松田一夫(浅の浦)・新里幸代(前田公務員宿舎)の自治公民館長が公民館優良職員として表彰される。
	12月11日	那覇地区公民館連絡協議会研修会(浦添市)で比嘉武宏城間公民館長が「地域の社会教育活動の拠点として」の事例発表を行う。
平成8年	2月9日	第10回公民館まつりが行われる(9日～11日の3日間)。
	11月6日	那覇地区公民館連絡協議会研修会(久米島)に3人参加
	11月29日	第26回沖縄県公民館研究大会(宜野座村)において、第3分科会「青少年と公民館」本館が事例発表。公民館優良職員として、仲村良政安川団地自治公民館長が表彰される。
平成9年	2月8日	第11回公民館まつりが行われる(8日～10日の3日間)。
	4月1日	仲本盛義が六代目館長に発令
	5月26日	沖縄県公民館連絡協議会館長研修会で、本館が「公民館利用者団体育成と公民館の利用方法」について事例発表する。親富祖善繁が七代目館長に発令
	6月2日	第27回沖縄県公民館研究大会(石川市)開催される。
	11月28日	金城光正前館長が公民館功労者・具志堅全盛(勢理客自治公民館長)が公民館優良職員として表彰される。
平成10年	2月14日	第12回公民館まつりが行われる(14日～16日の3日間)。
	7月16日	那覇地区公連絡研修会(南大東村)親富祖館長他職員二人参加
	11月27日	第28回沖縄県公民館研究大会(石垣市)開催される。親富祖館長外1人参加、城間地区公民館長参加、公民館優良職員として、當間盛淳沢岬自治公民館長比嘉勝昭広栄自治公民館長・比嘉常正西原一区自治公民館長、仲間秀信上の自治公民館長が表彰される。1区・上野自治公民館長が表彰される。
平成11年	2月13日	第13回公民館まつりが行われる(13日～15日の3日間)。
	11月26日	第29回沖縄県公民館研究大会(浦添市、市民会館他4施設)開催される公民館優良職員として、石川仁助前田自治公民館長が表彰される。平成11年度沖縄県社会教育功労者賞表彰に平良研一公運審委員長が表彰される。
平成12年	2月12日	第14回公民館まつりが行われる{浦添市生涯学習まつりと同時開催(12日～14日の3日間)}。
	4月1日	小成善徳が八代目館長に発令
	12月1日	第30回沖縄県公民館研究大会(平良市)開催される。小成館長他1人参加公民館優良職員として、比嘉武宏城間地区公民館長、高宮城百合子(当山)棚原晴美(神森)自治公民館長が表彰される。
平成13年	2月17日	第15回公民館まつりが行われる(17日～18日の2日間)。
	2月18日	公民館利用者団体連絡協議会が、浦添市教育委員会から社会教育団体表彰を受ける。
	5月15日	第一回子どもの心を育む「おもちゃ展」を開催する(15日～25日の11日間)。
	9月28日	第31回沖縄県公民館研究大会(豊見城村)開催される。小成館長他1人参加公民館優良職員として、伊礼正二(ニュータウン)・津久井ルリ子(マチナトタウン)・与那城清(グリーンハイツ)自治公民館長が表彰される。
平成14年	2月9日	第16回公民館まつりが行われる(9日～10日の2日間)。
	5月24日	第2回子どもの心を育む「おもちゃ展」を開催する(10日間)。
	7月29日	浦添市自治公民館長連絡協議会結成総会・祝賀会が行わ

		れる。会長に大浜勝彦（茶山自治会長）が選出される。結成記念講演「浦添市のまちづくりと自治会自治公民館に期待する」講師：儀間光男市長
	10月30日	宮崎県三股町自治公民館連絡協議会と浦公連の交流研修情報交換会が行われる。
平成15年	1月23日	第54回九州地区公民館研究大会沖縄大会が那覇市・浦添市で開催される。第1分科会「生涯学習と公立公民館」パネラー：大湾智子（内間自治会）、第7分科会「自治公民館活動（都市型）」事例発表：大濱勝彦（茶山自治会）
	2月8日	第17回公民館まつりが行われる（8日～9日の2日間）。
	4月1日	大濱勝彦が九代目館長に発令
	5月14日	第3回子どもの心を育む「おもちゃ展」を開催する（14日～23日の10日間）。
	11月14日	第33回沖縄県公民館研究大会（名護大会）が開催される。第1分科会「新時代の公民館運営」事例発表：安里善好（浦添ニュータウン自治公民館）。公民館優良職員として、國吉眞安（仲西）・棚原正吉（西原1区）・玉城英吉（小湾）・我部政義（浦添ハイツ）・仲里眞昌（牧港）・比嘉清（経塚）自治公民館長が表彰される。
	11月27日	第15回全国生涯学習フェスティバル開催
平成16年	2月21日	第18回公民館まつりが行われる（21日～22日の2日間）。
	5月14日	第4回ちむドンドン「公民館子どもまつり」開催（14日～23日の10日間）
	7月13日	第1回「浦添市自治公民館運営の手引き」作成委員会発足 作成委員：小成善徳（公運審委員長）・宮里啓子（公運審）・安里善好（浦公連会長）・儀保博信（浦公連事務局長）・城間剛（宮城自治公民館長）・大濱館長
	9月29日	平成16年度優良自治公民館表彰に関する推薦選考委員会 ※本年度からスタート 選考委員：生涯学習振興課（課長、係長）、中央公民館（館長、係長）
	11月19日	第34回沖縄県公民館研究大会宜野湾市大会が開催される。第1分科会「新時代の公民館」事例発表：（中央公民館）あり。公民館優良職員として、知花秀雄（内間）自治公民館長が表彰される。優良自治公民館として、城間地区公民館、浦添ニュータウン自治公民館の2館が表彰される。
平成17年	2月26日	第19回公民館まつりが行われる（26日～27日の2日間）。第5回ちむドンドン「公民館子どもまつり」開催（11日～15日の5日間）
	5月11日	「浦添市の自治公民館運営の手引き」発刊
	6月6日	第56回九州地区公民館研究大会熊本大会に、大濱館長出席
	9月7日	第4分科会「成人教育と情報化社会」司会者：大濱館長
	9月30日	条例一部改正により、分館の設置を規定
	10月1日	中央公民館分館設置改修等始まる。
	11月25日	第35回沖縄県公民館研究大会石垣市大会が開催される。第2分科会「青少年健全育成における公民館の役割」事例発表：儀保博信（茶山自治公民館長）が「公民館を活用した総合学習・ボランティア等の取組」を紹介 公民館優良職員として、又吉武市（仲間自治公民館長）、城間剛（宮城）佐久川正廣（大平）・知名弘（緑ガ丘）自治公民館長が表彰される。優良自治公民館として、仲西自治公民館、茶山自治公民館が表彰される。
平成18年	2月11日	第20回公民館まつりが行われる（20周年記念「祝賀・交流会」）「公民館20年の足跡」記念パンフレット作成（A4版4ペ

		ージ)。
	4月 1日	宮里啓子が十代目館長に発令 中央公民館分館が開館する。主任主事が配置される。
	4月 7日	パソコンを新しく入れ替える。
	5月17日	第6回「チムどんどん子どもまつり」開催(17日～21日の5日間)
	11月17日	第36回沖縄県公民館研究大会那覇地区大会が開催 優良自治公民館として、安波茶自治公民館、沢岬自治公民館が受賞
平成19年	2月10日	第21回公民館まつりが行われる(10日～11日の2日間)。
	6月 2日	第7回「チムどんどん公民館子どもまつり」を分館で初開催
	11月22日	第37回沖縄県公民館研究大会宮古地区大会が開催される。優良自治公民館として港川、西原二区自治公民館が受賞。優良職員として、鈴木伸章(安波茶)・照屋ツル子(港川)・宮城富士雄(屋富祖)・當間清春(沢岬)・玉城英子(浦城)安里善好(浦添ニュータウン)・上原徹(安川)自治公民館長が表彰される。
平成20年	2月 9日	第22回公民館まつりが行われる(9日～10日の2日間)。
	10月28日	「優良公民館」として文部科学大臣表彰を受ける。
	11月23日	第1回「子どものまち～公民館子どもフェスタin港川中学校区・学園通り開催。
	11月28日	第38回沖縄県公民館研究大会南部地区大会(豊見城市中央公民館)が開催される。優良自治公民館として宮城、マチナトタウン自治公民館が受賞。優良公民館職員として、与那嶺房子(小湾会計)・又吉実(西原1区自)・儀保博信(茶山)・渡久川智子(マチナトタウン書記会計)、広田清輝(神森)が表彰される。
平成21年	2月21日	公民館設立30周年記念第23回公民館まつりが行われる(21日～22日の2日間)。
	4月 1日	渡久山ヤス子が十一代目館長に発令
	8月23日	第2回「分館子どもフェスタ～in 港川学園通り」を学園通り夏祭りと共同開催。
	8月27日	第60回九州地区公民館研究大会大分大会が開催。第7分科会「豊かな地域づくりを担う自治公民館活動のあり方」で、上原茂経塚自治公民館長が事例発表を行う。
	11月27日	第39回沖縄県公民館研究大会北部地区大会(名護中央公民館)が開催される。優良自治公民館として、前田・当山・仲間自治公民館が受賞。優良職員として外間順子(マチナトタウン)・大浜明美(浦添ニュータウン書記)が表彰される。
平成22年	2月20日	浦添市施行40周年記念 第24回公民館まつりが行われる(20日～21日の2日間)。
	8月29日	第3回「公民館分館子どもフェスタin港川学園通り」を開催 第61回九州地区公民館研究大会沖縄大会が県立武道館、那覇市立公民館6館、浦添市立中央公民館で開催される。
	11月11日	第7分科会「自治公民館活動(都市型)」で知念孝内間自治公民館長が事例発表を行う。 優良自治公民館として、屋富祖・浦城自治公民館が表彰され、優良職員として久貝玲子(神森書記会計)・稲江哲哉(城間)・古波蔵純子(城間書記)・与座吉男(城間事務)が表彰される。
平成23年	2月19日	浦添市教育の日関連事業 第25回公民館まつりが行われる(19日～20日の2日間)。
	4月 1日	長田隆子が十二代目館長に発令

	6月 7日	全公連通常総会に長田館長が県公連会長代理で出席。
	6月25日	第4回分館子どもフェスタを今年度より分館で開催。
	9月15日	沖縄県公民館研究大会八重山地区大会が開催される。第1分科会で「公民館と共に歩む公民館利用団体の活動」のテーマで利団協の照屋津年武事務局長が発表優良自治公民館として、浅野浦自治公民館、緑ヶ丘・経塚自治公民館が受賞。公民館優良職員として、島田勝男(仲西)・金城幸弘(前田)・佐久川正健(大平)・与儀徹(緑ヶ丘)・友利明夫(浅野浦)・嘉数正雄(沢岬自治公民館会計)が表彰される。
平成24年	2月18日	第26回公民館まつりが行われる(18日～19日の2日間)。
	3月22日	平成23年度那覇地区公民館連絡協議会研修会を浦添市立中央公民館で開催する。講演「戦後復興期の公民館をたどり、今後を考える」講師 平良研一氏
	3月27日	浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例及び条例施行規則、浦添市立公民館運営審議会規則の全部改正を行う(利用料金等の改正含む)。
	6月 6日	全国公民館連絡協議会総会に長田館長が出席する。
	8月 4日	第5回分館子どもフェスタを開催する(分館講座等の成果発表)。
	8月30日	第63回九州地区公民館研究大会熊本大会で松本淳自治公民館長(浦添グリーンハイツ)が家庭教育分科会で助言者を務める。
	11月12日	中央公民館で初の防火避難訓練を実施
	11月22日	沖縄県公民館研究大会中部大会が読谷村で開催される。優良自治公民館として、浦添ハイツ自治公民館、伊祖自治公民館が受賞。優良職員として、渡名喜弘子(伊祖書記会計)・西原小夜子(牧港自治会書記)・洲鎌一成(浦添ハイツ事務局)が表彰される。
	11月30日	平成24年度那覇地区公民館連絡協議会研修会を浦添市立中央公民館で開催される。講演「防災と公民館活動」講師 鈴木伸章 氏(前安波茶自治公民館長)シンポジウム「防災と公民館」を開催
平成25年	1月21日	中央公民館分館で初の防火避難訓練を実施
	2月23日	第27回公民館まつりが行われる(23日～24日の2日間)。
	4月 1日	新川純子が十三代目館長に発令
	6月27日	前田小学校3年生90名公民館施設見学
	7月 1日	文部科学省委託事業「公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム」受託
	7月 5日	本館火災訓練実施
	8月10日	第6回分館フェスタ開催
	8月26日	平成25年度第1回中央公民館運営審議会開催 インターンシップ・琉球大学生を受入れる。
	11月 2日	「東日本大震災の被災状況と現在(シンポジウム)」開催
	11月22日	第43回沖縄県公民館研究大会 宮古地区大会(浦添市から12名参加)優良自治公民館(広栄自治公民館:比嘉勝昭)優良職員(中央公民館:長田隆子、茶山自治公民館:名嘉山兼正)
	11月24日	港川中校区一斉防災訓練(津波等の避難訓練と避難受入訓練)実施
	12月 4日	第2回中央公民館運営審議会開催
平成26年	1月29日	総務省・文部科学省等所管国庫補助金会計実地検査
	2月12日	文部科学省委託事業成果報告会で発表(国立オリンピック青少年記念センターにて)新川館長、前津・佐久川社会教育

		指導員3名参加
	2月15日	第28回中央公民館まつり開催(15・16日の2日間)
	4月25日	利用者団体連絡協議会 総会
	5月16日	財務省・実地調査
	5月26日	第1回中央公民館運営審議会開催
	6月25日	前田小学校3年生78名 公民館施設見学
	8月 2日	第7回分館フェスタ開催
	8月13日	分館防火訓練実施
	9月 1日	琉球大学教育学部実習生4名受入れる。
	10月 3日	利団協主催 グラウンドゴルフ大会実施
	10月 6日	本館防火訓練実施
	11月21日	第44回沖縄県公民館研究大会南部地区大会(浦添市から24名参加)優良自治公民館 表彰(小湾自治公民館:玉城英吉)優良職員表彰(港川自治公民館:銘苅全郎、内間自治公民館:知念孝、当山自治公民館:神山高成)
平成27年	2月 3日	第2回公民館運営審議会開催
	2月21日	第29回公民館まつり開催(～22日)
	3月 2日	社会教育関係団体登録説明会実施
	3月25日	韓国水原市職員(20人、通訳1名)視察団を受入れる。
	5月14日	利用者団体連絡協議会 総会
	7月29日	第1回中央公民館運営審議会開催
	8月 8日	市制45周年記念第8回分館こどもフェスタ開催
	8月27日	九州地区公民館研究大会長崎大会第5分科会にて與那嶺光圀館長(浦添グリーンハイツ自治公民館)が発表
	9月18日	第2回中央公民館運営審議会開催
	10月30日	利団協主催 グラウンドゴルフ大会開催
	11月18日	公民館・老人福祉センター合同防火訓練実施
	11月20日	第45回沖縄県公民館研究大会北部大会(浦添市から24名参加)優良職員表彰(県営経塚団地自治公民館:志良堂勝子、西原自治公民館:棚原春男、港川崎原自治公民館:比嘉栄幸)
平成28年	2月20日	第30回公民館まつり開催(～21日)
	2月25日	社会教育関係団体登録及び公民館利用者団体登録説明会実施
	4月 1日	手登根仁美が十四代目館長に発令
	4月22日	利用者団体連絡協議会 総会
	6月 9日	全公連定時総会に手登根仁美が県公連会長代理で出席
	8月 1日	第1回中央公民館運営審議会開催
	8月 9日	琉球大学教育学部社会教育実習生2名を受け入れる(～19日)。
	8月13日	第9回分館こどもフェスタ開催
	9月 9日	利団協主催 親睦交流ボウリング大会開催
	11月25日	第46回沖縄県公民館研究大会中部大会(沖縄市民会館、浦添市から24名参加)優良職員表彰(経塚自治公民館:上原茂、浦添ニュータウン自治会:松田進)
	12月10日	第31回公民館まつり開催(～11日)
	12月14日	分館消防避難訓練実施
平成29年	1月18日	社会教育関係団体登録及び公民館利用者団体登録説明会実施
	3月 8日	平成28年度那覇地区公民館連絡協議会研修会を浦添市立中央公民館で開催フォーラム「地域と学校の連携・協働の推進に向けた公民館等の取組」與那嶺光圀 氏(浦添グリーンハイツ自治公民館長)、屋部文幹 氏(港川中学校スクールソーシャルワーカー)

		ャルワカー・元小中学校校長)、南信乃介 氏(那覇市繁多川公民館長)コーディネーター:大城喜江子 氏(浦添市立森の子児童センター館長・元那覇市繁多川公民館長)
	3月14日	第2回中央公民館運営審議会開催
	4月21日	利用者団体連絡協議会 総会
	5月29日	平成29年度那覇地区公民館連絡協議会理事会・総会(那覇市牧志駅前ほしぞら公民館で開催)
	6月12日	職員消防避難誘導訓練実施
	6月16日	沖縄県公民館連絡協議会総会・研修会(宜野湾市中央公民館)
	7月 5日	第1回中央公民館運営審議会開催
	8月18日	利団協主催サークル親睦ボウリング大会開催
	8月24日	第68回九州研究大会大分大会手登根館長参加(那覇地区公連より派遣)
	10月27日	第47回沖縄県公民館研究大会八重山大会(浦添市から19名参加)優良自治公民館表彰(牧港自治公民館:又吉隆、大平自治公民館:佐久川正健)優良職員表彰(勢理客自治公民館:具志堅全輝館長)
	11月 6日	第2回中央公民館運営審議会開催
	11月17日	平成29年度那覇地区公民館連絡協議会研修会開催(於:那覇市牧志駅前ほしぞら公民館「LGBTQなどの性の多様性について」)
平成30年	12月 2日	第32回中央公民館まつり開催(～3日)
	1月15日	社会教育関係団体登録及び公民館利用者団体登録説明会実施
	1月31日	第29回全国公民館セミナーへ中曽根敦主任主事参加
	2月18日	浦添市教育委員会表彰(社会教育功劳・個人)にて、浦添市立中央公民館社会教育関係団体・サークル「新弦会」代表渡名喜庸功氏が受賞
	4月10日	証紙発売機導入により公民館利用料を納付書方式から変更
	4月20日	利用者団体連絡協議会 総会
	5月30日	平成30年度那覇地区公民館連絡協議会理事会・総会開催(那覇市中央公民館)
	6月 6日	全公連定時総会に手登根仁美が県公連会長代理で出席
	6月19日	沖縄県公民館連絡協議会総会・研修会開催(南風原町立中央公民館)
	8月17日	利団協主催 サークル親睦ボウリング大会開催
	9月10日	第1回中央公民館運営審議会開催
	11月15日 ～16日	第69回九州地区公民館研究大会沖縄大会・第48回沖縄県公民館研究大会那覇大会(浦添市から33名参加)優良自治公民館表彰(当山ハイツ自治公民館:翁長幸枝、上野自治公民館:金城武信)優良職員表彰(牧港自治公民館:又吉隆、牧港ハイツ自治公民館:大城清勇)
平成31年	12月 1日	第33回中央公民館まつり開催(～2日)
	1月 7日	第2回中央公民館運営審議会開催
	1月15日 ・17日	社会教育関係団体登録及び公民館利用者団体登録説明会実施
	2月 9日	浦添市教育委員会表彰(社会教育功劳・団体)にて、浦添市立中央公民館推薦団体、港川自治公民館が受賞
	2月27日	中曽根敦係長、平成30年度社会教育主事講習(B)受講
	3月25日	第3回中央公民館運営審議会開催
	4月19日	利用者団体連絡協議会 総会
令和元年	5月28日	令和元年度那覇地区公民館連絡協議会理事会・総会開催

		(那覇市中央公民館)
		沖縄県公民館連絡協議会総会・研修会開催(豊見城市立中央公民館)
	8月 6日	第1回中央公民館運営審議会開催
	8月23日	利団協主催 サークル親睦パークゴルフ大会開催
	10月30日	令和元年度那覇地区公民館連絡協議会研修会・那覇地区社会教育委員連絡協議会研修会(52名参加)。事例発表「伝統文化の継承と地域づくりの実践」～歴史的文化の継承と心のふるさと作り～(浦添市勢理客自治公民館長 具志堅全輝)(勢理客自治公民館館長 具志堅全輝)
	11月 8日	第49回沖縄県公民館研究大会宮古大会(浦添市から10名参加)。実践発表:「伝統文化の継承と地域づくりの実践」～歴史的文化の継承と心のふるさと作り～(浦添市勢理客自治公民館長 具志堅全輝)。優良自治公民館表彰(浦西自治公民館)。優良職員表彰(前田自治公民館:石川仁孝、緑ヶ丘自治公民館:川畑政和、浦西自治公民館:宜野座富夫、陽迎橋自治公民館:知花聡、県営沢岬高層住宅自治公民館:新城洋子)
令和2年	11月30日	第34回中央公民館まつり開催(～12月1日)
	1月15日	社会教育関係団体(サークル)登録説明会実施
	2月 8日	浦添市教育委員会表彰(社会教育功労・団体)にて、浦添市立中央公民館推薦団体、牧港自治公民館、浦西自治公民館、大平自治公民館、当山ハイツ自治公民館、上野自治公民館が受賞
	2月26日	新型コロナウイルス感染拡大の為、臨時休館(～5月24日) ※3月23日のみ開館
	3月24日	第2回中央公民館運営審議会開催
	4月 1日	浦添市教育委員会組織再編により、公民館・図書館・社会教育係(教育総務課)が統合し、社会教育推進課となる。
	5月19日	分館にて新型コロナウイルス持続化給付金事業による外部貸出開始(～8月31日)
	5月25日	開館(新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用制限実施)※定員約半数・利用時間1時間 本館有料コピーサービス開始
	8月 3日	新型コロナウイルス感染拡大の為、臨時休館(～9月7日)
	9月 8日	開館(感染拡大防止のため健康管理チェックシートの提出義務化)
	10月23日	第50回沖縄県公民館研究大会南部大会(紙面 Web 開催)。優良自治公民館表彰(内間自治公民館、勢理客自治公民館、浦添市街地住宅自治公民館)
令和3年	10月26日	公民館屋根防水改修工事实施(～12月21日)
	1月21日	緊急事態宣言発令により、20時閉館(～3月1日)
	4月 1日	利用時間制限を解除(定員の制限は継続) 長濱京子が十五代目館長に発令
	4月12日	まん延防止等重点措置発令により、20時閉館(～5月31日)
	5月24日	緊急事態宣言発令により、臨時休館(～9月30日)
	5月28日	浦添市立中央公民館利用者団体連絡協議会総会(書面決議)
	7月 5日	中央公民館東面外壁雨漏り修繕実施(～7月19日)
	7月 6日	浦添市公共施設建築基準法第12条点検実施
	9月14日	中央公民館剥離調査実施(～10月29日)
	10月 1日	浦添市立中央公民館利用者団体連絡協議会解散 開館(新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用制限継続)

	11月17日	第1回中央公民館運営審議会開催
	11月19日	第51回沖縄県公民館研究大会北部大会開催。優良職員表彰(西原二区自治公民館:新垣有三、県営港川自治公民館:前田榮、仲間自治公民館:又吉武通、宮城自治公民館:知名忍)
	11月29日	新型コロナウイルス地方創生臨時交付金を活用し、本館・分館に顔認証 AI サーマルカメラ(非接触型体温計)導入
令和4年	12月28日	分館にて消防避難訓練実施
	2月1日	社会教育関係団体(サークル)登録説明会実施(書面開催)
	3月14日	第2回中央公民館運営審議会開催
	4月1日	施設包括管理を株式会社沖縄日本管財に委託
	5月18日	中央公民館本館外壁落下防止ネット設置工事实施(～6月30日)
	6月6日	浦添市の公共施設に関する施設利用者アンケート実施(～7月5日)
	10月12日	第1回中央公民館運営審議会開催
	11月18日	第52回沖縄県公民館研究大会中部大会開催。優良自治公民館表彰(安波茶自治公民館)。優良職員表彰(安波茶自治公民館長:比嘉政喜)。第二分科会「公民館と学校・家庭との連携のあり方」実践発表(陽迎橋自治公民館長・知花聡)
	12月3日	「公民館ミニまつり2022」開催(～12月4日)展示・サークル見学会実施
	12月8日	中央公民館における社会教育関係団体の見直し及び定期利用団体及び特定利用団体登録要綱策定
令和5年	12月28日	分館にて消防避難訓練実施
	1月6日	浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則第12条(使用料の減免)一部改正
	1月11日	「浦添市立中央公民館のサークル活動に関する基準」全部改正
	1月27日	令和5年度公民館利用団体登録及び室料負担について説明会実施
	2月11日	浦添市教育委員会表彰(安波茶自治会長:比嘉政喜)
	3月24日	新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインの改訂
	4月1日	定期利用団体より室料5割徴収開始
	5月29日	第1回中央公民館運営審議会開催する。「浦添市公共施設再配置プラン(浦添市立中央公民館等)」に関わる公民館運営事業について諮問
	6月13日	分館の閉館について教育委員会の意思決定がなされる。
	7月31日	第2回中央公民館運営審議会開催
	8月19日	「うらそえ社会教育いきいきまつり2023」舞台発表(小ホール)・ダンス交流会(市民交流室)をアイム・ユニバースでだこホールにて実施
	9月4日	第3回中央公民館運営審議会開催(答申)
	9月7日	分館閉館に伴う条例の一部改正(題名変更)
	11月17日	第53回沖縄県公民館研究大会八重山大会開催
令和6年	12月11日	令和6年度公民館利用団体登録説明会実施(新規対象)
	1月11日	分館の取壊しについて意思決定がなされる。
	1月29日	本館及び老人福祉センター合同消防訓練実施
	3月31日	分館閉館
	4月1日	分館公有財産区分変更する(教育財産から普通財産へ)。行財政改革推進課へ引継がれる。
	5月27日	沖縄高等特別支援学校より1名インターンシップ受入れ(～6

		月7日)
	8月 1日	「うらそえ社会教育いきいきまつり 2024」開催(～8月31日) 中央公民館内にて作品展示
	8月 7日	「うらそえ社会教育いきいきまつり 2024」薬膳弁当販売 中央公民館内にて約200食完売
	8月 21日	「うらそえ社会教育いきいきまつり 2024」活動紹介パネル展 浦添市立図書館にて放課後子ども教室の活動紹介
	8月 24日	「うらそえ社会教育いきいきまつり 2024」舞台発表・物販 アイム・ユニバースてだこホール小ホールにて実施
	8月 31日	「うらそえ社会教育いきいきまつり 2024」ダンス交流会 中央公民館にて社交ダンスサークル7団体の成果発表
	9月 4日	琉球大学より3名インターンシップ受入れ
	9月 9日	琉球大学より1名インターンシップ受入れ
	10月 18日	低濃度 PCB 含有検査実施(変圧器1基より検出・取替修繕)
	10月 24日	第1回中央公民館運営審議会開催
	11月 2日	中央公民館講座「やさしいキッズダンス」 市民協働とまなびのフェスタ浦添 2024 にて舞台発表
	11月 15日	第54回沖縄県公民館研究大会南部大会開催される。優良 自治公民館表彰(西原一区・二区自治公民館)。優良職員 表彰(西原一区自治公民館長:久松真)。第一分科会「学び の拠点としての公民館のあり方」実践発表(浦添市立中央公 民館社会教育指導員・安武美穂)
	11月 20日	中央公民館講座「防災講座」浦添市庁舎内にて市職員及 び自治会長を交えて避難所運営ゲーム(HUG)を実施
	12月 16日	令和7年度公民館利用団体登録説明会実施(新規対象)
令和7年	12月 25日	中央公民館及び老人福祉センター耐力度調査実施
	2月 8日	浦添市教育委員会表彰(社会教育功劳・団体)にて、浦添市 立中央公民館推薦、西原一区自治公民館長 久松真氏が受 賞
	2月 18日	「浦添市立中央公民館における『自治公民館講座』の実践」 が沖縄県公民館職員等研修会にてオンデマンド配信
	3月 12日	第2回中央公民館運営審議会開催
	3月 26日	中央公民館講座ニーズ調査「こんな講座あったらいいな アイ デア募集」実施(～4月31日)
	5月 31日	中央公民館の利用停止が決定
	7月 10日	公民館の利用停止についてサークル向けに説明会を実施
	7月 16日	第1回中央公民館運営審議会開催
	10月 14日	沖縄高等特別支援学校より1名インターンシップ受入れ(～1 0月24日)
	11月 1日	「市民協働とまなびのフェスタ浦添 2025」舞台発表・語学ブ ース・パソコン体験ブースをアイム・ユニバースてだこホールにて 実施
	11月 21日	第55回沖縄県公民館研究大会北部大会開催される。優良 職員表彰(当山自治公民館長:仲程八十一)、功労者表彰 (喜舎場宗正・知名正男)
	12月 6日	「ダンスのつどい」を実施する。中央公民館にて社交ダンスサ ークル6団体の成果発表
	12月 26日	本館及び老人福祉センター合同消防訓練実施 浦添市立中央公民館の設置及び管理に関する条例の一部を 改正する条例を公布
令和8年	1月 13日	「飛翔 公民館作品展示会」を実施する。中央公民館及び浦 添市役所市民ホールにて、書道や絵画サークル等6団体の成 果発表(～2月13日)

- 2月14日 浦添市教育委員会表彰(社会教育功劳・団体)にて、浦添市立中央公民館推薦、当山ハイツ自治会長 仲程八十一氏、喜舎場宗正氏、知名正男氏が受賞
- 2月16日 浦添市立中央公民館の設置及び管理に関する条例施行規則第5条(開館時間)、第12条(使用料の減免)、第14条(損害および賠償)一部改正
- 3月26日 第2回中央公民館運営審議会開催
- 4月 1日 中央公民館があかひらステーションビル1階に移転
石坂ひとみが十六代目館長に発令
浦添市公共施設予約システムを一部導入

浦添市立中央公民館 歴代館長

館長就任年月日		館長名	備 考
昭和54年	4.1	－ 西原 正次 教育長	4月のみ兼務
昭和54年	5.1	初代 玉城 幸男	
昭和59年	4.1	2代 島袋 盛英	
昭和63年	4.1	3代 比嘉 安正	
平成3年	4.1	4代 仲村 起徳	
平成6年	4.1	5代 金城 光正	
平成9年	4.1	6代 仲本 盛義	
平成9年	6.2	7代 親富祖善繁	
平成12年	4.1	8代 小成 善徳	
平成15年	4.1	9代 大濱 勝彦	
平成18年	4.1	10代 宮里 啓子	
平成21年	4.1	11代 渡久山ヤス子	
平成23年	4.1	12代 長田 隆子	
平成25年	4.1	13代 新川 純子	
平成28年	4.1	14代 手登根仁美	
令和3年	4.1	15代 長濱 京子	
令和8年	4.1	16代 石坂 ひとみ	

公民館関係表彰一覧

年月日		表彰大会	表彰者・公民館 ※敬省略	表彰内容
昭和62年	2.15	第34回 沖縄県社会教育研究大会	中央公民館	模範公民館
平成3年	12.26	第21回 沖縄県公民館研究大会	比嘉安正(前館長) 佐久川昌久(当山) 西原 清(安波茶) 仲西信貞(牧港) 名護英治(大平) 牧野茂英(広栄) 宮平 昇(小湾) 津波辰夫(城間) 上間仁義(沢岬)	公民館優良職員
平成4年	12.4	第22回 沖縄県公民館研究大会	惣慶朝市(屋富祖) 佐久川昌一(経塚) 銘苅嘉一(伊祖) 与那嶺勝彦(牧港ハイツ) 棚原義光(西原一区)	公民館優良職員
平成5年	11.1	文部科学大臣賞	中央公民館	優良公民館
	11.17	第23回 沖縄県公民館研究大会	山本英吉(緑が丘) 比嘉正雄(西原二区)	公民館優良職員
平成6年	10.3	第24回 沖縄県公民館研究大会	仲西一郎(宮城) 知念正栄(内間) 名嘉山皇一(浦西)	公民館優良職員
平成7年	12.1	第25回 沖縄県公民館研究大会	宮城幸盛(仲間) 松田一夫(浅の浦) 新里幸代(前田公務員宿舎)	公民館優良職員
平成8年	11.29	第26回 沖縄県公民館研究大会	仲村良政(安川団地)	公民館優良職員
平成9年	11.28	第27回 沖縄県公民館研究大会	金城光正(前館長)	公民館功労者
			具志堅全盛(勢理客)	公民館優良職員
平成10年	11.27	第28回 沖縄県公民館研究大会	當間盛淳(沢岬) 比嘉勝昭(広栄) 比嘉常正(西原一区) 仲間秀信(上野)	公民館優良職員
平成11年	11.26	第29回 沖縄県公民館研究大会	石川仁助(前田)	公民館優良職員
			平良研一(公運審委員長)	沖縄県 社会教育功労者

平成12年	12.1	第30回 沖縄県公民館研究大会	比嘉武宏(城間) 高宮城百合子(当山) 棚原晴美(神森)	公民館優良職員
平成13年	2.18	浦添市教育委員会表彰	公民館利用者団体連絡協議会	社会教育 団体表彰
	9.28	第31回 沖縄県公民館研究大会	伊礼正二(ニュータウン) 津久井ルリ子(マチナトタウン) 与那城清(グリーンハイツ)	公民館優良職員
平成14年	11.14	第33回 沖縄県公民館研究大会	國吉眞安(仲西) 棚原正吉(西原1区) 玉城英吉(小湾) 我部政義(浦添ハイツ) 仲里真昌(牧港) 比嘉清(経塚)	公民館優良職員
平成16年	11.19	第34回 沖縄県公民館研究大会	知花秀雄(内間)	公民館優良職員
			城間地区公民館 浦添ニュータウン自治公民館	優良自治公民館
平成17年	11.25	第35回 沖縄県公民館研究大会	又吉武市(仲間) 城間 剛(宮城) 佐久川正廣(大平) 知名 弘(緑ガ丘)	公民館優良職員
平成18年	11.17	第36回 沖縄県公民館研究大会	安波茶自治公民館 沢岬自治公民館	優良自治公民館
平成19年	11.22	第37回 沖縄県公民館研究大会	港川自治公民館 西原二区自治公民館	優良自治公民館
			鈴木伸章(安波茶) 照屋ツル子(港川) 宮城富士雄(屋富祖) 當間清春(沢岬) 玉城英子(浦城) 安里善好(浦添ニュータウン) 上原 徹(安川)	公民館優良職員
平成20年	10.28	文部科学大臣賞	中央公民館	優良公民館
	11.28	第38回 沖縄県公民館研究大会	宮城自治公民館 マチナトタウン自治公民館	優良自治公民館
			与那嶺房子(小湾) 又吉 実(西原1区自) 儀保博信(茶山) 渡久川智子(マチナトタウン) 広田清輝(神森)	公民館優良職員

平成21年	11.27	第39回 沖縄県公民館研究大会	前田自治公民館 当山自治公民館 仲間自治公民館	優良自治公民館
			外間順子(マチナトタウン) 大浜明美(浦添ニュータウン)	公民館優良職員
平成22年	11.11	第61回 九州地区公民館研究大会 沖縄大会	屋富祖自治公民館 浦城自治公民館	優良自治公民館
			久貝玲子(神森) 稲江哲哉(城間) 古波蔵純子(城間) 与座吉男(城間)	公民館優良職員
平成23年	9.15	第41回 沖縄県公民館研究大会	浅野浦自治公民館 緑ヶ丘自治公民館 経塚自治公民館	優良自治公民館
			島田勝男(仲西) 金城幸弘(前田) 佐久川正健(大平) 与儀徹(緑ヶ丘) 友利明夫(浅野浦) 嘉数正雄(沢岬)	公民館優良職員
平成24年	11.22	第42回 沖縄県公民館研究大会	浦添ハイツ自治公民館 伊祖自治公民館	優良自治公民館
			渡名喜弘子(伊祖) 西原小夜子(牧港) 洲鎌一成(浦添ハイツ)	公民館優良職員
平成25年	11.22	第43回 沖縄県公民館研究大会	広栄自治公民館	優良自治公民館
			長田隆子(館長) 名嘉山兼正(茶山)	公民館優良職員
平成26年	11.21	第44回 沖縄県公民館研究大会	小湾自治公民館	優良自治公民館
			銘苅全郎(港川) 知念 孝(内間)	公民館優良職員
平成27年	11.20	第45回 沖縄県公民館研究大会	志良堂勝子(県営経塚団地) 棚原春男(西原) 比嘉栄幸(港川崎原)	公民館優良職員
平成28年	11.25	第46回 沖縄県公民館研究大会	上原茂(経塚) 松田進(浦添ニュータウン)	公民館優良職員
平成29年	10.27	第47回 沖縄県公民館研究大会	牧港自治公民館 大平自治公民館	優良自治公民館
			具志堅全輝(勢理客)	公民館優良職員

平成30年	11.15 ～16	第48回 沖縄県公民館研究大会	当山ハイツ自治公民館 上野自治公民館	優良自治公民館
			又吉 隆(牧港) 大城清勇(牧港ハイツ)	公民館優良職員
平成31年	2.9	浦添市教育委員会表彰	港川自治公民館	社会教育功劳
令和元年	11.8	第49回 沖縄県公民館研究大会	浦西自治公民館	優良自治公民館
			石川仁孝(前田) 川畑政和(緑ヶ丘) 宜野座富夫(浦西) 知花 聡(陽迎橋) 新城洋子(県営沢岬高層住宅)	公民館優良職員
令和2年	2.8	浦添市教育委員会表彰	牧港自治公民館 浦西自治公民館 大平自治公民館 当山ハイツ自治公民館 上野自治公民館	社会教育功劳
	10.23	第50回 沖縄県公民館研究大会	内間自治公民館 勢理客自治公民館 浦添市街地住宅自治公民館	優良自治公民館
			嘉数正雄(沢岬) 金城武信(上野)	公民館優良職員
令和3年	11.19	第51回 沖縄県公民館研究大会	新垣有三 (西原二区) 前田 榮 (県営港川) 又吉武通 (仲間) 知名 忍 (宮城)	公民館優良職員
令和4年	11.18	第52回 沖縄県公民館研究大会	安波茶自治公民館	優良自治公民館
令和5年	2.11	浦添市教育委員会表彰	比嘉政喜 (安波茶)	社会教育功劳
令和6年	11.15	第54回 沖縄県公民館研究大会	西原自治公民館(一区・二区)	優良自治公民館
			久松 真(西原一区)	公民館優良職員
令和7年	2.8	浦添市教育委員会表彰	久松 真(西原一区)	社会教育功劳
	11.21	第55回 沖縄県公民館研究大会	仲程八十一(当山ハイツ)	公民館優良職員
			喜舎場宗正 知名正男	公民館功労者
令和8年	2.14	浦添市教育委員会表彰	仲程八十一(当山ハイツ) 喜舎場宗正 知名正男	社会教育功劳

学習の成果発表 過去実績一覧

実施年月日		内 容	場 所
昭和62年	3.14～3.15	第1回公民館まつり	中央公民館
昭和63年	3.5～3.6	第2回公民館まつり	中央公民館
平成元年	3.18～3.19	第3回公民館まつり	中央公民館
平成2年	3.3～3.4	第4回公民館まつり	中央公民館
平成3年	3.2～3.24	第5回公民館まつり	中央公民館
平成4年	2.22～2.23	第6回公民館まつり	中央公民館
平成5年	2.19～2.21	第7回公民館まつり	中央公民館
平成6年	2.18～2.20	第8回公民館まつり	中央公民館
平成7年	2.10～2.12	第9回公民館まつり	中央公民館
平成8年	2.9～2.11	第10回公民館まつり	中央公民館
平成9年	2.8～2.10	第11回公民館まつり	中央公民館
平成10年	2.14～2.16	第12回公民館まつり	中央公民館
平成11年	2.13～2.15	第13回公民館まつり	中央公民館
平成12年	2.12～2.14	第14回公民館まつり ※まなびフェスタ同時開催	中央公民館
平成13年	2.17～2.18	第15回公民館まつり	中央公民館
平成14年	2.9～2.10	第16回公民館まつり	中央公民館
平成15年	2.8～2.9	第17回公民館まつり	中央公民館
平成16年	2.21～2.22	第18回公民館まつり	中央公民館
平成17年	2.26～2.27	第19回公民館まつり	中央公民館
平成18年	2.11	第20回公民館まつり	中央公民館
平成19年	2.10～2.11	第21回公民館まつり	中央公民館
平成20年	2.9～2.10	第22回公民館まつり	中央公民館
	11.23	第1回子どものまち～公民館子どもフェスタin港川中学校区・学園通り	中央公民館分館
平成21年	2.21～2.22	第23回公民館まつり	中央公民館
平成21年	8.23	第2回分館子どもフェスタin港川学園通り	中央公民館分館
平成22年	2.20～2.21	第24回公民館まつり	中央公民館

平成22年	8.29	第3回分館子どもフェスタin港川学園通り	中央公民館分館
平成23年	2.19～2.20	第25回公民館まつり 「集へまなびすと！11万の太陽パワー」	中央公民館
	6.25	第4回分館子どもフェスタ	中央公民館分館
平成24年	2.18～2.19	第26回公民館まつり 「集へまなびすと！11万の太陽パワー」	中央公民館
	8.4	第5回分館子どもフェスタ	中央公民館分館
平成25年	2.23～2.24	第27回公民館まつり 「遊ぼうよ 学ぼうよ みんなで広げる生涯学習」	中央公民館
	8.10	第6回分館フェスタ	中央公民館分館
平成26年	2.15～2.16	第28回公民館まつり 「わくわくどきどき夢と地域をつなぐ生涯学習」	中央公民館
	8.2	第7回分館フェスタ	中央公民館分館
平成27年	2.21～2.22	第29回公民館まつり 「わくわくどきどき夢と地域をつなぐ生涯学習」	中央公民館
	8.8	市制45周年記念 第8回分館子どもフェスタ	中央公民館分館
平成28年	2.20～2.21	第30回公民館まつり 「30年の歩み あらたな未来へつなぐ」	中央公民館
	8.13	第9回分館子どもフェスタ	中央公民館分館
	12.10～12.11	第31回公民館まつり うちすりてい あしばな まなばな 公民館まつり	中央公民館
平成29年	12.2～12.3	第32回公民館まつり うちすりてい あしばな まなばな 公民館まつり	中央公民館
平成30年	12.1～12.2	第33回公民館まつり うちすりてい あしばな まなばな 公民館まつり	中央公民館
令和元年	11.30～12.1	第34回公民館まつり 公民館にみんなアツまる、アツくなる	中央公民館
令和2年	新型コロナウイルス感染拡大のため中止		
令和3年	新型コロナウイルス感染拡大のため中止		
令和4年	12.3～12.4	公民館ミニまつり 2022 展示・サークル体験	中央公民館
令和5年	8.19	うらそえ社会教育いきいきまつり 2023 舞台発表・ダンス交流会	てだこホール
令和6年	8.1～8.31	うらそえ社会教育いきいきまつり 2024 展示(8.1～8.31) 薬膳弁当販売(8.7) 舞台発表・物販(8.24) ダンス交流会(8.31)	中央公民館 てだこホール
	11.2	市民協働とまなびのフェスタ浦添 2024 中央公民館講座「やさしいキッズダンス」	ハーモニー センター

令和 7 年	11.1	市民協働とまなびのフェスタ浦添 2025 舞台発表・体験ブース・作品展示	てだこホール
	12.6	社交ダンスの集い	中央公民館
令和 8 年	1.13～1.23	飛翔 公民館作品展示会	浦添市役所 市民ホール
	1.13～2.13		中央公民館

8

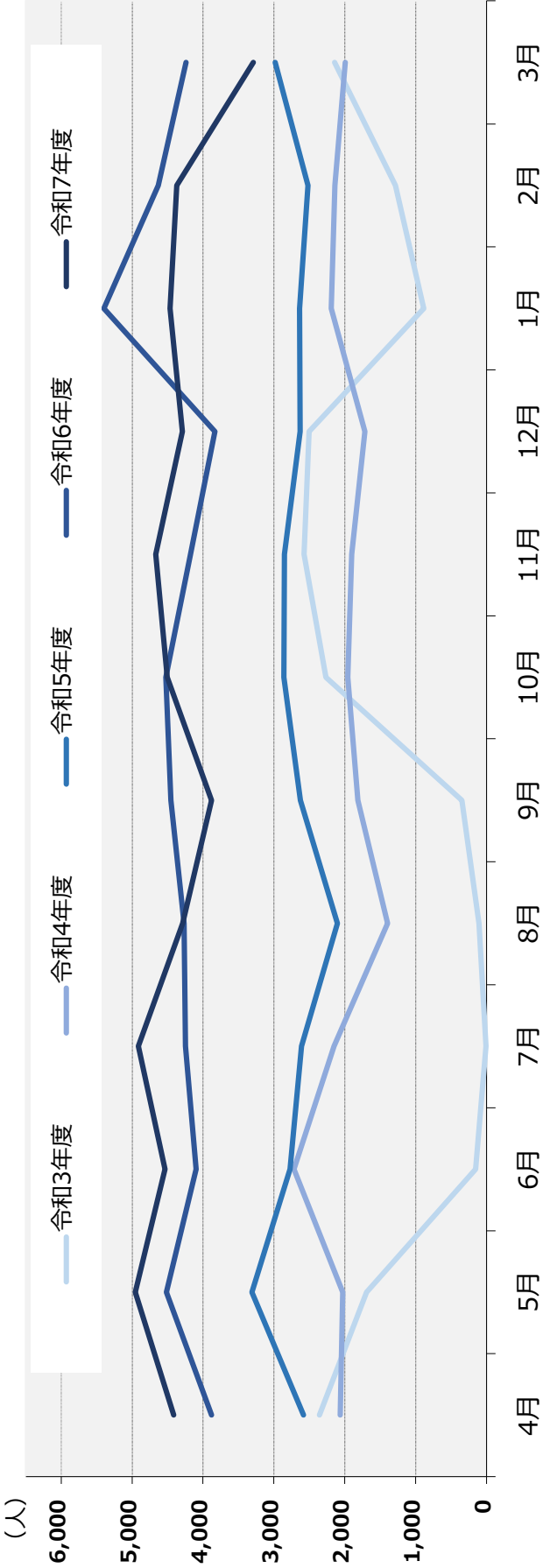
資 料

3. 令和7年度 部屋別利用状況一覧表

(人)

	第1研修室	第2研修室	視聴覚室	パソコン室	料理実習室	ホール	幼児室	和室	第3研修室	合 計
4月	997	470	587	290	79	1,603	239	90	59	4,414
5月	995	523	475	354	87	2,048	288	111	75	4,956
6月	1,054	445	578	332	103	1,580	285	116	44	4,537
7月	936	530	544	304	141	2,022	324	90	19	4,910
8月	926	437	591	328	135	1,438	289	110	34	4,288
9月	847	385	377	281	70	1,622	177	95	25	3,879
10月	1,218	392	491	311	88	1,658	234	101	13	4,506
11月	1,084	350	658	346	132	1,676	272	120	30	4,668
12月	958	243	478	334	58	1,786	299	80	55	4,291
1月	923	323	605	338	218	1,604	245	131	78	4,465
2月	962	292	512	319	91	1,802	232	101	60	4,371
3月	577	147	371	204	35	1,439	224	166	127	3,290
合計	11,477	4,537	6,267	3,741	1,237	20,278	3,108	1,311	619	52,575

過去5年間の中央公民館利用者数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
令和3年度	2,357	1,690	154	7	104	347	2,266	2,576	2,504	885	1,284	2,144	16,318
令和4年度	2,063	2,029	2,716	2,149	1,398	1,814	1,956	1,902	1,717	2,189	2,137	1,992	24,062
令和5年度	2,581	3,312	2,771	2,611	2,103	2,625	2,858	2,849	2,628	2,635	2,518	2,982	32,473
令和6年度	3,881	4,515	4,097	4,245	4,268	4,454	4,524	4,175	3,834	5,401	4,629	4,240	52,263
令和7年度	4,414	4,956	4,537	4,910	4,288	3,879	4,506	4,668	4,291	4,465	4,371	3,290	52,575
	※												新型コロナウイルス感染拡大による臨時休館

施設稼働率・利用者数 過去10年統計（H28～R7年度）

◎ 稼働率

稼働率＝利用時間/年間利用可能時間にて算出

施設名	※1 平成28年度	※2 平成29年度	※3 平成30年度	※4 令和元年度	※5 令和2年度	※6 令和3年度	※7 令和4年度	※8 令和5年度	※9 令和6年度	※10 令和7年度
ホー ル	51.6%	45.7%	43.0%	44.0%	29.7%	27.1%	26.6%	22.0%	47.2%	49.3%
第1研修室	45.1%	42.8%	40.6%	37.8%	20.5%	27.1%	32.9%	30.1%	42.2%	40.8%
第2研修室	43.3%	41.0%	40.3%	43.2%	18.5%	20.1%	24.6%	28.7%	37.7%	32.9%
第3研修室	10.9%	11.0%	10.1%	7.3%	2.2%	3.0%	8.7%	3.1%	5.8%	7.1%
視聴覚室	40.8%	38.8%	39.0%	42.1%	18.2%	25.3%	26.7%	22.2%	26.9%	28.8%
和室	23.1%	22.6%	23.2%	20.1%	4.5%	6.9%	2.6%	7.9%	10.5%	11.5%
幼児室	20.5%	21.2%	28.3%	25.8%	11.9%	10.8%	11.2%	16.0%	21.5%	26.8%
パソコン室	21.6%	15.9%	16.9%	14.4%	4.1%	6.5%	9.8%	17.1%	24.6%	23.2%
料理実習室	12.2%	10.4%	11.5%	10.6%	7.6%	6.3%	5.4%	5.9%	9.8%	8.4%
全体	29.9%	27.7%	28.1%	27.2%	13.0%	14.8%	16.5%	17.0%	25.1%	25.4%

※1 公民館利用者の制限を緩和、市外利用者も可能となる

※2 稼働率の算出方法を利用回数/年間利用可能回数から現行の時間算出に見直し

※3 コロナ禍による緊急事態宣言等におけるの休館及び時間短縮（閉館期間及び時短は除算）、令和元年度 2月26日～3月31日（3月23日のみ開館）

※4 令和2年度 4月1日～5月24日（閉館） 8月3日～9月7日（閉館） 1月21日～2月28日（1時間短縮20時閉館）

※5 令和3年度 5月25日～9月30日（臨時閉館）10月（1時間時短/20時閉館）

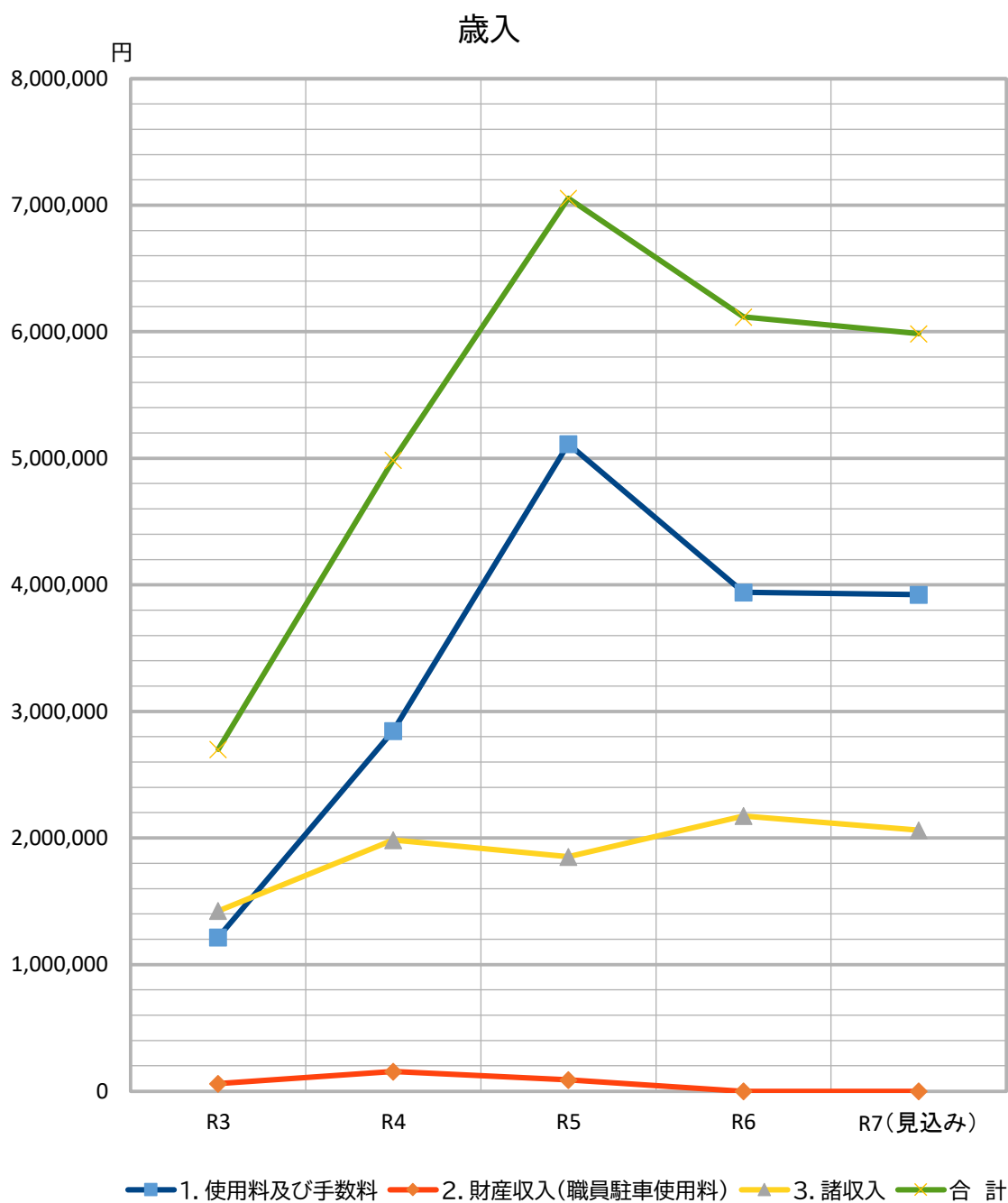
※6 令和6年3月31日 分館閉館

※7 令和8年3月31日 本館閉館し、あかひらステーションビル1階へ移転

◎ 利用者数

施設名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
ホ一ル	39,422人	25,497人	23,430人	19,942人	10,937人	5,532人	9,852人	9,717人	20,677人	20,278人
第1研修室	15,205人	11,876人	11,741人	9,730人	6,234人	3,385人	1,196人	1,812人	11,377人	11,477人
第2研修室	9,852人	8,606人	7,845人	6,604人	3,610人	1,793人	3,481人	4,786人	5,521人	4,537人
第3研修室	2,000人	1,154人	1,007人	743人	282人	216人	282人	358人	512人	619人
視聴覚室	8,655人	8,567人	8,706人	8,393人	777人	2,747人	4,831人	4,448人	5,507人	6,267人
和室	4,313人	3,351人	3,735人	2,807人	4,488人	529人	991人	884人	1,218人	1,311人
幼児室	4,689人	3,238人	4,238人	3,813人	1,902人	798人	1,196人	1,812人	2,648人	3,108人
パソコン室	4,140人	3,039人	3,146人	2,255人	850人	687人	1,492人	2,458人	3,544人	3,741人
料理実習室	4,820人	1,837人	1,983人	1,485人	764人	631人	741人	773人	1,259人	1,237人
全体	93,096人	67,165人	65,831人	55,772人	29,844人	16,318人	24,062人	27,048人	52,263人	52,575人

VII-2 中央公民館決算の推移 | R3～R7年度

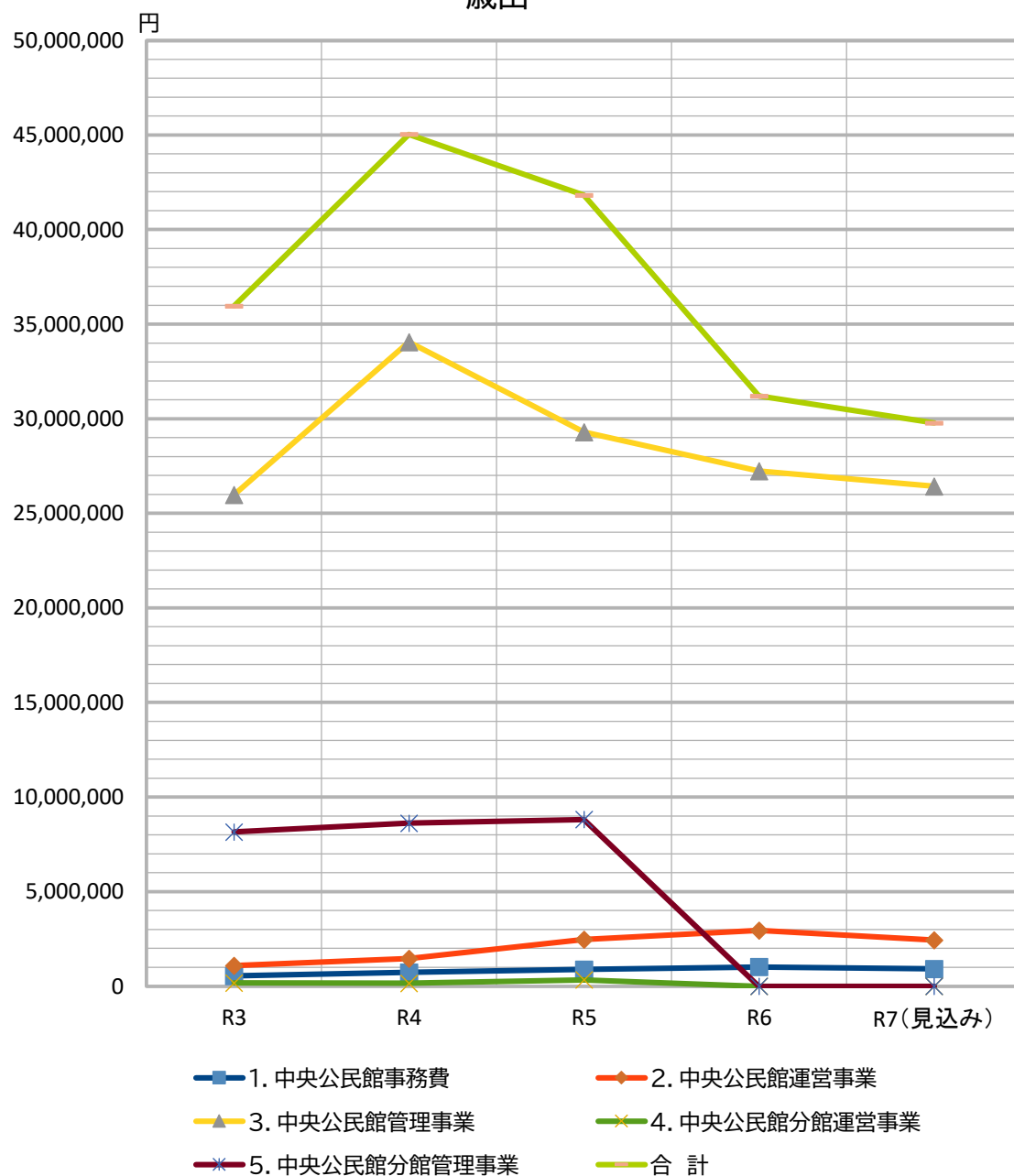


歳入	R3	R4	R5	R6	R7(見込み)
1. 使用料及び手数料	1,215,992	2,846,020	5,114,084	3,941,199	3,922,556
2. 財産収入(職員駐車使用料)	60,000	156,000	88,000	0	0
3. 諸収入	1,425,241	1,983,624	1,852,899	2,174,861	2,062,420
合 計	2,701,233	4,985,644	7,054,983	6,116,060	5,984,976

※R5年度末で分館閉館。

※社会教育関係団体の位置づけについて見直しを行い、R5利用分より施設使用料徴収対象を拡大。

歳出

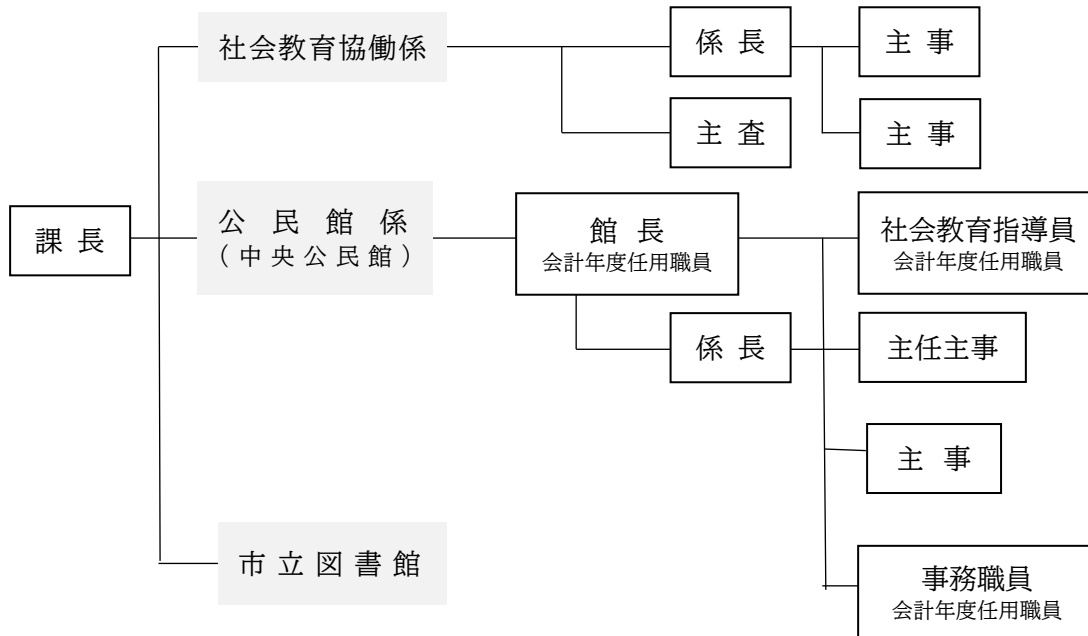


(円)					
歳 出	R3	R4	R5	R6	R7(見込み)
1. 中央公民館事務費	552,187	739,974	895,912	1,024,003	912,801
2. 中央公民館運営事業	1,094,531	1,458,990	2,474,347	2,951,042	2,443,235
3. 中央公民館管理事業	25,983,738	34,061,327	29,292,599	27,232,572	26,426,666
4. 中央公民館分館運営事業	173,646	162,098	340,588	0	0
5. 中央公民館分館管理事業	8,164,399	8,616,737	8,816,835	0	0
合 計	35,968,501	45,039,126	41,820,281	31,207,617	29,782,702

※R5年度末で分館閉館。普通財産として行政改革推進課(R7年度より財産管理課)へ移管。

令和8年度組織図 公民館係 事務分掌

□ 組織図



□ 事務分掌

公民館館長(会計年度任用職員)

- 1 公民館運営方針及び重点目標に関する事
- 2 浦添市立中央公民館運営審議会に関する事(正)
- 3 公民館が行う各種事業(運営事業の統括)に関する事
- 4 社会教育指導員への助言指導に関する事
- 5 浦添市自治公民館長連絡協議会に関する事 ※顧問
- 6 那覇地区公民館連絡協議会に関する事 ※令和7～8年度 副会長
- 7 沖縄県公民館連絡協議会に関する事 ※令和7～8年度 副会長
- 8 業務運営会議に関する事
- 9 公民館が行う各種の事業に係る渉外業務

公民館係長(公民館主事)

- 1 係の統括(予算管理含む)に関する事
- 2 公民館運営事業の企画立案に関する事
- 3 公民館利用者及び登録団体への指導助言に関する事
- 4 館長・社会教育指導員の業務に関する事
- 5 沖縄県公民館連絡協議会(ワーキングチーム)に関する事(正)
- 6 フロアの防火管理に関する事
- 7 中央公民館施設及び事業の管理運営との方針に関する事
- 8 浦添市立中央公民館運営審議会に関する事(副)
- 9 その他、課長の指示する業務

10 施設の方針(機能を含めた集約化または建替え)に関すること

公民館係主任主事

- 1 補助金団体(浦添市自治公民館長連絡協議会)に関すること
- 2 公民館館報の発行に関すること(正)
- 3 公民館フェスタに関すること(正)
- 4 行事の共催・後援に関すること
- 5 沖縄県公民館連絡協議会(ワーキングチーム)に関すること(副)
- 6 公民館の使用許可に関すること(副)
- 7 窓口業務に関すること(副)
- 8 その他、係長の指示する業務

公民館係主事

- 1 係の庶務に関すること
- 2 公民館の調査報告に関すること
- 3 会計年度職員の任用及び服務等に関すること
- 4 契約事務に関すること
- 5 公民館の使用許可に関すること(正)
- 6 窓口業務に関すること(正)
- 7 その他、係長の指示する業務

公民館係事務職員(会計年度任用職員)

- 1 窓口業務に関すること
- 2 庶務の補助業務
- 3 公民館フェスタに関すること(副)
- 4 公民館の使用許可に関する補助業務
- 5 公民館館報の発行に関すること(副)
- 6 その他、係長の指示する業務

社会教育指導員(会計年度任用職員)

- 1 中央公民館講座の企画及び運営に関すること
- 2 自治公民館との連携及び自治公民館講座に関すること
- 3 公民館フェスタに関すること
- 4 窓口業務に関すること
- 5 中央公民館団体登録及び活動支援に関すること
- 6 市民の学習相談・情報提供に関すること
- 7 学校及び地域学校協働活動推進員との連携に関すること
- 8 公民館広報誌『いきいき』に関すること
- 9 ホームページ、Logo フォームに関すること
- 10 市広報『広報うらそえ』に関すること
- 11 アンケートの集計・分析に関すること
- 12 自主企画まなび助成制度に関すること

- 13 沖縄県社会教育指導員連絡協議会に関する事
- 14 那覇地区社会教育指導員連絡協議会に関する事
- 15 その他、館長・係長の指示する業務

社会教育法「第五章 公民館」

（目的）

第二十条 公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。

（公民館の設置者）

第二十一条 公民館は、市町村が設置する。

- 2 前項の場合を除くほか、公民館は、公民館の設置を目的とする一般社団法人又は一般財団法人（以下この章において「法人」という。）でなければ設置することができない。
- 3 公民館の事業の運営上必要があるときは、公民館に分館を設けることができる。

（公民館の事業）

第二十二条 公民館は、第二十条の目的達成のために、おおむね、左の事業を行う。但し、この法律及び他の法令によつて禁じられたものは、この限りでない。

- 一 定期講座を開設すること。
- 二 討論会、講習会、講演会、実習会、展示会等を開催すること。
- 三 図書、記録、模型、資料等を備え、その利用を図ること。
- 四 体育、レクリエーション等に関する集会を開催すること。
- 五 各種の団体、機関等の連絡を図ること。
- 六 その施設を住民の集会その他の公共的利用に供すること。

（公民館の運営方針）

第二十三条 公民館は、次の行為を行つてはならない。

- 一 もつぱら営利を目的として事業を行い、特定の営利事務に公民館の名称を利用させその他営利事業を援助すること。
- 二 特定の政党の利害に関する事業を行い、又は公私の選挙に関し、特定の候補者を支持すること。
- 2 市町村の設置する公民館は、特定の宗教を支持し、又は特定の教派、宗派若しくは教団を支援してはならない。

（公民館の基準）

第二十三条の二 文部科学大臣は、公民館の健全な発達を図るために、公民館の設置及び運営上必要な基準を定めるものとする。

- 2 文部科学大臣及び都道府県の教育委員会は、市町村の設置する公民館が前項の基準に従つて設置され及び運営されるように、当該市町村に対し、指導、助言その他の援助に努めるものとする。

（公民館の設置）

第二十四条 市町村が公民館を設置しようとするときは、条例で、公民館の設置及び管理に関する事項を定めなければならない。

第二十五条及び第二十六条 削除

(公民館の職員)

第二十七条 公民館に館長を置き、主事その他必要な職員を置くことができる。

2 館長は、公民館の行う各種の事業の企画実施その他必要な事務を行い、所属職員を監督する。

3 主事は、館長の命を受け、公民館の事業の実施にあたる。

第二十八条 市町村の設置する公民館の館長、主事その他必要な職員は、教育長の推薦により、当該市町村の教育委員会が任命する。

(公民館の職員の研修)

第二十八条の二 第九条の六の規定は、公民館の職員の研修について準用する。

(公民館運営審議会)

第二十九条 公民館に公民館運営審議会を置くことができる。

2 公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館における各種の事業の企画実施につき調査審議するものとする。

第三十条 市町村の設置する公民館にあつては、公民館運営審議会の委員は、当該市町村の教育委員会が委嘱する。

2 前項の公民館運営審議会の委員の委嘱の基準、定数及び任期その他当該公民館運営審議会に関し必要な事項は、当該市町村の条例で定める。この場合において、委員の委嘱の基準については、文部科学省令で定める基準を参酌するものとする。

第三十一条 法人の設置する公民館に公民館運営審議会を置く場合にあつては、その委員は、当該法人の役員をもつて充てるものとする。

(運営の状況に関する評価等)

第三十二条 公民館は、当該公民館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき公民館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

(運営の状況に関する情報の提供)

第三十二条の二 公民館は、当該公民館の事業に関する地域住民その他の関係者の理解を深めるとともに、これらの者との連携及び協力の推進に資するため、当該公民館の運営の状況に関する情報を積極的に提供するよう努めなければならない。

(基金)

第三十三条 公民館を設置する市町村にあつては、公民館の維持運営のために、地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第二百四十一条の基金を設けることができる。

(特別会計)

第三十四条 公民館を設置する市町村にあつては、公民館の維持運営のために、特別会計を設けることができる。

(公民館の補助)

第三十五条 国は、公民館を設置する市町村に対し、予算の範囲内において、公民館の施設、設備に要する経費その他必要な経費の一部を補助することができる。

2 前項の補助金の交付に関し必要な事項は、政令で定める。

第三十六条 削除

第三十七条 都道府県が地方自治法第二百三十二条の二の規定により、公民館の運営に要する経費を補助する場合において、文部科学大臣は、政令の定めるところにより、その補助金の額、補助の比率、補助の方法その他必要な事項につき報告を求めることができる。

第三十八条 国庫の補助を受けた市町村は、左に掲げる場合においては、その受けた補助金を国庫に返還しなければならない。

一 公民館がこの法律若しくはこの法律に基く命令又はこれらに基いてした処分に違反したとき。

二 公民館がその事業の全部若しくは一部を廃止し、又は第二十条に掲げる目的以外の用途に利用されるようになったとき。

三 補助金交付の条件に違反したとき。

四 虚偽の方法で補助金の交付を受けたとき。

(法人の設置する公民館の指導)

第三十九条 文部科学大臣及び都道府県教育委員会は、法人の設置する公民館の運営その他に関し、その求めに応じて、必要な指導及び助言を与えることができる。

(公民館の事業又は行為の停止)

第四十条 公民館が第二十三条の規定に違反する行為を行つたときは、市町村の設置する公民館にあつては当該市町村の教育委員会、法人の設置する公民館にあつては都道府県の教育委員会は、その事業又は行為の停止を命ずることができる。

2 前項の規定による法人の設置する公民館の事業又は行為の停止命令に関し必要な事項は、都道府県の条例で定めることができる。

(罰則)

第四十一条 前条第一項の規定による公民館の事業又は行為の停止命令に違反する行為をした者は、一年以下の拘禁刑又は三万円以下の罰金に処する。

(公民館類似施設)

第四十二条 公民館に類似する施設は、何人もこれを設置することができる。

2 前項の施設の運営その他に関しては、第三十九条の規定を準用する。

浦添市立中央公民館の設置及び管理に関する条例

平成24年3月27日

条例第12号

改正 平成27年12月24日条例第45号

令和5年9月28日条例第28号

(題名改称)

令和7年12月26日条例第37号

浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例（昭和53年12月25日条例第31号）の全部を改正する。

(趣旨)

第1条 この条例は、社会教育法（昭和24年法律第207号。以下「法」という。）第24条及び第30条第2項の規定に基づき、公民館の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 法第20条の目的を達成するため、本市に公民館を設置する。

2 公民館の名称及び位置は、次のとおりとする。

(1) 名称 浦添市立中央公民館

(2) 位置 浦添市仲間一丁目1番2号あかひらステーションビル1階

(令5条例28・令7条例37・一部改正)

(事業)

第3条 浦添市立中央公民館（以下「公民館」という。）は、市民に対して法第22条に掲げる事業のほか、浦添市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が必要と認める事業を行う。

(令5条例28・一部改正)

(職員)

第4条 公民館に法第27条第1項に規定する館長を置く。

2 公民館に、主事その他必要な職員を置くことができる。

(令5条例28・一部改正)

(入館の制限等)

第5条 教育委員会は、次の各号のいずれかに該当する者に対しては、入館を拒み、又は退館を命ずることができる。

(1) 他人に危害を加え、又は迷惑を及ぼすおそれがある者

(2) 施設又は設備を損傷するおそれがある者

(3) その他公民館の管理上必要な指示に従わない者

(公民館を利用できる者)

第6条 公民館を利用できる者は、市内に在住し、在勤し、若しくは在学する者又は市内に事務所を有する法人その他の団体とする。ただし、教育委員会が特に必要と認めるときは、この限りでない。

(平27条例45・一部改正)

(利用許可)

第7条 公民館を利用しようとする者は、教育委員会の許可（以下「利用許可」という。）を受けなければならない。利用許可を受けた事項を変更しようとするときも、同様とする。

2 教育委員会は、利用許可をする場合においては、管理上必要な条件を付することができる。

(令5条例28・一部改正)

(利用許可の制限)

第8条 教育委員会は、公民館を利用しようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可をしない。

(1) 公の秩序を害し、善良な風俗を乱すおそれがあると認めるとき。

(2) 集団的に又は常習的に暴力的不法行為等（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第1号の暴力的不法行為等をいう。）を行うおそれがある組織の利益になると認めるとき。

- (3) 法第23条の規定に触れるとき。
- (4) 公民館の管理運営上支障があると認めるとき。
- (5) その他教育委員会が不相当と認めるとき。

(令7条例37・一部改正)

(使用料)

第9条 利用許可を得た者（以下「利用者」という。）は、別表に定める使用料を前納しなければならない。ただし、市長が認めるときは、この限りでない。

2 既に納付した使用料は、還付しない。ただし、市長が認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(令7条例37・一部改正)

(使用料の減免)

第10条 市長は、次の各号のいずれかに該当する場合は、使用料を減額し、又は免除することができる。

- (1) 市が主催する場合
- (2) 市が共催する場合
- (3) 市が認定する社会教育関係団体が利用する場合
- (4) その他市長が特に必要と認める場合

(平27条例45・令5条例28・令7条例37・一部改正)

(利用許可の取消し等)

第11条 教育委員会は、利用者が次の各号のいずれかに該当するときは、利用許可を取り消し、若しくは変更し、又はその利用を制限し、若しくは停止することができる。

- (1) 利用者がこの条例又はこの条例に基づく教育委員会規則に違反したとき。
- (2) 利用者が第7条第2項に規定する利用許可の条件に違反したとき。
- (3) 利用者が偽りその他の不正な手段により利用許可を受けたとき。
- (4) 管理に支障を及ぼすおそれがあるとき。

(利用者の管理義務)

第12条 利用者は、公民館の利用に当たっては、この条例及びこの条例に基づく教育委員会規則を守り、その利用する施設及び設備について善良な管理者の注意をもって管理しなければならない。

(権利の譲渡等の禁止)

第13条 利用者は、公民館の利用の権利を譲渡し、又は転貸してはならない。

(施設の変更禁止)

第14条 利用者は、公民館を利用する場合においては、施設を模様替えし、又はこれに特別の設備を付設してはならない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(原状回復の義務)

第15条 利用者は、利用を終了したとき、又は第11条の規定により、利用を取り消されたとき、若しくは利用の停止を命ぜられたときは、直ちに施設及び附属設備を原状に回復しなければならない。

(損害賠償)

第16条 利用者は、利用に際し公民館の施設若しくは設備を破損し、汚損し、又は滅失したときは、速やかに原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長が特にやむを得ない理由があると認めるときは、その賠償額を減額し、又は免除することができる。

(公民館運営審議会)

第17条 法第29条第1項の規定に基づき、公民館に公民館運営審議会（以下「審議会」という。）を置く。

2 審議会の委員（以下「委員」という。）は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、社会福祉及び地域づくりの向上に資する活動を行う者並びに学識経験のある者の中から教育委員会が委嘱する。

3 委員の定数は、10人以内とする。

4 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間と

する。

- 5 教育委員会は、委員に特別の事情が生じた場合にはその任期中であってもこれを解嘱することができる。

(令5条例28・一部改正)

(委任)

- 第18条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この条例は、平成24年4月1日から施行する。

(経過措置)

- 2 この条例の施行前にこの条例による改正前の浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例の規定によりされた処分、手続その他の行為は、この条例による改正後の浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例の規定によりされた処分、手続その他の行為とみなす。

附 則 (平成27年12月24日条例第45号)

(施行期日)

- 1 この条例は、平成28年4月1日から施行する。

(準備行為)

- 2 この条例による改正後の浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例第6条に規定する者に係る利用の許可、同条例第9条の規定による使用料の徴収及び同条例第10条に規定する減免に関し必要な手続その他の行為は、この条例の施行日前においても、行うことができる。

附 則 (令和5年9月28日条例第28号)

この条例は、令和6年4月1日から施行する。

附 則 (令和7年12月26日条例第37号)

この条例は、公布の日から起算して6月を超えない範囲内において教育委員会規則で定める日から施行する。ただし、第8条及び第9条の改正規定は、公布の日から施行する。

(令和8年教育委員会規則第4号で令和8年4月1日から施行)

別表 (第9条関係)

(令7条例37・全改)

区分	使用料 (円)
第1研修室 (全室)	300
第1研修室 (半室 パーテーション区切り)	150
第2研修室 (全室)	200

備考

- 1 使用料は、1時間当たりとする。
- 2 1時間未満の利用の場合は、1時間とする。
- 3 市民 (市内に在住し、在勤し、若しくは在学する者又は市内に事務所を有する法人その他の団体をいう。) 以外の者が利用する場合には、この表に定める使用料に100分の30を加算した額とする。
- 4 使用料の計算において、10円未満の端数があるときは、その端数は切り捨てる。

浦添市立中央公民館の設置及び管理に関する条例施行規則

平成24年 3 月30日

教育委員会規則第 2 号

改正 平成28年 2 月 3 日教育委員会規則第 4 号

平成31年 3 月15日教育委員会規則第 5 号

令和 2 年 3 月30日教育委員会規則第11号

令和 5 年 1 月 6 日教育委員会規則第 1 号

令和 5 年11月28日教育委員会規則第 8 号

(題名改称)

令和 8 年 2 月16日教育委員会規則第 5 号

(趣旨)

第 1 条 この規則は、浦添市立中央公民館の設置及び管理に関する条例（平成24年条例第12号。以下「条例」という。）第18条の規定に基づき、浦添市立中央公民館（以下「公民館」という。）の管理及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(令 5 教委規則 8 ・ 一部改正)

(組織)

第 2 条 公民館に、公民館係を置く。

(令 2 教委規則11・追加、令 5 教委規則 8 ・ 一部改正)

(職員及び職務)

第 3 条 公民館に館長、公民館主事その他必要な職員を置く。

2 館長は、教育長の命を受け、公民館の事業の企画実施その他必要な事務を行い、所属職員を指揮監督する。

3 公民館主事は、上司の命を受け、公民館の事業を実施し、その他必要な事務を行う。

4 その他の職員は、上司の命を受け、担任の事務に従事する。

(令 2 教委規則11・旧第 2 条繰下、令 5 教委規則 8 ・ 一部改正)

(非常勤の館長)

第 4 条 館長は、非常勤とすることができる。

2 非常勤の館長の勤務は、週 3 日以内とする。

3 非常勤の館長の任期は、その任用の日から同日の属する会計年度の末日までの範囲内とする。ただし、再任を妨げない。

4 非常勤の館長が欠けた場合における補欠の館長の任期は、前任者の残任期間とする。

(平31教委規則 5 ・ 一部改正、令 2 教委規則11・旧第 3 条繰下・一部改正)

(開館時間)

第 5 条 公民館の開館時間は午前 9 時から午後 9 時までとする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、これを変更することができる。

(令 2 教委規則11・旧第 4 条繰下、令 8 教委規則 5 ・ 一部改正)

(休館日)

第 6 条 公民館の休館日は、毎年12月28日から翌年の 1 月 3 日までとする。ただし、教育長が特に必要があると認めるときは、臨時に開館し、又は休館することができる。

(令 2 教委規則11・旧第 5 条繰下)

(利用許可の申請)

第 7 条 条例第 7 条の規定により公民館の利用許可を受けようとする者は、公民館利用許可申請書により教育長に申請しなければならない。

2 前項の申請は、利用しようとする日の属する月の前月の初日から受け付けるものとする。ただし、教育長が特別の理由があると認めるときは、この限りではない。
(令2教委規則11・旧第6条繰下)

(利用の許可)

第8条 教育長は、前条第1項の規定による申請を許可したときは、公民館利用許可書(以下「利用許可書」という。)を交付するものとする。

(令2教委規則11・旧第7条繰下)

(利用許可の変更等)

第9条 前条の利用の許可を受けた者(以下「利用者」という。)が利用許可事項を変更し、又は取り消そうとするときは、利用する日の5日前までに公民館利用許可変更(取消)申請書(以下「利用許可変更(取消)申請書」という。)に利用許可書を添えて教育長に申請しなければならない。ただし、教育長が認めるときは、この限りでない。

2 教育長は、前項の規定による申請を許可したときは、公民館利用許可変更(取消)通知書(以下「利用許可変更(取消)通知書」という。)を交付する。

(令2教委規則11・旧第8条繰下、令5教委規則8・一部改正)

(使用料の納付)

第10条 条例第9条第1項に規定する使用料は、利用する日までに納付しなければならない。ただし、教育長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(令2教委規則11・旧第9条繰下・一部改正)

(使用料の還付)

第11条 条例第9条第2項ただし書きの規定により使用料を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 天災その他不可抗力又は公民館の管理上の理由により利用ができなくなった場合 10割

(2) 利用者が利用許可変更(取消)申請書を利用日の5日前までに提出した場合 10割

2 前項の規定により使用料の還付を受けようとする者は、公民館使用料還付申請書により、教育長に申請しなければならない。この場合において、利用者は利用許可書又は利用許可変更(取消)通知書を添えなければならない。

3 教育長は、前項の規定による申請があったときは、これを審査し、公民館使用料還付通知書を交付するものとする。

(平28教委規則4・一部改正、令2教委規則11・旧第10条繰下、令5教委規則8・一部改正)

(使用料の減免)

第12条 条例第10条の規定による使用料の減免については、次の各号に掲げる区分に応じ、当該各号に定める割合を減額し、又は免除するものとする。

(1) 条例第10条第1号の規定に該当する場合 免除

(2) 条例第10条第2号の規定に該当する場合 5割減額

(3) 条例第10条第3号の市が補助団体と認定する場合 免除

(4) 条例第10条第3号の社会教育関係団体のうち、特定利用団体に該当する場合 免除

(5) 条例第10条第4号の規定に該当する場合 免除又は5割減額

2 前項の規定により使用料の減免を受けようとする者は、公民館使用料減免申請書により教育長に申請しなければならない。ただし、教育長が認める場合は、この限りでない。

3 教育長は、前項の規定による申請があったときは、これを審査し、公民館使用料減免通知書を交付するものとする。

(平28教委規則 4・一部改正、令 2 教委規則11・旧第11条繰下、令 5 教委規則 1・令 8 教委規則 5・一部改正)

(遵守事項)

第13条 公民館を利用する者は次の事項を遵守しなければならない。

- (1) 利用責任者は、利用の際に職員に申し出ること。
- (2) 他人に危害を及ぼし、又は迷惑となる物品を携帯しないこと。
- (3) 動物(盲導犬、介助犬及び聴導犬を除く。)を同伴しないこと。
- (4) 許可をした場所以外で喫煙し、飲食し、又は火気を使用しないこと。
- (5) 許可なく物品を展示し、販売し、又はこれらに類する行為をしないこと。
- (6) 利用後は利用した施設設備等をもとの状態に戻し、備品、器具等は所定の場所へ返還すること。
- (7) 利用許可を受けた施設又は設備以外のものを利用しないこと。
- (8) 利用する施設、設備及び備品等は損傷がないように取り扱うこと。
- (9) その他管理上の必要から職員が行う指示又は指導すること。

(令 2 教委規則11・旧第12条繰下、令 5 教委規則 8・一部改正)

(損害及び賠償)

第14条 利用者は、公民館の施設、設備又は備付物件を破損し、汚損し、又は滅失したときは、速やかにその旨を所定様式により、教育長に届け出なければならない。

2 教育長は前項に規定する届出があったときは、当該利用者に対し損害賠償を命ずることができる。

3 利用者は、賠償の請求を受けたときは、30日以内に賠償を行わなければならない。ただし、教育長が特別の理由があると認めるときは、賠償額の減免及び期限の延長をすることができる。

(令 2 教委規則11・旧第13条繰下、令 8 教委規則 5・一部改正)

(事務所の設置)

第15条 公民館内に社会教育関係団体の事務所を置くことができる。

2 前項による設置にあたっては、公民館の諸規定を遵守し、特殊事項については、教育長の指示に従うものとする。

(令 2 教委規則11・旧第14条繰下・一部改正)

(委任)

第16条 この規定に定めるもののほか、公民館の管理及び運営に関し必要な事項は、教育長が別に定める。

(令 2 教委規則11・旧第15条繰下)

附 則

1 この規則は、平成24年 4 月 1 日から施行する。

2 この規則の施行前にこの規則による改正前の浦添市立中央公民館の設置及び管理運営に関する条例施行規則の規定によりされた処分、手続きその他の行為は、この規則による改正後の浦添市立中央公民館の設置及び管理に関する規則の規定によりされた処分、手続きその他の行為とみなす。

附 則 (平成28年 2 月 3 日教育委員会規則第 4 号)

この規則は、平成28年 4 月 1 日から施行する。

附 則 (平成31年 3 月15日教育委員会規則第 5 号)

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (令和 2 年 3 月30日教育委員会規則第11号)

この規則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 5 年 1 月 6 日教育委員会規則第 1 号）
（施行日）

- 1 この規則は、令和 5 年 4 月 1 日から施行する。
（準備行為）
- 2 この規則の施行に必要な準備行為は、この規則の施行の日前においても行うことができる。

附 則（令和 5 年 11 月 28 日教育委員会規則第 8 号）

この規則は、令和 6 年 4 月 1 日から施行する。ただし、第 1 条中浦添市立公民館の設置及び管理に関する条例施行規則第 9 条第 2 項から第 13 条までの改正規定は、公布の日から施行する。

附 則（令和 8 年 2 月 16 日教育委員会規則第 5 号）

この規則は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。



表紙画像

「浦添市市制施行55周年記念事業 市民協働とまなびのフェスタ浦添
2025 放課後子どもフェスタ・公民館フェスタ」より

▼上段

舞台発表 中央公民館講座「沖縄大生と踊るやさしいマミドー」

▼下段

舞台発表 中央公民館登録団体「ソニードギター合奏団」

浦添市立中央公民館 館報

令和8年8月発行

編集・発行 | 浦添市教育委員会 社会教育推進課

〒901-2114 浦添市仲間1丁目1番2号
あかひらステーション1階
電話 098-879-5503
FAX 098-879-5530



浦添市立中央公民館

社会教育推進課